看護学専攻専門科目教育要項

Nursing Science, Syllabus of the Special Subjects

平成２７年度

2015-2016 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

保健衛生学科の教育理念

本学科は豊かな教養と高い倫理観に裏付けられた医療人としての感性を有し，自ら学び研究し，創意工夫することができる人間の形成を目指す。その視点に立ち看護学，検査技術学の２つの領域において，それぞれの専門的領域の知識，技術を教授することにとどまらず，学際的視野に立ち自ら問題を提起し，これを解決する能力を備えた医療人を養成する。

看護学専攻の教育目的

人々の健康状態を生活や環境との関係で的確に判断し，人々の主体性や価値観を尊重する質の高い看護実務者を養成する。併せて将来の研究者，教育者および指導者につながる知識・技術・態度を養う。

看護学専攻の教育目標

１　人々の健康・生活・環境を相互に関連づけて，人々の主体性・価値観を尊重し，全人的な生活者として理解し，健康に関わる生活援助の知識と技術を修得する。

２　看護の対象となる個人および集団の健康段階に応じた看護上の問題を発見し，解決するための問題解決思考能力を修得する。

３　保健・医療・福祉に関連する他の職種とチームを組み，看護職の専門的役割を有効に発揮できる基礎的能力を修得する。

４　自己の知識や技術の向上を目指す研究的姿勢および倫理観に基づく行動を身につけ，看護実践に諸科学の知識と技術を応用できる能力を修得する。

注）
本教育要項の授業計画は、今年度当初予定で立案されているものであり、今後の授業進行等で変更となる可能性があります。
最新の情報については、本学教育支援システム（DreamCampus 教務システム）内のシラバス情報、もしくは教員からの連絡によりご確認ください。

看護学専攻のカリキュラムの特色

保健衛生学科看護学専攻のカリキュラムは、保健衛生学科の教育理念、看護学専攻の教育目的、教育目標に沿って編成されており、以下の点を特色としている。

1)第1学年では、豊かな教養と学際的な視野に立ち、自らの関心に沿って自己学習できる能力を身に付けるための基盤づくりに重点を置いている。したがって、教養部の教養科目と並行して、専門基礎分野の解剖学、看護学専門科目の基礎看護学Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ、看護心理学、看護の統合と実践Ⅰを開講し、看護学を学ぶ基盤づくりを行う。

2)第2学年では、看護学の学習に関連の深い専門基礎科目として、人の形態･構造や機能を理解するとともに、看護の科学的根拠となる学際的な知識を学ぶ。専門基礎科目は、専門基礎分野と専門共通分野の科目によって構成する。専門基礎分野では、解剖学、生理学、生化学、薬理学Ⅰ・Ⅱ、病理学、微生物学、栄養学、病態学を開講する。また、専門基礎合同演習は、これらの科目について学ぶ上で基礎となる幅広い知識や技術の習得を目的とする科目であり、本学科の特徴を生かした実技中心の体験学習科目である。この他に、専門基礎分野では、第3学年に開講する必修科目の疫学と、第2、3学年必修、第4学年選択の英文購読Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ、ならびに専門共通分野に第4学年必須科目の国際保健看護学、第2，3学年に実践看護英語、国際保健福祉を選択科目に置くことで、語学力の向上のみならず広い視野から国際的に活躍できる人材の育成に力を注いでいる。また、専門共通分野では第2学年で必須科目の医療情報学､第2、3、4学年で保健福祉に関連する科目を開講する。

3)看護学の専門科目は、すべて専門分野ごとに開講する。基礎看護学分野は第1学年から第2学年に基礎看護学科目を開講し、看護学に共通する基盤づくりを行う。第2学年から第3学年にかけては、成人看護学分野、精神看護学分野、小児看護学分野、在宅看護学分野で、より分野の専門に特化した講義、演習を行う。そして、母性看護学分野、および老年看護学分野の講義･演習は第3学年に集中的に開講する。それぞれの科目では、看護に必要な知識、技術、態度を涵養するとともに、自ら問題を提起し，解決する能力を備えた医療人養成を目指し、DVD等の視聴覚教材、グループワーク、討論、演習、e-learning等を効果的に活用する。また、看護を取り巻く社会システムを含む統合的な視点から看護を捉えられるよう、地域看護学を第3学年から、看護の統合と実践Ⅱを第4学年で開講している。

4)保健師資格取得に必要な単位は、主に第2学年から第4学年に、地域保健看護学の講義･演習と、専門共通分野の保健統計学、産業保健学、保健医療福祉制度論、健康教育学演習を開講する。

5)臨地実習は学習の段階に応じて、すべての学年で行う。第1学年は体験型実習の基礎看護学実習Ⅰ、第2学年は基礎看護学実習Ⅱを行う。また、第3学年では、成人看護学実習、精神看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、老年看護学実習、在宅看護学実習を行ない、分野別に専門性の高い実践能力を養う。臨地実習では、看護職に求められる看護実践能力の習得にとって欠かせない看護技術項目チェックリストを活用し、学生自ら学習機会を創り、実践能力の向上に向けて努力する積極性が求められる。さらに、第4学年では、地域保健看護学実習と実践に即した修得を目指して、専門領域を越えた他学科・専攻との合同演習等を取り入れている。

6)第3学年に開講する卒業論文Ⅰでは、具体的な研究方法論について学ぶ。続く第4学年の卒業論文Ⅱでは、看護学の学習を通して関心をもった領域やテーマについて、専門分野の教員から少人数制による指導を受けながら、卒業論文を作成し、発表する。この科目では、自己の知識や技術の向上を目指す研究的姿勢を身につけ、論理的思考とリテラシーの能力ならびに、それを表現する能力を自ら修得することを目指している。

目　次

平成２７年度授業計画表<<看護学専攻>>

【第１学年】
平成２７年度時間割（看護学専攻：第１学年）
解剖学Ⅰ
基礎看護学Ⅰ
基礎看護学実習Ⅰ
看護心理学
看護の統合と実践Ⅰ

【第２学年】
平成２７年度時間割（看護学専攻：第２学年）
解剖学Ⅱ
生理学
生化学
薬理学Ⅰ
薬理学Ⅱ
病理学
微生物学
栄養学
病態学
英文講読Ⅰ
専門基礎合同演習
医療情報学
保健医療福祉制度論
実践看護英語
国際保健福祉
基礎看護学Ⅱ
基礎看護学Ⅲ
基礎看護学演習Ⅰ
基礎看護学演習Ⅱ
基礎看護学実習Ⅱ
成人看護学Ⅰ
成人看護学Ⅱ
精神看護学
小児看護学Ⅰ
小児看護学演習Ⅰ
在宅看護学Ⅰ

【第３学年】
平成２７年度時間割（看護学専攻：第３学年）
疫学
英文講読Ⅱ
卒業論文Ⅰ
実践看護英語（再掲）
国際保健福祉（再掲）
成人看護学Ⅲ
成人看護学演習
成人看護学実習
地域精神看護学
精神看護学演習
精神看護学実習
小児看護学Ⅱ
小児看護学演習Ⅱ
小児看護学実習
母性看護学Ⅰ
母性看護学Ⅱ
母性看護学Ⅲ
母性看護学演習
母性看護学実習
老年看護学
老年看護学演習
リハビリテーション看護学
老年看護学実習
地域保健看護学Ⅰ
地域保健看護学Ⅱ
在宅看護学Ⅱ
在宅看護学演習
在宅看護学実習

【第４学年】
平成２７年度時間割（看護学専攻：第４学年）
英文講読Ⅲ
保健統計学
国際保健看護学
産業保健学
健康教育学演習
卒業論文Ⅱ
国際保健福祉（再掲）
地域保健看護学Ⅲ
地域保健看護学演習
地域保健看護学実習
緩和ケア看護学
看護の統合と実践Ⅱ
看護の統合と実践実習Ⅰ
看護の統合と実践実習Ⅱ

【学生周知事項】
学生周知事項
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）
諸様式

【講義室一覧】
講義室等一覧

【参　考】
東京医科歯科大学学則（抜粋）
東京医科歯科大学医学部履修規則・進級要件、履修規則内規
保健衛生学科（看護学専攻）教育課程
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規
看護学専攻第３学年における臨地実習履修要件
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項
医学部保健衛生学科レポート書式（見本）

平成２７年度授業計画表《看護学専攻》

第２学年			第３学年			第４学年		
区　分	週 数	期　　間	区　分	週 数	期　　間	区　分	週 数	期　　間
前期授業・補講	１５週	平成２７年　４月　７日(火)～　７月１５日(水)	前期授業・補講	１５週	平成２７年　４月　７日(火)～　７月１５日(水)	前期授業・補講	１３週	平成２７年　４月　７日(火)～　７月　３日（金）
前期試験	３週	平成２７年　７月１６日(木)～　７月２９日(水)	前期試験	２週	平成２７年　７月１６日(木)～　７月２４日(金)	前期試験	１週	平成２７年　７月　６日（月）～　７月　８日（水）
			前期授業（指定）	１週	平成２７年　７月２７日(月)～　７月２８日(火) ※保育園実習（期日指定）	前期授業	４週	平成２７年　７月　９日（木）～　７月２７日（月） ※看護の統合と実践実習
夏季休業	６週	平成２７年　７月３０日(木)～　９月　２日（水）	夏季休業	９週	平成２７年　７月２９日(水)～　９月２３日（水）	夏季休業	８週	平成２７年　７月２８日（火）～　９月１１日(金)
後期授業	１７週	平成２７年　９月　３日（木）～１２月２１日（月）	後期授業	１４週	平成２７年　９月２４日（木）～１２月２１日(月)	後期授業	１５週	平成２７年　９月１４日(月)　～１２月２１日(月)
冬季休業	２週	平成２７年１２月２２日(火) ～平成２８年　１月　１日（金）	冬季休業	２週	平成２７年１２月２２日(火) ～平成２８年　１月　１日（金）	冬季休業	２週	平成２７年１２月２２日(火) ～平成２８年　１月　１日（金）
後期授業	３週	平成２８年　１月　４日（月）～　１月２２日（金）	後期授業	５週	平成２８年　１月　４日（月）～　２月　５日（金）	後期授業	２週	平成２８年　１月　４日（月）～　１月１５日（金）
後期試験	２週	平成２８年　１月２５日（月）～　２月　５日（金）	後期試験			後期試験	１週	平成２８年　１月１８日（月）～　１月２２日（金）
補講・再試期間	２週	平成２８年　２月　８日(月)～　２月１７日(水)	補講・再試期間	２週	平成２８年　２月　８日(月)～　２月１７日(水)	補講・再試期間	１週	平成２８年　１月２５日（月）～　１月２９日（金）
春季休業		平成２８年　２月１８日(木)～	春季休業		平成２８年　２月１８日(木)～	春季休業		平成２８年　２月　１日（月）～

【行事】

平成２７年　４月　６日(月)入学式

平成２７年　４月　６日(月)ガイダンス（２学年）

平成２７年　４月　９日(木)～１０日(金)校外ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ

平成２７年　５月１１日（土）（予定）　体育祭

平成２７年１０月１２日（日）創立記念日

平成２７年１０月１７日（土）～１８日（日）お茶の水祭

平成２７年１０月２２日（木）解剖体追悼式　Ｎ２，ＭＴ２（築地本願寺）

平成２８年　３月２５日(金)卒業式

第１学年

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
4/7	火										
8	水										
9	木										
10	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
4/13	月										
14	火					専攻ガイダンス 13:40～	4	基礎看護学Ⅰ(1)	4	基礎看護学Ⅰ(2)	4
15	水										
16	木										
17	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
4/20	月										
21	火					基礎看護学Ⅰ(3)	4	基礎看護学Ⅰ(4)	4		
22	水										
23	木										
24	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
4/27	金										
28	火										
29	水	昭和の日									
30	木										
5/1	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木										
8	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
5/11	月										
12	火					基礎看護学Ⅰ(5)	4	基礎看護学Ⅰ(6)	4		
13	水										
14	木										
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
5/18	月										
19	火					基礎看護学Ⅰ(7)	4	基礎看護学Ⅰ(8)	4		
20	水										
21	木										
22	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
5/25	月										
26	火										
27	水										
28	木										
29	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
6/1	月										
2	火										
3	水										
4	木										
5	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
6/8	月										
9	火										
10	水										
11	木										
12	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
6/15	月										
16	火										
17	水										
18	木										
19	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
6/22	月										
23	火										
24	水										
25	木										
26	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
6/29	月										
30	火										
7/1	水										
2	木										
3	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
7/6	月										
7	火										
8	水										
9	木										
10	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
7/13	月										
14	火										
15	水										
16	木										
17	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
7/20	月	海の日									
21	火										
22	水										
23	木										
24	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
7/27	月										
28	火										
29	水										
30	木										
31	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:10～17:40	講義室
8/3	月	基礎看護学実習Ⅰ(8/3～8/6)【医学部・歯学部附属病院、3号館18階保健衛生学講義室1、3号館17階看護学実習室1・2・共用講義室2】									
4	火										
5	水										
6	木										
7	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月										
29	火					解剖学Ⅰ(1)	共用2	解剖学Ⅰ(2)	共用2	看護心理学(1)	2
30	水										
10/1	木										
2	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月										
6	火					解剖学Ⅰ(3)	共用2	解剖学Ⅰ(4)	共用2	看護心理学(2)	2
7	水										
8	木										
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	体育の日									
13	火					解剖学Ⅰ(5)	共用2	解剖学Ⅰ(6)	共用2	看護心理学(3)	2
14	水										
15	木										
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月										
20	火					解剖学Ⅰ(7)	共用2	解剖学Ⅰ(8)	共用2	看護心理学(4)	2
21	水										
22	木										
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月										
27	火					解剖学Ⅰ(9)	共用2	解剖学Ⅰ(10)	共用2	看護心理学(5)	2
28	水										
29	木										
30	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月										
3	火	文化の日									
4	水										
5	木										
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月										
10	火					解剖学Ⅰ(11)	共用2	解剖学Ⅰ(12)	共用2	看護心理学(6)	2
11	水										
12	木										
13	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月										
17	火					解剖学Ⅰ(13)	共用2	解剖学Ⅰ(14)	共用2	看護心理学(7)	2
18	水										
19	木										
20	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火					解剖学Ⅰ(15)	共用2	解剖学Ⅰ(16)	共用2	看護心理学(8)	2
25	水										
26	木										
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月										
12/1	火					看護の統合と実践Ⅰ(1)	2	看護の統合と実践Ⅰ(2)	情報検索室		
2	水										
3	木										
4	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月										
8	火					看護の統合と実践Ⅰ(3)	4 講義室注意！	看護の統合と実践Ⅰ(4)	情報検索室		
9	水										
10	木										
11	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月										
15	火					看護の統合と実践Ⅰ(5)	2	看護の統合と実践Ⅰ(6)	2		
16	水										
17	木										
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										
22	火					看護の統合と実践Ⅰ(7)	2	看護の統合と実践Ⅰ(8)	2		
23	水	天皇誕生日									
24	木										
25	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火					看護の統合と実践Ⅰ(9)	2	看護の統合と実践Ⅰ(10)	2		
6	水										
7	木										
8	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火					看護の統合と実践Ⅰ(11)	2	看護の統合と実践Ⅰ(12)	2		
13	水										
14	木										
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/18	月										
19	火					看護の統合と実践Ⅰ(13)	2	看護の統合と実践Ⅰ(14)	2		
20	水										
21	木										
22	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/25	月										
26	火					看護の統合と実践Ⅰ(15)	2	看護の統合と実践Ⅰ(16)	2		
27	水										
28	木										
29	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/1	月										
2	火										
3	水										
4	木										
5	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/8	月										
9	火										
10	水										
11	木	建国記念日									
12	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/15	月										
16	火										
17	水										
18	木										
19	金										

時間割番号	012005				
科目名	解剖学Ⅰ				
担当教員	星 治, 長 雄一郎				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

英文名:Anatomy(Ⅰ)

【科目責任者】星治

主な講義場所

保健衛生学講義室1(3号館18階)

授業の目的、概要等

解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で, 医学の最も基礎的な領域である。

授業の到達目標(SBOs)

からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について, 基本的な構造を理解することを目標とする。さらに, 看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく, 実物観察により理解を深めることも重視する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/29	12:50-16:00	共用講義室2	総論	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、細胞と組織、人体の方向用語	星 治
3-4	10/6	12:50-16:00	共用講義室2	骨格系	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋、脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	星 治
5-6	10/13	12:50-16:00	共用講義室2	筋系	筋の形と構造、頭の筋、胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治
7-8	10/20	12:50-16:00	共用講義室2	脈管系	血管の構造、心臓の構造、刺激伝導系、肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系	星 治
9-10	10/27	12:50-16:00	共用講義室2	呼吸器系	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺	星 治
11-12	11/10	12:50-16:00	共用講義室2	消化器系	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆?、膵臓	星 治
13-14	11/17	12:50-16:00	共用講義室2	内分泌系	下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓	星 治
15-16	11/24	12:50-16:00	共用講義室2	生殖器系(男性)	精巣と精巣上体、精管、精?と前立腺、精子	長 雄一郎

授業内容

人体を各系統に分け, それらを構成する各器官の形態と構造について講義し, 基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。

成績評価の方法

筆記試験を行う。一部, 英文による出題もある。

準備学習などについての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に, 講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

藤田恒夫:入門人体解剖学 南江堂

参考書

牛木辰男:入門組織学 南江堂

井上貴央(監訳):人体解剖学(構造と機能:ミクロからマクロまで)西村書店

他科目との関連

人体の様々な病態を理解するためには，からだの構造の基本的な知識が必要である。このため，解剖学は他の多くの科目と関連している。特に，生理学，病理学，病態学とは密接な関連がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので，予習，復習することが必要である。

連絡先

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp　3号館 16F

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012003				
科目名	基礎看護学Ⅰ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

英文名：Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

基礎看護学では看護学専門科目に共通する知識と技術を学ぶ。基礎看護学Ⅰは，看護学概論として，看護の本質となる「看護」「健康」「人間」「環境」の概念を理解し，看護の機能と役割，対象の全人的理解のための基礎的知識を養う。

授業の到達目標(SBOs)

看護の共通基盤となる看護の理論，概念・目的や，看護実践能力の基礎となる人間観，生活観，社会観，健康観，自然観とそれらの関連性について総合的に理解する。また，看護独自の機能と，保健医療チームの中での看護の役割と連携について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	オリエンテーション	看護と看護学	齋藤　やよい
2	4/14	16:10-17:40	保健衛生学科講義室4	看護の概念	看護の概念と対象の理解	齋藤　やよい
3	4/21	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護ニーズ	看護の諸理論	齋藤　やよい
4	4/21	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護技術	看護技術の定義、看護技術の定義と構成する要素と内容	齋藤　やよい
5	5/12	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護の歴史	看護の歴史と今後の展望	齋藤　やよい
6	5/12	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護の歴史	看護の歴史と今後の展望	齋藤　やよい
7	5/19	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	保健医療の概念	保健医療の概念と看護活動-看護の実践の場	齋藤　やよい
8	5/19	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護倫理	倫理と専門職としての看護	齋藤　やよい

授業方法

授業内容は学びの進度によって変更する場合がある。

成績評価の方法

単元ごとのミニレポート、課題レポート，および出席状況により評価する。

成績評価の基準

評価の配分は、出席状況20%、ミニレポート30%、課題レポート50%とする。

準備学習などについての具体的な指示

該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。毎回講義後に関連したミニレポートを書いてもらうので、理解できなかった事柄は自分で調べ、解決しておくこと。調べても解決できなかった事は、何がわからなかったのかを明確にして、次回授業内に設ける質問時間内に質問してください。

教科書

看護学原論 : 看護の本質的理解と創造性を育むために／高橋照子 編,:南江堂, 2009

看護の基本となるもの／ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯槙ます, 小玉香津子 訳,:日本看護協会出版会, 2006

参考書

看護覚え書 : 看護であること看護でないこと／フロレンス・ナイチンゲール [著],湯槙ます, 薄井坦子, 小玉香津子, 田村眞, 小南吉彦訳,:現代社, 2011

看護倫理 : よい看護・よい看護師への道しるべ／小西恵美子 編集,:南江堂, 2014

人間対人間の看護／J・トラベルビー 著,長谷川浩 訳,藤枝知子 訳,:医学書院, 1993

ケアの本質 : 生きることの意味／メルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,:ゆみる出版, 1997

オレム看護論 : 看護実践における基本概念／ドロセア・E.オレム 著,小野寺杜紀 訳,:医学書院, 2005

ベナー看護論 : 初心者から達人へ／パトリシア・ベナー 著,井部俊子 監訳,井部俊子, 井村真澄, 上泉和子, 新妻浩三 訳,:医学書院, 2005

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

看護学の独自性や看護の専門機能を理解するために, 学習の基礎となる教養の自然科学系, 社会学系の科目, 特に人間科学, 社会学, 心理学, 哲学などの学習が望ましい。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために, 柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験, 社会体験を踏まえ, 幅広い分野の書物に触れ, 社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先

齋藤　やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp　 3号館 18F

オフィスアワー

齋藤　やよい:毎週火曜日　AM.10:00–PM.1:00　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012001				
科目名	基礎看護学実習Ⅰ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

英文名：Eaely Exposure Practice

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）、看護実習室1および2（3号館17階）医学部附属病院および歯学部附属病院、医学部附属病院症例検討室

授業の目的、概要等

専門科目の学習の初期において，医療の現場を知り，健康障害をもった人々と直接関わることを通して，看護の機能と役割を理解する。また，本実習を通して，今後の学習への動機づけとする。

授業の到達目標(SBOs)

1）大学病院の概要と機能について知る。
2）医学部，および歯学部附属病院の理念と病院　　組織の概要を知る。
3）看護部の理念と基本方針を知る。
4）病院の機能からみた構造上の特徴と，病院内での各部門の配置を知る。
5）療養環境としての病棟・病室環境の特徴を知る。
6）看護活動の場と看護の実際を知る。
7）入院患者の特徴を知る。
8）専門職の役割・連携を知る。
9）学生間で体験を共有する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	8/3	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1，看護学実習室1，看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
6-10	8/4	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1，看護学実習室1，看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
11-15	8/5	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1，看護学実習室1，看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子

16-17	8/6	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1，看護学実習室1，看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子	
18-20	8/6	13:00-17:50	症例検討室	基礎看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子	

授業方法

〔実習期間〕：
8月3日(月) ～ 8月6日(木)

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

1）単位認定は、実習時間の3/4以上の出席をもって行う。
2）遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とする。

成績評価の基準

実習記録、グループ発表資料、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

基礎看護学Ⅰの講義内容を復習の上、実習に臨むこと。また、病院は医療の場であるため、看護学を学ぶ学生としての節度ある態度で実習に臨むこと。

他科目との関連

基礎看護学で学んだ病院の理念や組織の概要、看護部の理念、目標、組織、看護体制などをよく復習しておく。

履修上の注意事項

時間を厳守し、実習生に相応しい身だしなみを整えて、実習に臨むこと。実習の場は医療の現場なので態度・言葉遣いなどにも注意すること。

連絡先

齋藤　やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp　3号館 18F

オフィスアワー

齋藤　やよい:毎週火曜日　AM.10:00-PM.1:00　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012002				
科目名	看護心理学				
担当教員	田上　美千佳				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

英文名：Nursing　psychology

【科目責任者】田上美千佳

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な基礎を築く。

授業の到達目標(SBOs)

心のしくみと働きについて理解を深めると共に、健康上の問題を抱える人々に精神的な援助を提供する上で欠くことのできない基本的な知識、技術、態度を養うことを学習の目標とする。そこでまず、人格診断、心理測定、自己分析の方法を自分自身に適用してみる。さらに、日常的に体験しているストレスや生活習慣について吟味し、自分自身の心と身体を素材にして健康と不健康、適応と不適応を区別できる判断力を磨く。また、リラクセーション技法、呼吸法等、心の健康の回復・維持・増進に有効と考えられる方法の一端を体験し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。こうした学習を通じて、セルフケア支援としての看護について基本的な考え方を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心のしくみと心の健康	心のしくみと働き、心の健康とは、人格の構造、人格と精神状態の評価方法(心理測定法)、人間と環境との相互作用(応答的な環境)、対人関係とコミュニケーション	田上　美千佳
2	10/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心と人格の発達	エリクソンの発達図式、母子相互作用と乳幼児期の発達、青年期の挫折とアイデンティティ形成、中高年の危機と生涯発達	田上　美千佳
3	10/20	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心の健康・身体の健康	心の健康と身体の健康、心理的ストレスの発生、ストレス対処の過程と類型、病気という体験	美濃　由紀子
4	10/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	ストレス・マネジメント	代替療法と統合医療、マインドフルネスの概念、リラクセーション技法(呼吸法、ストレス低減法)	田上　美千佳
5	11/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	体験としての病	病気という体験(がん患者とその家族を中心に)、当事者同士の支え合い、病気の受容、病と共に生きるということ	澁谷　裕
6	11/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	環境への適応と不適応(1)	心的外傷(トラウマ)の発生、生活習慣と嗜癖行動(アディクション)、暴力的な対人関係(虐待、いじめ、DV)、精神疾患と脆弱性	上岡　陽江
7	11/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	環境への適応と不適応(2)	セルフヘルプグループの機能、12ステップ・グループの特徴、看護職によるセルフヘルプグループの支援	田上　美千佳

8	12/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	心の健康の維持と支援	援助関係の発展、カウンセリングと自己一致、問題の明確化、意思決定支援	田上 美千佳	

授業方法

講義

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

講義への出席および参加態度、リフレクティブレポート、人間理解、自己理解、援助関係等のテーマに関するレポートによって評価する。

成績評価の基準

講義への出席 20%

参加態度 10%

リフレクティブレポート 10%

レポート 60%

準備学習などについての具体的な指示

患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読む、体験談を聞く等対象者の心理に関心をよせることを心がける。

対象の苦痛や苦悩等の体験を理解して支援する姿勢をもって臨んで欲しい。

自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。

教科書

日本精神科看護技術協会監修「改定 精神看護学」中央法規出版、2006

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2013

参考書

（＊講義中にも提示する）

宮本真巳「感性を磨く技法1看護場面の再構成」日本看護協会出版会、1995

宮本真巳「感性を磨く技法2 異和感と援助者アイデンティティ」日本看護協会出版会、1996

宮本真巳「感性を磨く技法3 セルフケアを援助する」日本看護協会出版会、1996

服部祥子「生涯人間発達論」医学書院、2000

リチャード・ラザルス（本明寛他訳）「ストレスの心理学」実務教育出版、1991

E.H.エリクソン（西平直他訳）「アイデンティティとライフサイクル」誠信書房 、2011

ダニエル・ゴールマン（土屋京子訳）「EQ－こころの知能指数」講談社、1995

D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「赤ちゃんはなぜなくの ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（上）」星和書店、1985

D･W.ウィニコット（猪股丈二訳）「子どもはなぜあそぶの 続・ウィニコット博士の育児講義 子どもと家族とまわりの世界（下）」星和書店、1986

他科目との関連

基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習等の科目と関連する。

履修上の注意事項

非常勤講師の講義も多いため、節度をもって講義に臨むよう心がけて欲しい。 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため、欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで講義に参加すること。

連絡先

tanoue.pn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012004				
科目名	看護の統合と実践Ⅰ				
担当教員	深堀 浩樹				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

英文名:Integration of acquaintances for Nursing Practice Ⅰ

【科目責任者】深堀浩樹

主な講義場所

3号館8階 保健衛生学講義室2

ただし、

12月8日は 3号館7階 保健衛生学講義室4

12月1日4限、12月15日4限は M&D タワー 3階 情報検索室

を予定

授業の目的、概要等

看護学の各分野で学ぶ内容の基礎として、様々な領域の看護学およびさまざまな場面における看護実践を知り、広い視野に基づき看護を学んでいくための基本的な態度を身につける。

授業の到達目標(SBOs)

1) 様々な場面における看護について知る。

2) 生涯に渡り看護に携わっていくための態度を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/1	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	オリエンテーション / 様々な領域の看護学 ①	深堀 浩樹
2	12/1	14:30-16:00	情報検索室	看護の統合と実践Ⅰ	看護学における資料・文献の探し方(講義)	深堀 浩樹
3	12/8	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学 ②, ③	深堀 浩樹
4	12/8	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学 ④, ⑤	深堀 浩樹
5	12/15	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学 ⑥, ⑦	深堀 浩樹
6	12/15	14:30-16:00	情報検索室	看護の統合と実践Ⅰ	看護学における資料・文献の探し方(演習)	深堀 浩樹
7	12/22	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学 ⑧, ⑨	深堀 浩樹
8	12/22	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	看護職へのインタビュー内容の検討(グループワーク)	深堀 浩樹
9	1/5	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	国際看護	小黒 道子
10	1/5	14:30-16:00	保健衛生	看護の統合と実践Ⅰ	災害看護	石田 千絵

			学科講義室2			
11	1/12	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	起業した看護職	川添 高志
12	1/12	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	看護職へのインタビュー(グループ別)	深堀 浩樹
13-14	1/19	12:50-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	発表資料作成(グループワーク)	深堀 浩樹
15-16	1/26	12:50-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	プレゼンテーション	深堀 浩樹

成績評価の方法

出席(60%)およびレポート(40%)により評価する予定である。

準備学習などについての具体的な指示

準備学習は必要としないが、自身の関心のある領域の看護実践や研究については積極的に情報収集することが望ましい。

教科書

授業において必要な書籍等があれば連絡する。

参考書

看護師のためのWeb検索・文献検索入門／佐藤 淑子／編著,和田 佳代子／編著,: 医学書院, 2013

授業において必要な書籍等があれば連絡する。

他科目との関連

「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後 学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けられていくことが望ましい。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので連絡・掲示で確認すること。

備考

授業内容について

1） 様々な領域の看護学 ①～⑨ では、看護先進科学専攻の各分野の教員および共同災害看護学専攻の教員がオムニバス形式で講義を行う。

2） 看護学における資料・文献の探し方(講義および演習)では、図書館 図書・雑誌掛 石井 保志 掛長が担当する。

連絡先

hfukahori.kanr@tmd.ac.jp 3号館 15F

オフィスアワー

毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3 号館 15 階 看護システムマネジメント学分野 教員室

事前連絡してから訪問すること。

第２学年

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/6	月					13:45～学年ガイダンス(3号館18階　保健衛生学講義室1) 終了後専攻別ガイダンス(3号館7階　保健衛生学講義室4)					
7	火										
8	水	解剖学Ⅱ(1)	共用2	病理学(1)	1	英文講読Ⅰ(1)	4				
9	木	病理学(2)	1	解剖学Ⅱ(2)	共用2	基礎看護学Ⅱ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(2)	4
10	金	生化学(1)	共用2	成人看護学Ⅰ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(3)	4	基礎看護学演習Ⅰ(4)	4	基礎看護学演習Ⅰ(5)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月			生化学(2)	共用2	生化学(3)	共用2	微生物学(1)	1		
14	火	解剖学Ⅱ(3)	共用2	解剖学Ⅱ(4)	共用2	病態学(1)	2	病態学(2)	2		
15	水	解剖学Ⅱ(5)	共用2	病理学(3)	1	英文講読Ⅰ(2)	4	病態学(3)	4		
16	木			解剖学Ⅱ(6)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(7)	4	基礎看護学演習Ⅰ(8)	4
17	金	生化学(4)	共用2	成人看護学Ⅰ(2)	4	基礎看護学Ⅱ(2)	4	基礎看護学Ⅱ(3)	4	基礎看護学Ⅱ(4)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月			生化学(5)	共用2	生化学(6)	共用2	微生物学(2)	1		
21	火	解剖学Ⅱ(7)	共用2	解剖学Ⅱ(8)	共用2			病理学(4)	医講義室1		
22	水	生理学(1)	共用2	病理学(5)	1	英文講読Ⅰ(3)	4	病態学(4)	4	病態学(5)	4
23	木	病理学(6)	1	生理学(2)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(9)	4	基礎看護学演習Ⅰ(10)	4		
24	金	生化学(7)	共用2	成人看護学Ⅰ(3)	4	基礎看護学Ⅱ(5)	4	基礎看護学演習Ⅰ(11)	4	基礎看護学演習Ⅰ(12)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月			生化学(8)	共用2	生化学(9)	共用2	微生物学(3)	1		
28	火	生理学(3)	共用2	病理学(7)	1	病態学(6)	4	病態学(7)	4		
29	水	昭和の日									
30	木			生理学(4)	共用2						
5/1	金	生化学(10)	共用2	成人看護学Ⅰ(4)	4	病態学(8)	4	病態学(9)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木	生理学(5)	共用2	生理学(6)	共用2	基礎看護学Ⅱ(6)	4	基礎看護学Ⅲ(1)	4	基礎看護学Ⅲ(2)	4
8	金	生化学(11)	共用2	成人看護学Ⅰ(5)	4	基礎看護学Ⅱ(7)	4	基礎看護学演習Ⅰ(13)	4		

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月			生化学(12)	共用2	生化学(13)	共用2	英文講読Ⅰ(4) TOEFL/ITP	4	英文講読Ⅰ(5) TOEFL/ITP	4
12	火	生理学(7)	共用2	生理学(8)	共用2	専門基礎合同演習(1)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(2)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(3)	7 F 実習室
13	水	実践看護英語(1)	2	病理学(8)	1	英文講読Ⅰ(6)	4	病態学(10)	4	病態学(11)	4
14	木	生理学(9)	共用2	生理学(10)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(14)	4	基礎看護学演習Ⅰ(15)	4		
15	金	生化学(14)	共用2	成人看護学Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(16)	4	基礎看護学演習Ⅰ(17)	4	基礎看護学演習Ⅰ(18)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月					生化学(15)	共用2	微生物学(4)	1		
19	火	生理学(11)	共用2	生理学(12)	共用2	専門基礎合同演習(4)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(5)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(6)	7 F 実習室
20	水	実践看護英語(2)	2			英文講読Ⅰ(7)	4	病態学(12)	4		
21	木	生理学(13)	共用2	生理学(14)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(19)	4	基礎看護学演習Ⅰ(20)	4	基礎看護学演習Ⅰ(21)	4
22	金			成人看護学Ⅰ(7)	4	基礎看護学演習Ⅰ(22)	4	基礎看護学演習Ⅰ(23)	4	基礎看護学演習Ⅰ(24)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月							微生物学(5)	1		
26	火			生理学(15)	1	専門基礎合同演習(7)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(8)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(9)	7 F 実習室
27	水	実践看護英語(3)	2			英文講読Ⅰ(8)	4	病態学(13)	4	病態学(14)	4
28	木			生理学(16)	1	基礎看護学Ⅲ(3)	4	基礎看護学Ⅲ(4)	4		
29	金			成人看護学Ⅰ(8)	4	小児看護学Ⅰ(1)	4	小児看護学Ⅰ(2)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月							病態学(15)	1	病態学(16)	1
2	火			生理学(17)	1	専門基礎合同演習(10)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(11)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(12)	7 F 実習室
3	水	実践看護英語(4)	2			英文講読Ⅰ(9)	4	病態学(17)	4	病態学(18)	4
4	木			生理学(18)	共用2	基礎看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅰ(25)	4	基礎看護学演習Ⅰ(26)	4
5	金			成人看護学Ⅰ(9)	4	小児看護学Ⅰ(3)	4	小児看護学Ⅰ(4)	4	小児看護学Ⅰ(5)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月							微生物学(6)	1		
9	火			生理学(19)	共用2	病態学(19)	4				
10	水	実践看護英語(5)	2			英文講読Ⅰ(10)	4	病態学(20)	4	病態学(21)	4
11	木			生理学(20)	共用2	基礎看護学演習Ⅰ(27)	4	基礎看護学演習Ⅰ(28)	4	基礎看護学演習Ⅰ(29)	4
12	金	成人看護学Ⅰ(10)	4	成人看護学Ⅰ(11)	4	小児看護学Ⅰ(6)	4	小児看護学Ⅰ(7)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月					病態学(22)	1	微生物学(7)	1		
16	火			生理学(21)	共用2	病態学(23)	1				
17	水	実践看護英語(6)	2			英文講読Ⅰ(11)	4	病態学(24)	4	病態学(25)	4
18	木			生理学(22)	1	基礎看護学演習Ⅰ(30)	4	基礎看護学演習Ⅰ(31)	4	基礎看護学演習Ⅰ(32)	4
19	金	成人看護学Ⅰ(12)	4			小児看護学Ⅰ(8)	4	小児看護学Ⅰ(9)	4		

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月	成人看護学Ⅰ(13)	4	成人看護学Ⅰ(14)	4			微生物学(8)	1	病態学(26)	1
23	火			生理学(23)	共用2	専門基礎合同演習(13)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(14)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(15)	7 F 実習室
24	水	実践看護英語(7)	2			英文講読Ⅰ(12)	4			病態学(27)	4
25	木					基礎看護学Ⅲ(5)	4	基礎看護学Ⅲ(6)	4		
26	金					基礎看護学演習Ⅰ(33)	4	基礎看護学演習Ⅰ(34)	4	基礎看護学演習Ⅰ(35)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月					専門基礎合同演習(16)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(17)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(18)	7 F 実習室
30	火			生理学(24)	共用2	専門基礎合同演習(19)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(20)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(21)	7 F 実習室
7/1	水	実践看護英語(8)	2			英文講読Ⅰ(13)	4	病態学(28)	4	病態学(29)	4
2	木							病態学(30)	4		
3	金			成人看護学Ⅰ(15)	4	基礎看護学演習Ⅰ(36)	4	基礎看護学演習Ⅰ(37)	4	基礎看護学演習Ⅰ(38)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/6	月										
7	火										
8	水	実践看護英語(9)	2	英文講読Ⅰ(14)	4	英文講読Ⅰ(15)	4				
9	木										
10	金					基礎看護学演習Ⅰ(39)	4	基礎看護学演習Ⅰ(40)	4	基礎看護学演習Ⅰ(41)	4

7/13	月										
14	火										
15	水	実践看護英語(10)	2	英文講読Ⅰ(16)	4	英文講読Ⅰ(17)	4				
16	木	前期定期試験									
17	金	前期定期試験									

7/20	月	海の日									
21	火	前期定期試験									
22	水	前期定期試験									
23	木	前期定期試験									
24	金	前期定期試験									

7/27	月	前期定期試験									
28	火	前期定期試験									
29	水	前期定期試験									
30	木										
31	金										

夏季休業　7/30(木)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(後期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/3	木	基礎看護学演習Ⅰ(42)	4	基礎看護学演習Ⅰ(43)	4	基礎看護学実習Ⅱ					4
4	金	基礎看護学実習Ⅱ									4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/7	月	基礎看護学実習Ⅱ									4
8	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
9	水	基礎看護学実習Ⅱ									4
10	木	基礎看護学実習Ⅱ									4
11	金	基礎看護学実習Ⅱ									4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/14	月	基礎看護学実習Ⅱ									
15	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
16	水	基礎看護学実習Ⅱ			症例検討室						
17	木										
18	金	基礎看護学Ⅲ(7)	4	基礎看護学Ⅲ(8)	4						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	国民の休日									
23	水	秋分の日									
24	木										
25	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月			在宅看護学Ⅰ(1)	4	病態学(31)	4	病態学(32)	4		
29	火			成人看護学Ⅱ(1)	4						
30	水					保健医療福祉制度論(1)	4	保健医療福祉制度論(2)	4		
10/1	木			栄養学(1)	4	精神看護学(1)	4	精神看護学(2)	4		
2	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月			在宅看護学Ⅰ(2)	4	病態学(33)	4	病態学(34)	4	病態学(35)	4
6	火			成人看護学Ⅱ(2)	4	小児看護学演習Ⅰ(1)	4	小児看護学演習Ⅰ(2)	4		
7	水					保健医療福祉制度論(3)	4	保健医療福祉制度論(4)	4		
8	木			栄養学(2)	4	精神看護学(3)	4	精神看護学(4)	4		
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	体育の日									
13	火					小児看護学演習Ⅰ(3)	4	小児看護学演習Ⅰ(4)	4		
14	水	薬理学Ⅰ(1)	1	薬理学Ⅰ(2)	1	保健医療福祉制度論(5)	4	保健医療福祉制度論(6)	4		
15	木			栄養学(3)	4	医療情報学(1)	情報検索室	医療情報学(2)	情報検索室		
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月			在宅看護学Ⅰ(3)	4	病態学(36)	4	病態学(37)	4		
20	火	成人看護学Ⅱ(3)	4	成人看護学Ⅱ(4)	4	小児看護学演習Ⅰ(5)	4	小児看護学演習Ⅰ(6)	4		
21	水	薬理学Ⅰ(3)	1	薬理学Ⅰ(4)	1	保健医療福祉制度論(7)	4	保健医療福祉制度論(8)	4		
22	木	解剖体追悼式									
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月			在宅看護学Ⅰ(4)	4	病態学(38)	4	病態学(39)	4		
27	火			成人看護学Ⅱ(5)	4	小児看護学演習Ⅰ(7)	4	小児看護学演習Ⅰ(8)	4		
28	水	薬理学Ⅰ(5)	1	薬理学Ⅰ(6)	1	保健医療福祉制度論(9)	4	保健医療福祉制度論(10)	4		
29	木			栄養学(4)	4	医療情報学(3)	情報検索室	医療情報学(4)	情報検索室		
30	金			成人看護学Ⅱ(6)	4	基礎看護学演習Ⅱ(1)	4	基礎看護学演習Ⅱ(2)	4	基礎看護学演習Ⅱ(3)	4

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月			在宅看護学Ⅰ(5)	4	病態学(40)	4	病態学(41)	4		
3	火	文化の日									
4	水	薬理学Ⅰ(7)	1	薬理学Ⅰ(8)	1	保健医療福祉制度論(11)	4	保健医療福祉制度論(12)	4		
5	木			栄養学(5)	4	医療情報学(5)	情報検索室	医療情報学(6)	情報検索室		
6	金			成人看護学Ⅱ(7)	4	基礎看護学演習Ⅱ(4)	4	基礎看護学演習Ⅱ(5)	4	基礎看護学演習Ⅱ(6)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月			在宅看護学Ⅰ(6)	4	病態学(42)	4	病態学(43)	4		
10	火					小児看護学演習Ⅰ(9)	4	小児看護学演習Ⅰ(10)	4		
11	水	薬理学Ⅱ(1)	1	薬理学Ⅱ(2)	1	保健医療福祉制度論(13)	4	保健医療福祉制度論(14)	4		
12	木			栄養学(6)	4	医療情報学(7)	情報検索室	医療情報学(8)	情報検索室		
13	金			成人看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(7)	4	基礎看護学演習Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(9)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	在宅看護学Ⅰ(7)	4	在宅看護学Ⅰ(8)	4						
17	火			成人看護学Ⅱ(9)	4	小児看護学演習Ⅰ(11)	4	小児看護学演習Ⅰ(12)	4		
18	水	薬理学Ⅱ(3)	1	薬理学Ⅱ(4)	1	保健医療福祉制度論(15)	4	保健医療福祉制度論(16)	4		
19	木			栄養学(7)	4	精神看護学(5)	4	精神看護学(6)	4		
20	金			成人看護学Ⅱ(10)	4	基礎看護学演習Ⅱ(10)	4	基礎看護学演習Ⅱ(11)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火					小児看護学演習Ⅰ(13)	4	小児看護学演習Ⅰ(14)	4		
25	水										
26	木			栄養学(8)	4	精神看護学(7)	4	精神看護学(8)	4		
27	金			成人看護学Ⅱ(11)	4	基礎看護学演習Ⅱ(12)	4	基礎看護学演習Ⅱ(13)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月					病態学(44)	4	病態学(45)	4	病態学(46)	4
12/1	火	成人看護学Ⅱ(12)	4			小児看護学演習Ⅰ(15)	4	小児看護学演習Ⅰ(16)	4		
2	水										
3	木					精神看護学(9)	4	精神看護学(10)	4		
4	金			成人看護学Ⅱ(13)	4	基礎看護学演習Ⅱ(14)	4	基礎看護学演習Ⅱ(15)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月					精神看護学(11)	4	精神看護学(12)	4		
8	火										
9	水										
10	木					精神看護学(13)	4	精神看護学(14)	4		
11	金			成人看護学Ⅱ(14)	4						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月					病態学(47)	4	病態学(48)	4		
15	火			成人看護学Ⅱ(15)	4						
16	水	薬理学Ⅱ(5)	1	薬理学Ⅱ(6)	1						
17	木					精神看護学(15)	4	精神看護学(16)	4		
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										

冬季休業　12/22(火)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火										
6	水	薬理学Ⅱ(7)	1	薬理学Ⅱ(8)	1						
7	木					基礎看護学演習Ⅱ(16)	4	基礎看護学演習Ⅱ(17)	4		
8	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火										
13	水										
14	木										
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/18	月										
19	火										
20	水										
21	木										
22	金										

1/25	月	後期定期試験									
26	火	後期定期試験									
27	水	後期定期試験									
28	木	後期定期試験									
29	金	後期定期試験									

2/1	月	後期定期試験									
2	火	後期定期試験									
3	水	後期定期試験									
4	木	後期定期試験									
5	金	後期定期試験									

2/8	月	補講・再試									
9	火	補講・再試									
10	水	補講・再試									
11	木	建国記念の日									
12	金	補講・再試									

2/15	月	補講・再試									
16	火	補講・再試									
17	水	補講・再試									

春季休業　2/18(木)～

時間割番号	012006				
科目名	解剖学Ⅱ				
担当教員	星 治, 長 雄一郎				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Anatomy（Ⅱ）

【科目責任者】星治

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で，医学の最も基礎的な領域である。

授業の到達目標(SBOs)

からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について，基本的な構造を理解することを目標とする。さらに，看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく，実物観察により理解を深めることも重視する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	08:50-10:20	共用講義室2	生殖器系(女性)	卵巣、卵管、子宮、膣	星 治
2	4/9	10:30-12:00	共用講義室2	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道	星 治
3-4	4/14	08:50-12:00	共用講義室2	神経系(中枢神経系) Ⅰ	神経系の構成、脊髄、延髄と橋	星 治
5	4/15	08:50-10:20	共用講義室2	神経系(中枢神経系) Ⅱ	小脳、大脳、間脳、脳室と脳脊髄膜	星 治
6	4/16	10:30-12:00	共用講義室2	神経系(末梢神経系) Ⅲ	脳神経、脊髄神経、自律神経、伝導路	星 治
7-8	4/21	08:50-12:00	共用講義室2	感覚器系 発生学	感覚器系:眼球とその付属器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚 発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	長 雄一郎

授業内容

人体を各系統に分け，それらを構成する各器官の形態と構造について講義し，基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。

成績評価の方法

筆記試験を行う。一部英文による出題もある。

準備学習などについての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

藤田恒夫：入門人体解剖学 南江堂

参考書

牛木辰男：入門組織学 南江堂

井上貴央(監訳)：人体解剖学(構造と機能:ミクロからマクロまで)西村書店

他科目との関連

人体の様々な病態を理解するためには，からだの構造の基本的な知識が必要である。このため解剖学は他の多くの科目と関連している。特に生理学，病理学，病態学とは密接な関連がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので，講義に関連した領域については自習する。

連絡先

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp　3号館 16F

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。
湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012007				
科目名	生理学				
担当教員	星 治, 長 雄一郎				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	3

英文名：Physiology

【科目責任者】星治

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し，全体として統合されているかを追求する学問である。

授業の到達目標(SBOs)

人体の各構成要素の機能の基本的事項を，解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは，疾病による人体の機能の変化を理解する上でも，看護学を修得する上でも重要なことである。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/22	08:50-10:20	共用講義室2	総論	生理学の概念、意義	星 治
2	4/23	10:30-12:00	共用講義室2	体液	体液とその調節	星 治
3	4/28	08:50-10:20	共用講義室2	血液と生体防御	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
4	4/30	10:30-12:00	共用講義室2	循環の生理	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
5-6	5/7	08:50-12:00	共用講義室2	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸気系の検査	星 治, 長 雄一郎
7-8	5/12	08:50-12:00	共用講義室2	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治
9-10	5/14	08:50-12:00	共用講義室2	栄養と代謝	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	星 治
11-12	5/19	08:50-12:00	共用講義室2	尿の生成と排泄	腎臓の機能と尿の生成	星 治, 長 雄一郎
13-14	5/21	08:50-12:00	共用講義室2	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治
15	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	内分泌の機能	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
16	5/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	星 治
17	6/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	星 治
18	6/4	10:30-12:00	共用講義	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経	星 治

			室2		線維の種類、興奮の伝達、シナプス	
19	6/9	10:30-12:00	共用講義室2	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
20	6/11	10:30-12:00	共用講義室2	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
21	6/16	10:30-12:00	共用講義室2	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治, 長 雄一郎
22	6/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治, 長 雄一郎
23	6/23	10:30-12:00	共用講義室2	筋肉の機能(1)	筋肉の分類とその機能	星 治
24	6/30	10:30-12:00	共用講義室2	筋肉の機能(2)	骨格筋収縮のしくみ	星 治

授業内容

生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で，呼吸，血液循環，消化と吸収，代謝，排泄，内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方，高次機能は動物において発達，特殊化した機能を意味し，運動，神経，感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次，要点を講義する。

成績評価の方法

講義:前期の試験期間に筆記試験を行う。一部，英文による出題もある。

準備学習などについての具体的な指示

指定の教科書を事前に読むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

大学課程の生理学 : ヒトのからだを識るために／山本敏行，田崎京二，鈴木泰三 共著,:南江堂，2006

参考書

本郷利憲，廣重力，豊田順一，熊田衛 編集:標準生理学，医学書院

他科目との関連

人体の構造を理解した上で，それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は，解剖学と表裏一体をなすとともに，薬理学，生化学，栄養学，病態学等と密接な関係がある

履修上の注意事項

時間数が限られているため，講義に関連した領域について自習することが必要である。

連絡先

星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 3号館16F

オフィスアワー

星 治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。
湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008				
科目名	生化学				
担当教員	赤澤　智宏				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

英文名：Biochemisty

【科目責任者】赤澤智宏

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

生化学は生体の機能と構造を分子レベルで理解することを目標としている。すなわち，生体を構成している物質（生分子）がどのような化学構造や性質を持ち，どのような相互作用を通して生理機能を果たしているか，またそれらがどのようにして合成され，分解されていくのかを理解することです。また、生化学では食物からどのようにして生体に必要なエネルギーや生体構成成分の原料を取り出すかも学びます。

授業の到達目標(SBOs)

生化学の近年の進歩は目覚しく，生体の各種の現象が生分子の分子構造やその変化の過程としてかなり具体的に把握できるようになってきている。講義はこのような最新の知識を基に進めるますが，生命現象の本質的な部分については体系的に学べるようにしています。その上で，医療において特に必要な生化学的知識を身につけることを目指す。またこのような勉強を通して生命への畏敬の念を育んでほしい。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	08:50-10:20	共用講義室2	生化学講義	序論：細胞の基本構造、細胞内小器官、細胞骨格、生分子、水	赤澤　智宏
2-3	4/13	10:30-14:30	共用講義室2	生化学講義	アミノ酸・タンパク質：アミノ酸、立体異性体、ペプチド結合、タンパク質、生体高分子；酵素：触媒、酵素、酵素反応速度論、補酵素、ビタミン、活性調節	赤澤　智宏
4	4/17	08:50-10:20	共用講義室2	生化学講義	糖質の化学と代謝：単糖類、二糖類、オリゴ糖類、多糖類、不斉炭素、異性体	赤澤　智宏
5-6	4/20	10:30-14:30	共用講義室2	生化学講義	脂質の化学：脂質の定義・分類、脂肪酸、中性脂肪、複合脂質、ステロイド、プロスタグランジン；核酸の化学：ヌクレオチド、ヌクレオシド、DNA、RNA、クロマチン、遺伝情報	赤澤　智宏
7	4/24	08:50-10:20	共用講義室2	生化学講義	代謝学入門：代謝学総論、ホメオスターシス、代謝調節、代謝異常	赤澤　智宏
8-9	4/27	10:30-14:30	共用講義室2	生化学講義	糖質代謝：解糖系、ペントースリン酸回路、グリコーゲン代謝、糖質代謝異常症；脂質代謝：脂肪酸のβ酸化と生合成、コレステロール代謝、ケトン体、リポタンパク質代謝、脂質代謝異常	赤澤　智宏
10	5/1	08:50-10:20	共用講義	生化学講義	生体酸化：トリカルボン酸回路、呼	赤澤　智宏

			室2		吸鎖、ATP 合成	
11	5/8	08:50–10:20	共用講義室2	生化学講義	アミノ酸代謝:アミノ酸の異化、尿素回路、糖新生、生体アミン、必須アミノ酸、臓器相関	赤澤 智宏
12–13	5/11	10:30–14:30	共用講義室2	生化学講義	代謝の統合・栄養学:代謝経路の切り換え、代謝間の繋がり、コリン回路、飢餓、肥満;タンパク質合成:複製、転写とプロセシング、翻訳、翻訳後修飾	赤澤 智宏
14	5/15	08:50–10:20	共用講義室2	生化学講義	遺伝生化学:遺伝子と染色体、遺伝子の構造と機能、遺伝と疾患	赤澤 智宏
15	5/18	13:00–14:30	共用講義室2	生化学講義	病態生化学:代謝異常症、肝疾患、腎疾患	赤澤 智宏

授業内容

糖質，脂質，アミノ酸、タンパク質，核酸などの主要な生分子の基本性質と代謝における意義について学ぶ。とくに，ATP を中心とする生体でのエネルギー変換過程の理解が重要である。また，核酸の塩基配列に組み込まれた情報にしたがって、特定の場所に特定の量の特定の配列をもつタンパク質が作られ，それが働くことによって細胞の機能が発揮され、われわれの身体が維持されることを学ぶ。また主要な疾患の病態生化学を理解する。

成績評価の方法

試験期間に筆記試験を行い評価する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

イラストレッテッド ハーパー生化学(上代淑人 監訳:丸善)
ストライヤー生化学(入村・岡山・清水 訳:東京化学同人)
ヴォート 生化学 上下(田宮信雄ほか 訳:東京化学同人)
臨床検査学講座 生化学(阿南功一ほか:医歯薬出版)
レーニンジャーの新生化学 上下(山科郁男 監訳:広川書店)
細胞の分子生物学 第4版(中村・松原 監訳:ニュートンプレス)

他科目との関連

生化学の対象は広く，ほとんど全部の科目と関連しているが，特に関連の深い科目として，栄養学、生理学，薬理学がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので，講義で触れられなかった領域は教科書を利用して必ず学習をすること。

連絡先

c.akazawa.bb@tmd.ac.jp 3号館 16F

オフィスアワー

月曜日～金曜日 AM.6:30–PM6:00 3 号館 16 階教授室

時間割番号	012009				
科目名	薬理学Ⅰ				
担当教員	安原　眞人, 大久保　功子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

Pharmacology Ⅰ

授業の目的、概要等

薬理学は、薬物の吸収・分布・代謝・排泄といった体内動態と、薬物が生体に及ぼす影響を個体レベルから臓器・組織、細胞、さらには分子レベルで研究する学問である。薬物の体内動態と薬理作用のメカニズムを知ることは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標(SBOs)

1. 薬物体内動態の基本とその変動因子を説明できる。
2. 神経系に作用する薬物の作用機構を説明できる。
3. 法律上の薬物の区分や取り扱いの注意点を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	【薬理学Ⅰ】総論	薬理学の構成, 薬物とは何か, 薬物と法律, 薬理作用と作用機序, 薬物の反応に影響を与える因子	安原　眞人
2	10/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	薬物動態(1)	薬物の投与経路, 吸収, 分布	安原　眞人
3	10/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	薬物動態(2)	薬物の代謝, 排泄, 薬物相互作用	安原　眞人
4	10/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	自律神経(1)	コリン作動薬, コリン作動性効果遮断薬	安原　眞人
5	10/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	自律神経(2)	アドレナリン作動薬, アドレナリン作動性効果遮断薬, 筋弛緩薬, 局所麻酔薬	安原　眞人
6	10/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	中枢神経(1)	全身麻酔薬, 鎮静睡眠薬, 麻薬性鎮痛薬	安原　眞人
7	11/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	中枢神経(2)	抗てんかん薬, 抗パーキンソン病薬	安原　眞人
8	11/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	中枢神経(3)・薬物依存	抗精神病薬,　抗うつ薬, 薬物依存	安原　眞人

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、筆記試験の結果と授業への出欠状況に基づき評価する。

準備学習などについての具体的な指示

生理学、病理学、生化学の基礎を学んでおくこと。有機化学の構造式に関する基本を理解していることが望ましい。

教科書

シンプル薬理学／野村隆英, 石川直久 編集,:南江堂, 2014

連絡先

安原　眞人:yasuhara.mpha@tmd.ac.jp

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

オフィスアワー

安原　眞人:毎週月曜日 10:00～14:00　M&D タワー16 階薬物動態学研究室

時間割番号	012010				
科目名	薬理学Ⅱ				
担当教員	安原　眞人, 大久保　功子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

Pharmacology Ⅱ

授業の目的、概要等

薬理学は、薬物の吸収・分布・代謝・排泄といった体内動態と、薬物が生体に及ぼす影響を個体レベルから臓器・組織、細胞、さらには分子レベルで研究する学問である。薬物の体内動態と薬理作用のメカニズムを知ることは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標(SBOs)

1. ホルモン、免疫系に作用する薬物の作用機構を説明できる。
2. 循環器、消化器、呼吸器系に作用する薬物の作用機構を説明できる。
3. 感染症治療薬、抗がん薬の作用機構を説明できる。
4. 薬害、薬物の安全性について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	【薬理学Ⅱ】ホルモン	脳下垂体、甲状腺、インスリン、カルシウム代謝	安原　眞人
2	11/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	抗炎症薬、免疫抑制薬	ステロイド、抗炎症薬、免疫抑制薬	安原　眞人
3	11/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	心・血管系	強心薬, 抗狭心症薬, 抗不整脈薬, 降圧薬	安原　眞人
4	11/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	腎臓、呼吸器系、消化器系	利尿薬, 鎮咳薬, 喘息治療薬、潰瘍治療薬, 下剤, 貧血治療薬, 止血薬, 抗凝固薬	安原　眞人
5	12/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	抗感染症薬	抗菌薬, 抗ウイルス薬	安原　眞人
6	12/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	抗悪性腫瘍薬	抗悪性腫瘍薬	安原　眞人
7	1/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	薬物の安全性	ヘルシンキ宣言、治験、GCP	安原　眞人
8	1/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	薬害	副作用と薬害、薬害被害者による講演(教育委員会主催)	安原　眞人

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、筆記試験の結果と授業への出欠状況に基づき評価する。

準備学習などについての具体的な指示

生理学、病理学、生化学の基礎を学んでおくこと。有機化学の構造式に関する基本を理解していることが望ましい。

教科書

シンプル薬理学／野村隆英, 石川直久 編集,:南江堂, 2014

連絡先

安原　眞人:yasuhara.mpha@tmd.ac.jp
大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

オフィスアワー

安原　眞人:毎週月曜日 10:00～14:00　M&D タワー16 階薬物動態学研究室

時間割番号	012011				
科目名	病理学				
担当教員	沢辺　元司, 副島　友莉恵				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Pathology

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

病理学は疾病の本態を解明する学問であり，基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。従って,病理学的知識・思考は専門課程2学年から4学年に至る間，何らかの形で常に教授される。

授業の到達目標(SBOs)

病理学では，疾病病変の共通の変化を論じ，病態の本質，その成因を系統的に把握，理解する。病理学の学習を通して疾病の本態を理解し，医学・医療の基本的知識・思考が習得することを目標とする。また期末試験の約 10%に英語を出題するので，教科書に英語も併記してある基本的用語は読み書きできるようにしておくこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	病理学・病因論	序論・病理学・病因	沢辺　元司, 副島　友莉恵
2	4/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	進行性病変ほか	進行性病変・退行性病変・代謝障害	沢辺　元司, 副島　友莉恵
3	4/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	循環障害	循環障害	沢辺　元司, 副島　友莉恵
4	4/21	14:40-16:10	医学科講義室1	炎症・感染症	炎症・感染症	沢辺　元司, 副島　友莉恵
5	4/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	免疫	免疫病理学・自己免疫疾患	江石　義信, 副島　友莉恵
6	4/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	腫瘍	腫瘍総論	沢辺　元司, 副島　友莉恵
7	4/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	腫瘍	腫瘍各論	沢辺　元司, 副島　友莉恵
8	5/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	老化ほか	老化・先天異常・放射線障害	沢辺　元司, 副島　友莉恵

成績評価の方法

筆記試験(小試験、前期定期試験)によって評価する。

準備学習などについての具体的な指示

授業の前に講義内容について、下記の教科書を用いて事前学習すること

教科書

スタンダード病理学／河原栄，滝澤登一郎 編,大西俊造，梶原博毅，神山隆一 監修,：文光堂，2009

Robbins Basic Pathology: with STUDENT CONSULT Online Access, 9e／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster：Saunders，2012

参考書

メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する

他科目との関連

病理学は医学・医療の基本をなす分野であり，基礎(特に解剖・組織学,生理学，生化学)ならびに臨床科目とは密接に関連している。

履修上の注意事項

自ら進んで学習し，医学・医療の基本である病理学を習得して欲しい。

参照ホームページ

授業で用いた資料の多くは WebClass で公開するので自学自習に役立てること

連絡先

沢辺　元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp　　3号館 16F

オフィスアワー

沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが，事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3 号館 16 階

時間割番号	012012				
科目名	微生物学				
担当教員	齋藤　良一, 加藤　優子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Medical　microbiology

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

感染症の原因である微生物および微生物とその宿主（特に人間）との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。

授業の到達目標(SBOs)

微生物の示す生命現象および感染症を中心とした医学微生物の基礎的な事項について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	微生物学総論（1）	微生物学の概念と歴史, 微生物細胞の形態と構造	齋藤　良一
2	4/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	微生物学総論（2）	微生物の分類・命名, 細菌の代謝, 細菌の培養	齋藤　良一
3	4/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	微生物学総論（3）	細菌の増殖・生残・死滅, 滅菌と消毒	齋藤　良一
4	5/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	微生物学総論（4）	微生物の遺伝, 環境と微生物	齋藤　良一
5	5/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	免疫	免疫, 微生物の病原因子, 宿主の感染に対する抵抗性	加藤　優子
6	6/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	化学療法薬	化学療法, 感染症の予防とコントロール	齋藤　良一
7	6/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	感染症学総論（1）	主な病原微生物（細菌と真菌）と感染症	齋藤　良一
8	6/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	感染症学総論（2）	主な病原微生物（ウイルス）と感染症	齋藤　良一

授業内容

医学微生物学全般（細菌学, ウイルス学, 真菌学, 免疫学）にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、定期試験により総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

講義内容について予め教科書等で予習すること。

教科書

特に指定しないが次の2冊を推薦する。

・吉田眞一ほか：系統看護学講座　微生物学　医学書院

・東　匡伸ほか：シンプル微生物学　南江堂

他科目との関連

生化学，病理学，公衆衛生学，臨床医学（感染症学）などの科目と密接な関係を持っている。

履修上の注意事項

微生物学の範囲は広く，講義時間数は限られているので，講義内容の復習，講義で詳しくふれなかった事項も個人学習すること。

連絡先

齋藤　良一：r-saito.mi@tmd.ac.jp

加藤　優子：k.yuko.mi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤　良一：随時（必ず事前に連絡を入れること）

加藤　優子：随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012013				
科目名	栄養学				
担当教員	山﨑 智子, 腰本 さおり				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Nutritional Sciences

【科目責任者】山﨑 智子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

栄養は生命活動の源である。栄養素の代謝を理解し、ライフステージ別（乳児期～高齢期）の栄養、病態に応じた栄養療法の基礎を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

バランスの良い食事が、どのような栄養素で構成されているのかを理解し、自らの食生活での実践を目標とする。また、国民栄養調査から我が国が抱える課題を探り、食事パターンや食生活から問題点を見つけ出す能力を養い、具体的な改善策を提案する技術を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	栄養素の代謝(1)	炭水化物・タンパク質・資質の消化吸収	腰本 さおり
2	10/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	栄養素の代謝(2)	ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症	腰本 さおり
3	10/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	応用栄養学	ライフステージ別の栄養	腰本 さおり
4	10/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	病態栄養学(1)	疾患別の栄養療法の基礎	腰本 さおり
5	11/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	病態栄養学(2)	治療食の実際	腰本 さおり
6	11/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	公衆栄養学	国民栄養調査からみた我が国の現状	腰本 さおり
7	11/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	日本人の食事摂取基準	食事摂取基準の見方	腰本 さおり
8	11/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	栄養価計算	一日の栄養摂取量の分析	腰本 さおり

授業内容

栄養素の消化・吸収を理解したうえで過剰症、欠乏症について復習する。また、食事療法が重要な治療として位置づけられている糖尿病や腎臓病に関する、実際の食事の工夫を学ぶ。さらに、1日の食事の栄養価計算を行い、「日本人の食事摂取基準」と比較ながら自らの食生活を考察し、栄養相談の場面で活用する方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、試験、演習のレポートより評価する。

準備学習などについての具体的な指示

炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関係する消化酵素やホルモンについて復習をしておくこと。また自己の食事をもとに栄養価計算を行うので、自分の食生活の問題点を考察しておくとよい。さらに、近年の食を取り巻く社会的問題に関心を持って臨むこと。

参考書

実践！臨床栄養 :「治る力」を引き出す／東口 高志／編,:医学書院, 2010

エッセンシャル臨床栄養学／佐藤和人, 本間健, 小松龍史 編,:医歯薬出版, 2012

糖尿病食事療法のための食品交換表／日本糖尿病学会 編・著,:日本糖尿病協会, 2013

食品成分表 : 便利な 2 分冊／香川芳子 監修,:女子栄養大学出版部, 2013

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また疾患とも密接に関連しており, 病態学と関連づけながら学ぶ必要がある。

連絡先

山﨑 智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

時間割番号	012014				
科目名	病態学				
担当教員	山﨑　智子				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	5

英文名：Clinical　Medicine

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）および保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では，主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は，異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。

授業の到達目標(SBOs)

講義は内科学的，外科学的立場から，保健衛生学科教官の他，内科系，外科系関連教員により行われる。それらの講義を通じて医学分化の趨勢に触れるとともに，器官系統別に主要な病態について内科学的，外科学的視点を統合して発症機序と症候に対する理解を深め，患者の身体を統合的に把握する上での看護の役割の重要性を理解する。

講義時間が少ないので自学実習により理解を確実にする態度を身に付けることが重要である。その経験を通して，他の発達段階にある場合の病態を理解する基盤とするとともに，臨地実習において講義を受けていない疾患の患者を受け持つ場合にも対応できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	病態学総論　内科総論	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	窪田　哲朗
2	4/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	消化器内科①	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	井津井　康浩
3	4/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	消化器内科②	・消化器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	永石　宇司
4-5	4/22	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	内分泌・代謝①②	・内分泌疾・代謝疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	吉本　貴宣
6-7	4/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	腎臓内科①②	・腎疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療，透析療法	森　崇寧
8-9	5/1	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	呼吸器内科①②	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	角　勇樹
10-11	5/13	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	神経内科①②	・神経系疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	石橋　哲
12	5/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義	放射線①	・放射線による画像診断の意義と方法	岸野　充浩

			室4			
13-14	5/27	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	血液内科①②	・血液疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	小山 高敏
15-16	6/1	14:40-17:50	保健衛生学科講義室1	外科総論①②	・外科学の概要および相互の関係	佐藤 健次
17-18	6/3	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	循環器内科①②	・循環器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	笹野 哲郎
19	6/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	膠原病内科①	・膠原病の病態と症候・機序，診断法と治療	窪田 哲朗
20-21	6/10	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	外科総論③④	・腫瘍総論・各論、診断・手術術式	佐藤 健次
22	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	呼吸器外科	・肺疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	藤原 直之
23	6/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	膠原病内科②	・膠原病の病態と症候・機序，診断法と治療	窪田 哲朗
24-25	6/17	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	外科総論⑤⑥	・潰瘍総論・各論、診断、手術術式 ・手術補助療法、臓器移植、医療過誤	佐藤 健次
26	6/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	麻酔①	・手術麻酔	舛田 昭夫
27	6/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	心臓血管外科	・心臓疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	水野 友裕
28-29	7/1	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	泌尿器科①②	・男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	伊藤 将也
30	7/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	放射線②	・放射線による治療の意義と方法	林 敬二
31	9/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	乳腺外科	・乳房疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	小田 剛史
32	9/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	下部消化管外科	・下部消化管疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	菊池 章史
33	10/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科①	・食道疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	東海林 裕
34	10/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科②	・胃疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	大槻 将

35	10/5	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	肝胆膵外科	・肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	落合 高徳
36-37	10/19	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	皮膚科①②	・皮膚疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	並木 剛
38-39	10/26	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	婦人科①②	・婦人科疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	若林 晶
40-41	11/2	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	耳鼻咽喉科①②	・耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	堤 剛
42	11/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	整形外科①	・脊椎疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	川端 茂徳
43	11/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	整形外科②	・四肢骨・関節疾患、外傷の病態と症候、機序、診断法、手術療法	神野 哲也
44	11/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	血管外科	・血管疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	工藤 敏文
45	11/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	眼科	・眼球疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	吉田 武史
46	11/30	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	麻酔②	・ペインクリニック	舛田 昭夫
47-48	12/14	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	脳外科①②	・中枢神経系疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	稲次 基希

授業方法

（注）予定担当者は昨年度実績であり、講師の異動や救急業務に伴い講師名および講義日の変更が生じる場合がある。

授業内容

(1) 内科的診断・治療の基本的考え方について理解する。

(2) 内科的治療を要する主要疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断および治療の概要を理解する。

(3) 外科的治療を要する疾患について，共通する病態および基本的処置・管理について理解する。

(4) 外科的治療を要する疾患について，器官系統別の自然経過，病態，検査・診断，手術・治療，および術前・術後管理の概要を理解する。

成績評価の方法

前期・後期に筆記試験により評価する。

各講師より出題されるので，全ての総合知識が要求される（内科・外科各100問以上出題）。

準備学習などについての具体的な指示

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

教科書

ナースの内科学 = Textbook of Internal Medicine for Nursing／奈良信雄 編著,：中外医学社，2013

ナースの外科学 = Textbook of Surgery for Nursing／磯野可一 編著,：中外医学社，2013

参考書

・ 病気・病態・重症度からみた疾患別看護過程，井上・佐藤（編集），医学書院
・ 系統看護学講座，別巻1，臨床外科看護学総論，医学書院
・ 標準外科学，第8版，武藤輝一・田部達三編，医学書院

他科目との関連

看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには，解剖学，生理学，病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では，単なる知識の集積にとどまらず，これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。

履修上の注意事項

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

連絡先

tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

時間割番号	012015				
科目名	英文講読Ⅰ				
担当教員	大久保　功子, 高畑　悠介				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名:English for Nursing Ⅰ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

英語の読解能力の向上を主眼に置き、文法事項の確認や語彙の増強、リスニングの練習なども行う。また、TOEFL のスコアアップを図るため、授業外での効果的な英語学習法についても触れる予定。

授業の到達目標(SBOs)

この授業を通じて、多少込み入った構造の、骨のある英文を読解する能力を向上させることを目指す。合わせて、教材中に現れた文法事項や語彙についてはこの機会にマスターしてしまい、基礎部分の穴をつぶしたい。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	ガイダンス/テキスト第1課	高畑　悠介
2	4/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第2課	高畑　悠介
3	4/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第3課	高畑　悠介
4	5/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	TOEFL/ITP	高畑　悠介
5	5/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	TOEFL/ITP	高畑　悠介
6	5/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第4課	高畑　悠介
7	5/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第5課	高畑　悠介
8	5/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第6課	高畑　悠介
9	6/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第7課	高畑　悠介
10	6/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読Ⅰ	テキスト第8課	高畑　悠介

11	6/17	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	テキスト第9課	髙畑 悠介
12	6/24	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	テキスト第10課	髙畑 悠介
13	7/1	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	テキスト第11課	髙畑 悠介
14	7/8	10:30–12:00	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	テキスト第12課	髙畑 悠介
15	7/8	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	テキスト第13課	髙畑 悠介
16	7/15	10:30–12:00	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	総復習	髙畑 悠介
17	7/15	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	英文講読 I	期末テスト	髙畑 悠介

授業内容

一般的なトピック（現代社会に関するものなど）を扱った、英語がやや難しめの教材を用いる。各文の文構造、意味を正確に理解し文章全体の論旨を把握することが目標だが、受講者の理解度を確認するため、訳読の形をとることになる。セクションごとに本文の朗読音声を聞きリスニングの練習とするほか、定期的に単語テストも行う。

成績評価の方法

出席 20%、小テスト 20%、学期期末試験 40%、TOEFL/ITP の結果 20%。

準備学習などについての具体的な指示

予習を前提として授業を行うので、わからない単語等は調べてきた上で、辞書を持参すること。

教科書

A World of Ideas 世界の視点を読む／Jim Knudsen：南雲堂, 2013

履修上の注意事項

5 月 11 日実施の TOEFL/ITP の受験は必須である。 また、TOEFL のスコアは海外研修派遣等の応募の際に必要であり、選抜にはスコアの基準があることを理解して受験の準備をすること。

連絡先

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012016				
科目名	専門基礎合同演習				
担当教員	沢辺 元司, 星 治				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名:Practice of Medical Sciences

主な講義場所

保健衛生学実習室3(3号館7階)

授業の目的、概要等

本学科の特徴をいかすべく, 平成 11 年度から発足した大綱化カリキュラムに必修科目として組み入れられた新科目で, 看護学専攻の専門基礎科目についての実習を統合し, 専門基礎合同演習として 8 回の実習を行う。

授業の到達目標(SBOs)

専門基礎科目の解剖学, 生理学, 生化学, 薬理学, 病理学, 微生物学の各担当科目について演習を行い, 専門基礎科目を学んでいく上で基礎となる幅広い知識や技術を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/12	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	骨学	星 治, 長 雄一郎
4-6	5/19	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生化学	核酸の化学(DNA の抽出と精製)	鈴木 喜晴
7-9	5/26	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生理学	心電図	笹野 哲郎
10-12	6/2	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	解剖体実習見学	星 治, 長 雄一郎
13-15	6/23	13:00-17:50	保健衛生学実習室	病理学	病理解剖体肉眼観察	沢辺 元司, 副島 友莉恵
16-18	6/29	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の培養	齋藤 良一
19-21	6/30	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の染色	齋藤 良一

成績評価の方法

各演習科目において, 試験, 提出レポート, 標本スケッチ等により, 担当教員が個々に成績評価をおこなった後, 生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。

準備学習などについての具体的な指示

随時、各担当教員より指示する。

教科書

特に指定しない。

他科目との関連

基礎ならびに専門の看護学に関係する全ての科目に関連している。

履修上の注意事項

全演習の出席を原則とする。演習に関しての詳細は各担当教員に確認すること。 実習は白衣着用のこと。

連絡先

沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F

星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp 3号館 16F

オフィスアワー

沢辺　元司:オフィスアワーは特に定めないが，事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3 号館 16 階

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012017				
科目名	医療情報学				
担当教員	大久保　功子, 本間　達				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

Medical Informatics

主な講義場所

情報検索室(M&D タワー4 階)

授業の目的、概要等

看護学分野における医療情報の関わりを中心に, 基礎的なアプリケーションソフトの実習から, オペレーティングシステムとネットワークの基礎知識, 電子カルテを中心とする情報セキュリティの対策, および ICT の利用による遠隔医療や最先端の医学情報の検索まで, 講義と実習を行なう.

授業の到達目標(SBOs)

医療情報を正確かつ迅速に扱うために必要なコンピュータの基礎知識の修得と, これを活用してアプリケーションソフトなどを使いこなす基礎能力の修得を目標とする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/15	13:00-14:30	情報検索室	医療情報学概論	医療情報学の基礎を学ぶ。	本間　達
2	10/15	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 1	アプリケーションソフトの基礎的な操作実習を行う。	本間　達
3	10/29	13:00-14:30	情報検索室	コンピュータネットワークの基礎	ICT の基本であるコンピュータネットワークの基本構成について学ぶ	本間　達
4	10/29	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 2	ネットワーク操作技術についての操作実習を行なう。	本間　達
5	11/5	13:00-14:30	情報検索室	医療情報の保護	様々なウイルスやマルウェアなどにより, ネットワークに接続したコンピュータから情報が漏洩する危険性がある。この危険性とともに, これらを防止するための様々な基本的技術について学ぶ。	本間　達
6	11/5	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 3	ファイアウォールやセキュリティソフトの設定方法やウイルス検出時の対処方法などにかんする操作実習を行なう。	本間　達
7	11/12	13:00-14:30	情報検索室	医療ネットワークへの接続	電子カルテなど医療従事者として患者情報を取り扱う際の法的な制限とこれに基づくアクセス制限などの必要性を学ぶ.　また, ICT を応用した遠隔医療などの最新技術についても紹介する.	本間　達
8	11/12	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー　実習 4	医療文献を実際に検索する実習を行う。	本間　達

成績評価の方法

1.筆記試験, 2.各回の課題, 3.出席状況　について総合的に評価する.

準備学習などについての具体的な指示

レポート作成や Web ページ閲覧・e-mail などのために, 日常的に使用しているコンピュータや携帯電話などの情報端末について説明書を精読しておくことが望ましい.

また, 参考書として紹介した本などを含め, 情報科学に関連する成書により関連知識を予習しておくこと。

参考書

ナースのための遠隔情報管理システム : ネットワークを利用した看護と福祉／若松秀俊 著,:真興交易医書出版部, 2007
他科目との関連 情報科学(1 年), 保健統計学(4 年)などと関連が深い.
備考 情報検索室(M&D タワー4 階)は基本的に開放されている。本講義により学んだことをレポート作成等にただちに反映するのが望ましい.
連絡先 大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012018				
科目名	保健医療福祉制度論				
担当教員	森田　久美子				
開講時期	後期	**対象年次**	2	**単位数**	2

英文名：Health and welfare System

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

保健医療福祉制度は、関連する制度も含めると「社会保障制度」になる。社会保障とは、5 つの社会保険(年金・医療・介護・雇用・労災)、福祉(児童・障害者・高齢者・女性などの社会的弱者対象)、生活保護、公衆衛生、医療体制と、大変幅広い分野からなる多種多様で複雑難解な制度である。しかし知識がないと申請できないという根本的な問題を抱えるため、社会保障教育が重要となる。

日本は世界一の超少子高齢社会になり、家族・地域の支えあい機能も低下して、個人の努力範囲を超える人生のリスクは高まっている。さらに世界大不況の影響で生活は不安定になり、雇用保険、生活保護などの受給者も増加している。老後や失業に備えて貧困を予防する社会保険加入が重要となるが、非正規社員の増加により社会保険のあり方も見直しを迫られている。

家族に代わる社会支援の割合が増しているが、長寿化で支援を受ける人が増加し、少子化で税金・社会保険料を負担して社会保障を支える現役世代は減少するという、財源的に厳しい時代に入った。このような受給バランスが崩れた社会において、社会保障制度を安定維持するには、あらゆる年齢の国民が健康寿命を意識し、生涯安定した収入を得ながら自立した生活ができる社会支援が必要になっている。

社会保障制度は、国民の人生・生活を安定させることで社会を安定・発展させる、車の両輪の役割を持っている。経済発展と社会保障教育で自立した国民を増やし、利用者のモラルを高めながら社会保障制度をより効果的に実施する「良い循環」をもたらす施策が求められる。

授業の到達目標(SBOs)

保健医療福祉に携わる専門職の対象は「人」であり、傷病・要介護・障害・失業・貧困など様々な複合リスクとニーズを抱えている。それを的確に把握して、尊厳も大切にしながら信頼関係を築き、多様な社会サービスにつなげることで、利用者主体の自立を支援する重要な職種である。またチーム医療の時代に入り、他の医療職や福祉職・ボランティアとの連携も重要になっており、地域福祉も含めた社会保障制度の知識とコミュニケーション能力が求められる。

ネットワークの中で、社会的弱者の実態把握、必要な自立支援を検討することにより総合的・効果的な支援ができる医療職を目指す。また患者・要介護者あっての医療職であることを忘れず、知識・技術の研鑽を積み続けると同時に「支援させていただく」という意識も大切にしたい。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/30	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護　他	森田　久美子
3-4	10/7	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	内田　厚子
5-6	10/14	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・	内田　厚子

					出産手当、医療体制、過剰病床問題。		
7-8	10/21	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービスの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度 他	内田 厚子	
9-10	10/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」公的介護保険が必要な背景、介護保険の目的・仕組・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬 他	森田 久美子	
11-12	11/4	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度・生活保護制度・低所得者対策」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類、自治体独自の制度、虐待の現状、低所得者の負担軽減、社会福祉協議会、民生委員、成年後見制度 他	内田 厚子	
13-14	11/11	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	内田 厚子	
15-16	11/18	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「海外の社会保障制度・まとめ」先進諸国の年金・医療・雇用・労災・介護・子育て支援を比較することで、日本の制度を見直す視点にする。国民性・歴史・為替変動を考慮する。	内田 厚子, 森田 久美子	

成績評価の方法

学期末筆答試験, レポートなどにより評価する。

準備学習などについての具体的な指示

保健医療福祉制度に関連するニュース、新聞記事などには必ず目を通し、最新の情報を得るように努めること。

教科書

内田厚子著「最新データ・重要ポイント解説『日本の社会保障制度 2015』」

＊テキスト代を初日に徴収、金額は掲示します。

参考書

①内田厚子著「高校生・大学生・社会人の必須科目『社会保障』」(文芸社)

②その他、国民衛生の動向、国民の福祉の動向、保険と年金の動向、厚生労働白書、
厚生統計要覧、社会保障年鑑など

その他　厚生労働省・文部科学省・内閣府のホームページ、制度ごとの情報冊子・リーフレット

他科目との関連

地域看護学、地域精神看護学、老年看護学、保健統計学、看護管理学・看護経済論などの分野と一部内容が重複するが、各制度の全体像を体系的に把握して整理しておくことが医療職として重要である。

履修上の注意事項

保健医療福祉制度は頻繁に改正されるため、常に最新情報を収集できるよう関心を持ち続け、幅広い相談に乗れる医療専門職をめざす。就職後の自分の人生にも役立つ。

連絡先

morita.phn@tmd.ac.jp　3号館 15F

時間割番号	012030				
科目名	実践看護英語				
担当教員	近藤 暁子				
開講時期	前期	対象年次	2～3	単位数	1

Practicum of English for Nursing

主な講義場所

保健衛生学講義室 2(3 号館 8 階)

授業の目的、概要等

看護・医療職を必要としている国際組織や海外の医療・研究・教育機関における研修・留学をするにあたり、看護学生に求められる英文読解、英作文、および英語によるコミュニケーション能力を養う。

授業の到達目標(SBOs)

国際組織や海外の医療・教育・研究機関において日常的に用いられている看護および医療専門用語の語彙力および情報収集・分析能力を習得する。講義および演習をすべて英語で行い、国際社会で必要とされているプレゼンテーション、コミュニケーション能力を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	国際社会における看護職看護職の役割	近藤 暁子
2	5/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 1	Janelle Renee Moross
3	5/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 2	Janelle Renee Moross
4	6/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 3	Janelle Renee Moross
5	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 4	Janelle Renee Moross
6	6/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 5	Janelle Renee Moross
7	6/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 6	Janelle Renee Moross
8	7/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 7	Janelle Renee Moross
9	7/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	近藤 暁子
10	7/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	近藤 暁子

授業方法

プレゼンテーションを中心とし、ネイティブ・スピーカーの先生との討議など主体的な参加を中心とする。
成績評価の方法 出席率と学生プレゼンテーション
成績評価の基準 出席率およびプレゼンテーションの内容
準備学習などについての具体的な指示 プレゼンテーション準備のための自己学習をしてくること。その準備にあたり、個別指導を受けること。
試験の受験資格 2/3 以上の出席
オフィスアワー オフィスアワー:

時間割番号	012070				
科目名	国際保健福祉				
担当教員	大久保　功子				
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1

英文名：Global Health and welfare

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

海外

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。

授業の到達目標(SBOs)

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	18:00-19:30	保健衛生学科講義室1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設，保健福祉施設，教育機関における見学・講義・実習等）	大久保　功子，佐々木　明子

授業方法

海外研修

授業内容

希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。

成績評価の方法

研修前の準備

研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況

研修報告会における発表状況

研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5段階評価とする。

準備学習などについての具体的な指示

研修で困らない語学力を身に着けておくこと

TOEFLによる語学評価を受けておくこと

グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること

希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

事前学習と、海外研修、事後報告からなる

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。　4月9日(木)18時00分～合同オリエンテーション(18階を予定)に参加すること。

連絡先

kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012019				
科目名	基礎看護学Ⅱ				
担当教員	齋藤　やよい, 大黒　理恵, 大河原　知嘉子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Fundamental　NursingⅡ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1および2（3号館17階）

授業の目的、概要等

看護学専門科目に共通する基本的な看護ケア技術を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

日常生活行動の援助を中心に、技術の科学的根拠となる基礎的知識と具体的な方法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	環境	入院患者の病床環境について学ぶ。	齋藤　やよい, 大黒　理恵, 大河原　知嘉子
2	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。 身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し，看護ケアの中で活用する能力を養う。	斎藤　真
3	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。 身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し，看護ケアの中で活用する能力を養う。	斎藤　真
4	4/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。 身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し，看護ケアの中で活用する能力を養う。	斎藤　真
5	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	衣生活	入院患者における衣服の意義、寝床環境を理解し、適切な衣服や寝床環境の選択方法を学ぶ。	齋藤　やよい, 大黒　理恵, 大河原　知嘉子
6	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	安全	医療事故の現状と患者の権利と責務を理解し、安全や安楽を確保するための基礎能力を養う。	齋藤　やよい, 大黒　理恵, 大河原　知嘉子
7	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	身体の清潔	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤　やよい, 大黒　理恵, 大河原　知嘉子

8	6/4	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	感染看護	感染予防の実際。 Infection Controlの実際を学び，事故を防止し，安全を確保するための基礎能力を養う。	齋藤 やよい，大黒 理恵，大河原 知嘉子	

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4/9（木）に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

単元毎の課題レポート（45%），学期末筆記試験（50%），および出席状況（5%）により評価

学期末試験の約10%に英語を出題するので，教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。

教科書

1）香春知永、齋藤やよい：基礎看護技術、南江堂、2009

2）山口瑞穂子：看護技術講義・演習ノート上巻、医学芸術社、2006

3）三上れつ、小松万喜子:演習・実習に役立つ基礎看護技術、ヌーヴェル・ヒロカワ、 2008

4）松尾ミヨ子他：基礎看護学：ヘルスアセスメント、MC メディカ出版、2009

5）菱沼典子、小松浩子:看護実践の根拠を問う、南江堂、2007

参考書

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

基礎看護学Ⅰ，基礎看護学演習Ⅰの他に，学習の基礎となる教養の自然科学系，社会学系の科目，特に人間科学，社会学，心理学，哲学などを学習しておく。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために，柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験，社会体験を踏まえ，幅広い分野の書物に触れ，社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先

齋藤 やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp 3号館18F

オフィスアワー

齋藤 やよい:毎週火曜日 AM.10:00–PM.1:00 3号館18階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012020				
科目名	基礎看護学Ⅲ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1

英文名：Fundamental Nursing Ⅲ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）ほか

授業の目的、概要等

看護学専門科目に共通する問題解決の思考プロセスとして，看護過程を概念と展開の方法を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1）看護過程の役割と意義を理解する。

2）看護過程のステップを理解する。

3）看護実践における看護過程の展開方法を理解する。

4）ビデオ事例を通した看護過程展開の実際を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護過程の定義	看護過程とはなにか，背景と特徴 看護過程と問題解決方法(POS)との関係	齋藤　やよい
2	5/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護過程の構成要素	看護過程の5つの構成要素とその課題	齋藤　やよい
3	5/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護過程の展開(1)	看護の観察と分析　看護診断と看護診断名	齋藤　やよい
4	5/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護過程の展開(2)	目標(成果)と計画立案　調整，実施，記録(目的と種類)　問題の達成評価	齋藤　やよい
5	6/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護過程の展開(3)	看護診断	齋藤　やよい
6	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護過程の展開(4)	看護診断	齋藤　やよい
7	9/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	事例による展開(1)	受け持ち患者の看護過程(グループワーク)	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
8	9/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	事例による展開(2)	受け持ち患者の看護過程(グループワーク)	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子

授業内容

＊日時および内容は変更する場合がある。4/9(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

出席状況と、事例および基礎看護学実習Ⅱの受け持ち患者の実習記録用紙Ⅱ−1、2、3、4により評価する。

成績評価の基準

出席状況 20%、事例の記録内容 30%、受け持ち患者の記録内容 50%の配分で評価する。

準備学習などについての具体的な指示

1)講義日程を確認し、当該範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。

2)事例による演習は、個人での看護展開をもとに進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。

教科書

基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい 編集,:南江堂, 2014

参考書

参考資料を配付

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

講義と事例による演習を並行して行う。受け持ち患者の看護体験をもとに、個々の看護過程を振り返る。あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり, グループワークに積極的に参加することで, 理解を深めること。

連絡先

齋藤 やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

齋藤 やよい:毎週火曜日 AM.10:00−PM.1:00 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012021				
科目名	基礎看護学演習Ⅰ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

英文名：Seminar of Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1および2（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

全ての人に共通する看護実践の基礎的知識と技術を学習する科目である。ここでは日常生活行動の援助を中心に，看護技術を構成する知識，技能，態度の3要素を，演習を通して身につける。

授業の到達目標(SBOs)

基礎看護学Ⅰ・Ⅱで学んだ，看護の概念や看護ケアの方法を，実際のケアに活かせるよう演習する。演習はグループ単位に行い，看護を必要とする人々の生活理解に基づき，ニーズをアセスメントし必要なケアを計画，実施する。また，援助の科学的根拠を追求する姿勢を養い，知識を活用して，考えながら行動するための基本的な技能と態度を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1	ベッドメーキング・環境整備	入院患者の病床環境の調整を行なうための方法と，ベッドメーキングの方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
2	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1	ベッドメーキング・環境整備	入院患者の病床環境の調整を行なうための方法と，ベッドメーキングの方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
3	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1	身体の観察Ⅰ	生命の徴候を客観的に観察し，情報を収集する方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
4	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1	バイタルサインの測定	呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を学び，測定値の示す意味とその変動条件について理解する。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
5	4/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1	バイタルサインの測定	呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を学び，測定値の示す意味とその変動条件について理解する。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
6	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4，看	運動	入院患者における運動の意義を理解し、身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉

			護学実習室1			子
7	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	体位変換	基本的な安楽な体位の保持, 体位変換, 移動(移送)の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
8	4/16	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	移送・移動	基本的な安楽な体位の保持, 体位変換, 移動(移送)の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
9	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	看護とコミュニケーションⅠ	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
10	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	看護とコミュニケーションⅠ	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
11	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	寝衣交換	適切な衣服選択と衣服着脱の援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
12	4/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	シーツ交換	適切な就床患者のシーツ交換の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
13	5/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(手・足浴)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
14	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(洗髪)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
15	5/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(洗髪)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
16	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義	身体の観察Ⅱ	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を	城生 弘美, 齋藤 やよい,

			室4, 看護学実習室1		学ぶ。	大黒 理恵, 大河原 知嘉子
17	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	フィジカルアセスメント	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	城生 弘美, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
18	5/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	フィジカルアセスメント	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	城生 弘美, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
19	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(全身清拭)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
20	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(全身清拭)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
21	5/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	清潔ケア(陰部洗浄・おむつ交換)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
22	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅰ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
23	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅰ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
24	5/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅰ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
25	6/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	無菌操作・手洗い・ガウンテクニック	手洗い, 滅菌手袋の装着, ガウンテクニック, 滅菌物の取り扱いの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
26	6/4	16:20-17:50	保健衛生	無菌操作・手洗い・ガウ	手洗い, 滅菌手袋の装着, ガウン	齋藤 やよい,

			学科講義室4, 看護学実習室1	ンテクニック	テクニック, 滅菌物の取り扱いの方法を学ぶ。	大黒 理恵, 大河原 知嘉子
27	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	食生活	入院患者における食事の意義と栄養補給, 健康について理解し、食事援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
28	6/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	食事介助・口腔ケア	食事援助方法と口腔の清潔を保持する方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
29	6/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	食事介助・口腔ケア	食事援助方法と口腔の清潔を保持する方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
30	6/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	身体の観察Ⅲ	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
31	6/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	クリティカルケア・危険予知	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
32	6/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	クリティカルケア・危険予知	看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を学ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
33	6/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
34	6/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
35	6/26	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子

36	7/3	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
37	7/3	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
38	7/3	16:20–17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
39	7/10	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
40	7/10	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
41	7/10	16:20–17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
42	9/3	08:50–10:20	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	看護とコミュニケーションⅡ	看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
43	9/3	10:30–12:00	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1	看護とコミュニケーションⅡ	看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子

授業内容

＊日時および内容は変更する場合がある。

4/9(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

実技試験，演習の事前・事後レポート，出席状況と演習参加の姿勢，身だしなみ，筆記試験により総合的に評価する。

筆記試験の約10%に英語を出題するので，教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

1）演習の事前レポートを期日までに行うこと。

2）講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。
3）DVD 教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。

教科書

1）香春知永、齋藤やよい：基礎看護技術、南江堂、2009
2）山口瑞穂子：看護技術講義・演習ノート上巻、医学芸術社、2006
3）三上れつ、小松万喜子:演習・実習に役立つ基礎看護技術、ヌーヴェル・ヒロカワ、2008

参考書

その他，基礎看護学―学内演習の手引き―，テーマに関連した資料を配付
テーマに関連した参考図書は随時紹介

他科目との関連

既習の基礎看護学Ⅰ・Ⅱ，解剖学，生理学，薬理学，微生物学，生化学，栄養学などの科目との関連性が高い。また，これから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。

履修上の注意事項

1）演習には指定されたユニフォームを着用し，身だしなみを調えてから参加する。 2）未熟な技術は医療事故の大きな原因となる。看護技術は1回の演習で習得できるものではなく、繰り返しの学習や実践での応用によって身につくものである。したがって，1つ1つの技術の熟達度を高めるよう自助努力が必要である。視聴覚教材の活用や，実習室での自己・グループ学習に，積極的に参加すること。申し出があれば，必要に応じて実習室での自習も許可する。 3）すべての演習は，目的に応じた物品の準備と環境の調整から，実施，後かたづけ，評価の一連のプロセスで構成する。実習室内の環境を整備し、使用後の物品を放置することのないよう、常に現状復帰を心がける。 4）出席を重視する。欠席などで未履修の単元は，友人の協力を得て自主的に学習すること。必要があれば，申し出により補習指導を受けることもできる。

連絡先

齋藤 やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

齋藤 やよい:毎週火曜日 AM.10:00–PM.1:00 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012022				
科目名	基礎看護学演習Ⅱ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1

英文名：Seminar of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）および看護実習室1および2（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

健康障害をもった人々に対して行われる診療に伴う看護の方法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

薬物療法に伴う看護，検査に伴う看護を中心に診療に伴う看護の方法を身につける。演習はグループ単位に行う。対象の症状や病態，心理的反応の理解に基づいたニーズのアセスメントを行い、必要な看護ケアをシミュレーターで実施する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1，看護学実習室2	排泄	健康および生命維持における排泄の意義を理解し，排泄に関する観察方法と，ニーズに応じた援助方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
2	10/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1，看護学実習室2	尿器・便器の取り扱い 導尿・浣腸	排泄障害に伴う導尿と浣腸の方法を習得し、実施に伴う効果の評価方法や、副作用を理解する。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
3	10/30	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1，看護学実習室2	尿器・便器の取り扱い 導尿・浣腸	排泄障害に伴う導尿と浣腸の方法を習得し、実施に伴う効果の評価方法や、副作用を理解する。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
4	11/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4，看護学実習室1，看護学実習室2	薬物療法と看護	薬物を取り扱う際の法的責任について知る。また，薬物の正しい管理や取り扱い，正しい与薬を実施するための知識を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子
5	11/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義	注射法・経口与薬	各種与薬方法の特徴を理解し，適切な援助方法を学ぶ。	齋藤　やよい，大黒　理恵，

			室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2			大河原 知嘉子
6	11/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	注射法・経口与薬	各種与薬方法の特徴を理解し, 適切な援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
7	11/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	検査と看護	検査の種類, 検査における看護師の役割を知り, 適切な援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
8	11/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	採血	検査の実際として血液検査を取り上げ, 血液検体の採取技術を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
9	11/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	採血	検査の実際として血液検査を取り上げ, 血液検体の採取技術を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
10	11/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	グリーフケア	死を迎える対象および周囲の人々への理解を深める。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
11	11/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	グループワークⅠ	患者および療養環境における安全について, グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
12	11/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看	フットケア	足の健康を守る看護技術としてのフットケアについて学ぶ。	小笠原 祐子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵,

			護学実習室1, 看護学実習室2			大河原 知嘉子
13	11/27	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	フットケア	足の健康を守る看護技術としてのフットケアについて学ぶ。	小笠原 祐子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
14	12/4	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	グループワークⅡ	1年を通じて学習してきた看護技術について, グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
15	12/4	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	グループワークⅡ	1年を通じて学習してきた看護技術について, グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
16	1/7	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	人間の尊厳	看護における人間理解について、生命の本質と看護との関わりについて学ぶ。	丹木 博一, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子
17	1/7	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	人間の尊厳	看護における人間理解について、生命の本質と看護との関わりについて学ぶ。	丹木 博一, 齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子

授業内容

＊日時および内容は変更する場合がある。

4/9(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

演習の事前・事後レポート(45%), 筆記試験(55%), 出席状況と演習参加の姿勢(5%)により総合的に評価する。

筆記試験の約10%に英語を出題するので, 教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

1)演習の事前レポートを期日までに行うこと。

2)講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。

3)DVD 教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。

教科書

1）香春知永、齋藤やよい：基礎看護技術、南江堂、2009

2）山口瑞穂子：看護技術講義・演習ノート下巻、医学芸術社、2007

3）三上れつ、小松万喜子:演習・実習に役立つ基礎看護技術、ヌーヴェル・ヒロカワ、2008

参考書

その他，基礎看護学―学内演習の手引き―，テーマに関連した資料を配付

テーマに関連した参考図書は随時紹介

他科目との関連

基礎看護学関連科目，応用看護学の概論，解剖学，生理学，薬理学，微生物学，生化学，栄養学などの科目との関連性が高い。

履修上の注意事項

生体への侵襲を伴う技術であり，技術の未熟さが直接医療事故に結びつく。学生単独ではなく，必ず教員の指導の下で演習すること。その他，演習上の注意は基礎看護学演習Ⅰと同じ。

連絡先

齋藤　やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp　　3号館 18F

オフィスアワー

齋藤　やよい:毎週火曜日　AM.10:00–PM.1:00　3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012023				
科目名	基礎看護学実習Ⅱ				
担当教員	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2

英文名：Practice of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】齋藤やよい

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）、看護実習室1（3号館17階）医学部附属病院および歯学部附属病院、医学部附属病院症例検討室

授業の目的、概要等

既習の知識・技術を統合し，対象の個別性を考慮した看護を実践するための方法を学ぶ。さらに，看護の実践を通して，看護の責務と態度について考える機会とする。

この実習は，看護に共通する方法や技術を学習することを目的とし，続いて行われる領域別看護実習へ展開させる基礎となる。

授業の到達目標(SBOs)

1）受持患者の生活援助を中心とした看護過程を展開し，基礎的な看護技術を実施する。

（1）対象を看護の視点でアセスメントする方法を学ぶ。

（2）対象の個別性を重視した看護の方法を学ぶ。

（3）日常生活上のニーズをとらえ，基礎的な看護技術を実施する。

2）専門援助的な人間関係をつくる。

（1）患者との関係を予測し，援助者としての自分を調える。

（2）目標に向かって相互協力関係を成立させる。

3）臨床場面における看護師としての責務と姿勢・態度を学ぶ。

（1）事故を予防し安全を促進する責任を学ぶ。

（2）感染防止の実際を学ぶ。

（3）生命の尊厳とプライバシーの保護の方法と重要性を学ぶ。

4）学生としての適切な態度・行動をとる。

（1）患者・家族との適切なコミュニケーションをとる。

（2）看護チームとの連携をとる。

（3）他者からの評価を受け入れ，次の行動に活かす。

（4）カンファレンスに積極的に参加する。

（5）適切な言葉遣いをする。

（6）身だしなみがよく，清潔感がある。

（7）記録が適切であり，期限内に提出する。

（8）収集した医療看護情報を，適切な時期に報告・伝達する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/3	13:00-17:50	保健衛生学科講義室4，看護学実習	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤　やよい，大黒　理恵，大河原　知嘉子

			室1, 看護学実習室2				
4-8	9/4	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
9-13	9/7	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
14-18	9/8	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
19-23	9/9	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
24-28	9/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
29-33	9/11	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
34-38	9/14	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	

			護学実習室2				
39-43	9/15	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	
44-45	9/16	08:50-12:00	症例検討室	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵, 大河原 知嘉子	

授業方法

〔実習対象〕 基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者

〔実習期間〕 9月3日(木)～9月17日(木)

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

1)単位認定は、実習時間3/4以上の出席をもって行う。

2)遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。

成績評価の基準

病棟実習評価表、実習記録、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

1)基礎看護学実習の実習要項を読み、基礎看護学実習Ⅱの目的・目標を理解し、自身の目標を立てること。

2)基礎看護学Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術について、復讐をすること。

3)夏休み期間中の看護学実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。

試験の受験資格

この実習に参加できる学生は、基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者に限る。

他科目との関連

これまでに学んだ基礎看護学等の知識・技術を実際の医療場面に活用し発展させる実習である。

履修上の注意事項

実習記録およびメモ類の取り扱いに留意し、看護者としての倫理的配慮を遵守して、守秘義務を果たすこと。 態度・身だしなみ・言葉遣いなど、学ぶ者としての基本的な事項を遵守すること。

連絡先

齋藤 やよい:ysaito.fnls@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

齋藤 やよい:毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012024				
科目名	成人看護学Ⅰ				
担当教員	井上　智子, 川本　祐子, 矢富　有見子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

英文名:Adult Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】井上智子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）ほか

授業の目的、概要等

成人看護学は，Ⅰ～Ⅲで構成している。そのうち，Ⅰは成人期にある人々の特徴を理解し，外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期，および慢性期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義を通して学ぶ。これを通して，健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。

授業の到達目標(SBOs)

1）成人期にある人々の特徴を理解できる。

2）成人期の健康問題とその影響、必要な看護ケアを理解できる。

3）外科的・内科的治療を必要とする患者の看護ケアを理解できる。

4）回復期，慢性期，退院に関する看護ケアを理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	井上　智子
2	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	井上　智子
3	4/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(1)（術前の看護①）	手術を受ける患者の身体および心理的特徴の理解	矢富　有見子
4	5/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(2)（術前の看護②）	術前における看護に実際（術前指導・検査看護ほか）	矢富　有見子
5	5/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(3)（術中の看護）	手術室看護師の役割と看護の実際	矢富　有見子
6	5/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(4)（術後の看護①）	術後急性期における看護（観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて）	川本　祐子
7	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(5)（術後の看護②）	術後回復期における看護（後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について）	川本　祐子
8	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	内堀　真弓
9	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて	内堀　真弓

			室4			
10	6/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子
11	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	吉井 真美
12	6/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	小澤 桂子
13	6/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	退院支援(1)	退院調整活動の理解	吉田 千文
14	6/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	退院支援(2)	退院調整活動の実際	吉田 千文
15	7/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	災害看護	災害サイクルにおける看護の役割	佐々木 吉子

成績評価の方法

学期末筆記試験, および課題レポートにより評価する。

準備学習などについての具体的な指示

参考書

テーマによる参考図書の紹介

履修上の注意事項

解剖・生理学, 病態学を習得のこと。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先

井上 智子:tinoue.cc@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012025				
科目名	成人看護学Ⅱ				
担当教員	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2

英文名：Adult Health Nursing Ⅱ

【科目責任者】井上智子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

既習の病態学および成人看護学Ⅰをもとに，身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し,それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

アセスメント，一般的看護問題とその成因および看護活動が理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(1)		三浦 英恵
2	10/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(2)		三浦 英恵
3	10/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(1)	「基礎編」	矢富 有見子
4	10/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(2)	「実践編」	矢富 有見子
5	10/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	泌尿器系障害患者の看護		三村 昭美
6	10/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	腎障害患者の看護		斉藤 しのぶ
7	11/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	内分泌・代謝系障害患者の看護		内堀 真弓
8	11/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	感覚器系障害患者の看護		花出 正美
9	11/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	女性生殖器系障害患者の看護		川本 祐子
10	11/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	膠原病・難病患者の看護		川瀬 祥子
11	11/27	10:30-12:00	保健衛生	運動器系障害患者の看		佐々木 吉子

			学科講義室4	護			
12	12/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(1)	「肝胆膵編」	小池 智子	
13	12/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(2)	「管腔臓器編」	川本 祐子	
14	12/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(1)	「急性期看護」	矢富 有見子	
15	12/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(2)	「回復期・慢性期看護」	矢富 有見子	

成績評価の方法

学期末筆記試験，および課題レポートにより評価する。

準備学習などについての具体的な指示

参考書

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

前期での成人看護学Ⅰ（概論）および解剖・生理学，病態学の授業内容をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

解剖学，生理学，病態学，薬理学との知識を統合させながら，講義内容の理解に努めること。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先

井上 智子:tinoue.cc@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012026				
科目名	精神看護学				
担当教員	田上　美千佳				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2

英文名：Psychiatric　Nursing

【科目責任者】田上美千佳

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）ほか

授業の目的、概要等

精神看護学の前提となる精神科診断学、治療学等の精神医学的な知識をと共に、精神科リハビリテーション、リエゾン精神医学、司法精神医療等、精神医療の関連領域におけるアセスメントとセラピーの方法とその理論的背景について学ぶ。併せてそれらの内容を看護学の視点から吟味し、再構成を図る。

授業の到達目標(SBOs)

精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、病理学、障害学、診断学に基づいて評価する方法や、薬物療法、精神療法、芸術療法などによって回復をもたらす方法について学ぶ。また、精神医療システムの中で看護職が保健医療チームの一員として、それらの知識や方法を看護的援助に生かしながら、どのような役割をとっていく必要があるかについて考察を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神障害の成因と分類	精神的機能の障害と精神病理、精神疾患の分類と国際障害分類 ライフサイクルと精神保健	田上　美千佳
2	10/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	器質性精神病の診断と治療	意識障害と精神症状、せん妄、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状	竹内　崇
3	10/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	統合失調症の診断と治療	統合失調症の概念、病型(解体型、緊張型、妄想型等)、症状、診断、経過、治療	山本　直樹
4	10/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	気分障害の診断と治療	気分障害の概念、うつ状態と躁状態、気分障害の治療	上里　彰仁
5	11/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用、抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬	車地　暁生
6	11/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	生物学的精神医学の到達点	脳科学、分子生物学の進歩による精神科治療の発展とその可能性	西川　徹
7	11/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	てんかんの診断と治療	てんかんの発作と分類、てんかん性精神障害、脳波検査法	原　恵子
8	11/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	リエゾン精神医学	リエゾン精神医学の歴史と概念、身体疾患患者の持つ精神的な問題、リエゾン精神科医の役割	松島　英介
9	12/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義	神経症と人格障害の診断と治療	神経症の概念、不安障害、強迫性障害、転換性障害、心気症／人格	大島　一成

			室4		障害の概念、類型、経過、人格障害の患者との治療的接触	
10	12/3	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	精神医学と精神看護学(1) アディクションの診断と治療	アディクションの概念、アルコール依存症とその他の依存症、暴力の精神病理、治療共同体と集団精神療法	宮本 眞巳
11	12/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	絵画療法の実際(1)	キミ子方式による絵画療法の理論と実際(1)	松本 一郎
12	12/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	絵画療法の実際(2)	キミ子方式による絵画療法の理論と実際(2)	松本 一郎
13	12/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児期に発症する行動・情緒障害の診断と治療	発達障害・素行障害の概念、診断、治療・支援	鈴村 俊介
14	12/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	精神医学と精神看護学(2)	精神疾患患者への支援(精神療法、心理教育、セルフケア支援、家族支援、家族心理教育、認知行動療法、治療共同体と集団精神療法)	田上 美千佳
15	12/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	精神医学と精神看護学(3)	精神看護学サブスペシャリティ、精神科身体合併症看護、司法に関連する精神看護学	美濃 由紀子
16	12/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	精神療法と芸術療法	個人精神療法と絵画療法	前田 健二郎

授業方法

講義

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

講義への出席および参加態度、リフレクティブレポート、学期末の筆記試験によって行う。

成績評価の基準

講義への出席 20%

参加態度 10%

リフレクティブレポート 10%

学期末の筆記試験 60%

準備学習などについての具体的な指示

原則として講義資料を配布するので、十分に理解すること。

様々な精神障害の特徴について国際的な分類基準に沿って学ぶと共に、精神医学の見方と精神障害を持つ人の体験や看護の視点との関連についても考えて欲しい。

教科書

日本精神科看護技術協会監修「改訂 精神看護学」中央法規出版、2006

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2013

参考書

中井久夫・山口直彦著「看護のための精神医学」医学書院、2001

融道男他監訳「ICD-10 精神及び行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン 新訂版」医学書院、2005

高橋三郎他訳「DSM-Ⅳ-TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版」医学書院、2003

世界保健機関（ WHO)「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版」中央法規、2002
笠原嘉「精神病」岩波書店、1998
神田橋條治「追補精神科診断面接のコツ」岩崎学術出版、1994
土居健郎「新訂方法としての面接」医学書院、1992
C.S. エイメンソン（松島義博他訳)「家族のための精神分裂病入門」星和書店、2001
松本キミ子「キミ子方式スケッチ入門」JTB、2001
J.R.ランデル他（松浦雅人、松島英介訳)「コンサルテーション・リエゾン精神医学ガイド」
メディカル・サイエンス・インターナショナル、2002
白石弘巳・田上美千佳編著「事例にみるうつ病の理解とケア」精神看護出版、2006
長谷川浩編「系統看護学講座別巻 12.精神保健福祉 精神障害者のケアマネジメント」医学書院、2007

他科目との関連

看護心理学、地域精神看護学、精神看護学演習等の科目と関連する。

履修上の注意事項

非常勤講師の講義も多いため、節度をもって講義に臨むよう心がけて欲しい。 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため、欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで講義に参加すること。

連絡先

tanoue.pn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012027				
科目名	小児看護学Ⅰ				
担当教員	廣瀬 たい子, 岡光 基子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

英文名:Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】廣瀬たい子

主な講義場所

保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか

授業の目的、概要等

小児は成長発達する存在であり，大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達の視点から理解する。また，学校保健の視点から成長期にある幼児，児童，生徒，学生の健康の保持増進をはかるための，学校教育および学校保健管理活動を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

小児は生理的，認知的，情緒的，生活能力の面で未熟な部分を保有しながら出生し，環境と相互作用しながら成長・発達する。個体と環境とのカ動関係を理解しながら，小児の発達について学習することを目標とする。加えて，学校教育の場で成長発達の途上にある小児の生活・健康について，学校保健活動を通して理解する。また，学校保健行政施策を含めて，様々な専門領域から小児看護学および，学校看護を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	子どもとは 小児の健康 子ども観の変遷 小児保健統計・ヘルスプロモーション	廣瀬 たい子
2	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	乳児期の発育 乳児期の形態・機能発育	廣瀬 たい子
3	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	乳児期の成長発達 乳児期の精神・運動発達	廣瀬 たい子
4	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	幼児期の成長発達 幼児期の精神・運動発達と生活の特徴	岡光 基子
5	6/5	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学童期の成長発達 学童期の精神・運動発達と生活の特徴	廣瀬 たい子
6	6/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健総論 学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法	小出 由紀子
7	6/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際 健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全	小出 由紀子
8	6/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際 学校給食・栄養教育	井上 幸子
9	6/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学Ⅰ	思春期の成長発達 思春期の精神・運動発達と生活の特徴	廣瀬 たい子

授業内容

子どもの成長発達の理解，子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために，また，学校保健の理念と実践，技法を学ぶため，以下の講義内容を編成する。

成績評価の方法

期末試験，小テスト，レポート

準備学習などについての具体的な指示

初回の授業で課題を提示する。教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

中野綾美：小児の発達と看護 （メディカ出版）

中野綾美：小児看護技術（メディカ出版）

参考書

上田礼子：生涯人間発達学（三輪書店）

衛藤隆，岡田加奈子：学校保健マニュアル（南山堂）

高野 陽，加藤 忠明，松橋 有子，加藤 則子：小児保健　新保育ライブラリ―子どもを知る（北大路書房）

連絡先

廣瀬 たい子:tykocho.cfn@tmd.ac.jp （廣瀬）3号館 19F，motoko.cfn@tmd.ac.jp （岡光）3号館18F

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp

時間割番号	012028				
科目名	小児看護学演習Ⅰ				
担当教員	廣瀬 たい子, 岡光 基子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

英文名:Seminar of Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】廣瀬たい子

主な講義場所

保健衛生学講義室4(3号館7階)

授業の目的、概要等

多様化しつつある子どもの環境および生活の中で, 小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し, 必要なケアと技術を学習する。

授業の到達目標(SBOs)

常に成長・発達を続ける小児に見られる特有な疾患の特徴を理解し, 必要なケア及び態度・技術を学習する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	小児看護の対象と役割:小児看護とは(小児と医療システム)/小児を取り巻く環境Ⅰ:病気・入院による子どもと家族の反応	廣瀬 たい子
2	10/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:循環器	土井 庄三郎
3	10/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:血液・腫瘍性疾患、アレルギー、免疫	梶原 道子
4	10/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:内分泌・代謝性疾患	鹿島田 健一
5	10/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:呼吸器、川崎病、膠原病	土井 庄三郎
6	10/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:感染症、予防接種	土井 庄三郎
7	10/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:消化器、腎疾患	田中 絵里子
8	10/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:神経、運動器疾患	荒木 聡
9	11/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:小児外科	川嶋 寛
10	11/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:小児外科	川嶋 寛

			室4			
11	11/17	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護:ターミナル期にある小児の看護	井桁　洋子
12	11/17	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	急性疾患をもつ小児の看護:周手術期にある小児と家族の看護(外科系疾患)	岩﨑　美和
13	11/24	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	急性疾患をもつ小児の看護:小児の急性期の主要症状と看護	岡光　基子
14	11/24	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護:慢性疾患をもつ小児と家族の看護(腎疾患)	廣瀬　たい子
15	12/1	13:00–14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護:慢性疾患をもつ小児と家族の看護(内分泌)	廣瀬　たい子
16	12/1	14:40–16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児の看護:慢性疾患をもつ小児と家族の看護(小児がん)	廣瀬　たい子

授業内容

小児特有の疾患を理解し，看護実践に必要な知識とスキルを習得するための学習をする。

成績評価の方法

期末試験，小テスト

準備学習などについての具体的な指示

教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

奈良間美保編著　系統看護学講座　小児看護学(2)小児臨床看護各論　改訂版(医学書院)

参考書

木口チヨ，小林八千代:イラスト小児の生活と援助(文光堂)

鴨下　重彦，柳澤　正義:こどもの病気の地図帳(講談社)

他科目との関連

小児看護学Ⅰで学んだ健康な小児の理解を基に，小児の疾患，小児看護の各論について学習する。解剖学，生理学で学んだ小児の特徴について知識を習得していることが必要である。

連絡先

廣瀬　たい子:tykocho.cfn@tmd.ac.jp　(廣瀬)3号館19F，motoko.cfn@tmd.ac.jp　(岡光)3号館18F

岡光　基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp

時間割番号	012029				
科目名	在宅看護学Ⅰ				
担当教員	本田　彰子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

英文名：Home Care Nursing Ⅰ

【科目責任者】本田彰子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

保健医療福祉の中での在宅看護、特に訪問看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

保健医療福祉の領域で、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々に対して、実際の看護提供の仕組みを理解した上で、看護の役割と実際を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅看護の概念・訪問看護の仕組み	本田　彰子
2	10/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の特徴とケアの実際	本田　彰子
3	10/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅ケアにおける家族看護	山﨑　智子
4	10/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　慢性疾患療養者・高齢療養者	本田　彰子
5	11/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　終末期療養者	山﨑　智子
6	11/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　難病療養者	本田　彰子
7	11/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　精神疾患療養者	前田　昌紀
8	11/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際　精神疾患療養者	前田　昌紀

成績評価の方法

出席、および定期試験

準備学習などについての具体的な指示

受講前に、教科書や配布する文献・資料等の該当箇所を読んでおくこと。

特に、在宅療養支援に関連する法制度については、参考書や事前配布資料、「保健医療福祉制度論」の資料を活用して事前に学習してお

くこと。
教科書 関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,:メヂカルフレンド社, 2014
参考書 最新訪問看護研修テキスト／川越博美, 山崎摩耶, 佐藤美穂子 総編集,宮内清子, 押川真喜子, 藤原泰子, 山内豊明, 馬場先淳子, 角田直枝, 天津栄子, 石鍋圭子, 木下由美子, 萱間真美, 川村佐和子 責任編集,:日本看護協会出版会, 2005 正野逸子・本田彰子編著:看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術、メジカルフレンド社、2015.
他科目との関連 3 年次に学習する在宅看護学Ⅱ、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目であるので、2 年次に履修および単位取得していることが進級に必要である。
連絡先 ahonda.chn@tmd.ac.jp 3 号館 19F

第３学年

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

(前期) ※3年次実習の詳細については、別途連絡する。

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/7	火	母性看護学Ⅰ(1)	2	母性看護学Ⅰ(2)	2	成人看護学演習(1)	2	成人看護学演習(2)	2		
8	水					英文講読Ⅱ(1)	2				
9	木					小児看護学Ⅱ(1)	2	小児看護学演習Ⅱ(1)	2	小児看護学演習Ⅱ(2)	2
10	金	地域保健看護学Ⅰ(1)	2	地域保健看護学Ⅰ(2)	2	地域精神看護学(1)	2				

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月	老年看護学(1)	2	老年看護学(2)	2	精神看護学演習(1)	2	精神看護学演習(2)	2		
14	火	母性看護学Ⅱ(1)	2	母性看護学Ⅰ(3)	2	老年看護学演習(1)	実習室1	老年看護学演習(2)	実習室1	老年看護学演習(3)	実習室1
15	水					英文講読Ⅱ(2)	2				
16	木			成人看護学Ⅲ(1)	2	母性看護学Ⅲ(1)	2	母性看護学演習(1)	実習室2	母性看護学演習(2)	実習室2
17	金	地域保健看護学Ⅰ(3)	2	地域保健看護学Ⅰ(4)	2	地域精神看護学(2)	2				

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月	老年看護学(3)	2	老年看護学(4)	2	精神看護学演習(3)	2	精神看護学演習(4)	2		
21	火	母性看護学Ⅲ(2)	2	母性看護学Ⅱ(2)	2	成人看護学演習(3)	2	成人看護学演習(4)	2	成人看護学演習(5)	2
22	水					英文講読Ⅱ(3)	2				
23	木			成人看護学Ⅲ(2)	2	小児看護学Ⅱ(2)	2	小児看護学Ⅱ(3)	2	小児看護学Ⅱ(4)	2
24	金	地域保健看護学Ⅰ(5)	2	地域保健看護学Ⅰ(6)	2	地域精神看護学(3)	2	母性看護学Ⅱ(3)	2	母性看護学演習(3)	2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月	老年看護学(5)	2	老年看護学(6)	2	精神看護学演習(5)	2	リハビリテーション看護学(1)	2	リハビリテーション看護学(2)	2
28	火					老年看護学演習(4)	実習室1	老年看護学演習(5)	実習室1	老年看護学演習(6)	実習室1
29	水	昭和の日									
30	木										
5/1	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木	小児看護学演習Ⅱ(3)	2	成人看護学Ⅲ(3)	2	母性看護学Ⅲ(3)	2	母性看護学Ⅱ(4)	2	母性看護学演習(4)	準備室1 実習室2
8	金	地域保健看護学Ⅱ(1)	2	地域保健看護学Ⅱ(2)	2	地域精神看護学(4)	2				

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月	老年看護学(7)	2	老年看護学(8)	2	精神看護学演習(6)	2	英文講読Ⅱ(4) TOEFL/ITP	2	英文講読Ⅱ(5) TOEFL/ITP	2
12	火	母性看護学Ⅱ(5)	2	母性看護学Ⅲ(4)	2	老年看護学演習(7)	実習室1	老年看護学演習(8)	実習室1	老年看護学演習(9)	実習室1
13	水	実践看護英語(1)	2			英文講読Ⅱ(6)	2				
14	木					小児看護学Ⅱ(5)	2	小児看護学演習Ⅱ(4)	2	小児看護学演習Ⅱ(5)	2
15	金	地域保健看護学Ⅱ(3)	2	地域保健看護学Ⅱ(4)	2	地域精神看護学(5)	2	在宅看護学演習(1)	2	在宅看護学演習(2)	2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月	老年看護学(9)	2	老年看護学(10)	2	精神看護学演習(7)	2	リハビリテーション看護学(3)	2		
19	火	母性看護学Ⅱ(6)	2	母性看護学Ⅰ(4)	2	成人看護学演習(6)	2	成人看護学演習(7)	2	成人看護学演習(8)	2
20	水	実践看護英語(2)	2			英文講読Ⅱ(7)	2				
21	木	小児看護学演習Ⅱ(6)	2	成人看護学Ⅲ(4)	2	母性看護学Ⅱ(7)	2	母性看護学Ⅲ(5)	2	母性看護学Ⅱ(8)	2
22	金	地域保健看護学Ⅱ(5)	2	地域保健看護学Ⅱ(6)	2	地域精神看護学(6)	2	在宅看護学演習(3)	1 実習室 2	在宅看護学演習(4)	1 実習室 2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月	老年看護学(11)	2	老年看護学(12)	2	精神看護学演習(8)	2	リハビリテーション看護学(4)	2		
26	火	母性看護学Ⅲ(6)	2	母性看護学Ⅲ(7)	2	老年看護学演習(10)	実習室1	老年看護学演習(11)	実習室1	老年看護学演習(12)	実習室1
27	水	実践看護英語(3)	2			英文講読Ⅱ(8)	2	地域保健看護学Ⅱ(7)	2	地域保健看護学Ⅱ(8)	2
28	木			成人看護学Ⅲ(5)	2	小児看護学Ⅱ(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(7)	2		
29	金	地域保健看護学Ⅰ(7)	2	地域保健看護学Ⅰ(8)	2	地域精神看護学(7)	2	在宅看護学演習(5)	2	在宅看護学演習(6)	実習室1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月	老年看護学(13)	2	老年看護学(14)	2	精神看護学演習(9)	2	リハビリテーション看護学(5)	実習室1		
2	火					成人看護学演習(9)	2	成人看護学演習(10)	2		
3	水	実践看護英語(4)	2	英文講読Ⅱ(9)	2	小児看護学演習Ⅱ(8)	2	小児看護学演習Ⅱ(9)	2		
4	木					母性看護学Ⅰ(5)	2	母性看護学Ⅰ(6)	2	母性看護学Ⅲ(8)	2
5	金					地域精神看護学(8)	2	在宅看護学演習(7)	2 実習室 1・2	在宅看護学演習(8)	実習室 1・2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月	老年看護学(15)	2	老年看護学(16)	2	精神看護学演習(10)	2	リハビリテーション看護学(6)	2		
9	火					老年看護学演習(13)	実習室1	老年看護学演習(14)	実習室1	老年看護学演習(15)	実習室1
10	水	実践看護英語(5)	2	英文講読Ⅱ(10)	2	疫学(1)	2	疫学(2)	2		
11	木			成人看護学Ⅲ(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(10)	2	小児看護学演習Ⅱ(11)	2	小児看護学Ⅱ(7)	2
12	金	在宅看護学Ⅱ(1)	2	在宅看護学Ⅱ(2)	2	在宅看護学演習(9)	2 実習室 1・2	在宅看護学演習(10)	実習室 1・2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月	老年看護学(17)	2	老年看護学(18)	2	精神看護学演習(11)	2	リハビリテーション看護学(7)	実習室1	リハビリテーション看護学(8)	実習室1
16	火	母性看護学Ⅰ(7)	2	母性看護学演習(5)	2	成人看護学演習(11)	2	成人看護学演習(12)	2	成人看護学演習(13)	2
17	水	実践看護英語(6)	2	英文講読Ⅱ(11)	2						
18	木			成人看護学Ⅲ(7)	2	母性看護学演習(6)	2	母性看護学演習(7)	2	母性看護学演習(8)	2
19	金	在宅看護学Ⅱ(3)	2	在宅看護学Ⅱ(4)	2	在宅看護学演習(11)	2 実習室 1・2	在宅看護学演習(12)	2 実習室 1・2		

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月	老年看護学(19)	2	老年看護学(20)	2	精神看護学演習(12)	2	疫学(3)	2	疫学(4)	2
23	火					母性看護学演習(9)	実習室1,2	母性看護学演習(10)	実習室1,2		
24	水	実践看護英語(7)	2	英文講読Ⅱ(12)	2	疫学(5)	2	疫学(6)	2		
25	木	母性看護学演習(11)	実習室1,2	母性看護学演習(12)	実習室1,2	小児看護学演習Ⅱ(12)	2	小児看護学演習Ⅱ(13)	2	小児看護学Ⅱ(8)	2
26	金	在宅看護学Ⅱ(5)	2	在宅看護学Ⅱ(6)	2	在宅看護学演習(13)	2	在宅看護学演習(14)	2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月	老年看護学(21)	2	老年看護学(22)	2	精神看護学演習(13)	2	精神看護学演習(14)	2		
30	火	母性看護学Ⅰ(8)	2	母性看護学演習(13)	2	成人看護学演習(14)	2	成人看護学演習(15)	2	成人看護学演習(16)	2
7/1	水	実践看護英語(8)	2	成人看護学Ⅲ(8)	2	英文講読Ⅱ(13)	2	疫学(7)	2	疫学(8)	2
2	木	小児看護学演習Ⅱ(14)	2	小児看護学演習Ⅱ(15)	2	母性看護学演習(14)	実習室2	母性看護学演習(15)	実習室2		
3	金	在宅看護学Ⅱ(7)	2	在宅看護学Ⅱ(8)	2	在宅看護学演習(15)	2 実習室1・2	在宅看護学演習(16)	2 実習室1・2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/6	月	老年看護学(23)	2	老年看護学(24)	2	精神看護学演習(15)	2	精神看護学演習(16)	2	母性看護学演習(16)	2
7	火	小児看護学演習Ⅱ(16)	2	保育園実習オリエンテーション(各園)							
8	水	実践看護英語(9)	2			英文講読Ⅱ(14)	2	英文講読Ⅱ(15)	2		
9	木										
10	金	保育園実習オリエンテーション(各園)									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/13	月										
14	火										
15	水	実践看護英語(10)	2			英文講読Ⅱ(16)	2	英文講読Ⅱ(17)	2		
16	木	前期定期試験									
17	金	前期定期試験									

7/20	月	海の日									
21	火	前期定期試験									
22	水	前期定期試験									
23	木	前期定期試験									
24	金	前期定期試験									

※授業											
7/27	月	保育園実習									
28	火	保育園実習									

夏季休業　7/30(水)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

(後期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	国民の休日									
23	水	秋分の日									
24	木	在宅看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)									
25	金	実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月	臨地実習									
29	火										
30	水										
10/1	木	臨地実習									
2	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月	臨地実習									
6	火										
7	水	卒業論文Ⅰ(1)	2	卒業論文Ⅰ(2)	2						
8	木	臨地実習									
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	体育の日									
13	火	臨地実習									
14	水			卒業論文Ⅰ(3)	2						
15	木	臨地実習									
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月	臨地実習									
20	火										
21	水			卒業論文Ⅰ(4)	2						
22	木	臨地実習									
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月	臨地実習									
27	火										
28	水			卒業論文Ⅰ(5)	2						
29	木	臨地実習									
30	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月	臨地実習									
3	火	文化の日									
4	水			卒業論文Ⅰ(6)	2						
5	木	臨地実習									
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月	臨地実習									
10	火										
11	水			卒業論文Ⅰ(7)	2						
12	木	臨地実習									
13	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	臨地実習									
17	火										
18	水	卒業論文Ⅰ(8)	2 情報検索室	卒業論文Ⅰ(9)	2 情報検索室						
19	木	臨地実習									
20	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火	臨地実習									
25	水										
26	木	臨地実習									
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月	臨地実習									
12/1	火										
2	水										
3	木	臨地実習									
4	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月	臨地実習									
8	火										
9	水			卒業論文Ⅰ(10)	1･2	卒業論文Ⅰ(11)	1･2	卒業論文Ⅰ(12)	1･2		
10	木	臨地実習									
11	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月	臨地実習									
15	火										
16	水			卒業論文Ⅰ(13)	2						
17	木	臨地実習									
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										

冬季休業　12/22(火)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月	臨地実習									
5	火										
6	水										
7	木	臨地実習									
8	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火	臨地実習									
13	水			卒業論文Ⅰ(14)	2						
14	木	臨地実習									
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/18	月	臨地実習									
19	火										
20	水			卒業論文Ⅰ(15)	2						
21	木	臨地実習									
22	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/25	月	臨地実習									
26	火										
27	水			卒業論文Ⅰ(16)	2						
28	木	臨地実習									
29	金										

				10:30～12:00	講義室	13:00～14:30		14:40～16:10			
2/1	木	臨地実習									
2	金										
3	水										
4	木	臨地実習									
5	金										

2/8	月	補講・再試		学内進路説明会	2	在宅看護学実習報告会			2		
9	火	補講・再試				老年看護学実習振り返り学習			1		
10	水	建国記念の日									
11	木	建国記念の日									
12	金	補講・再試									

2/15	月	補講・再試									
16	火	補講・再試									
17	水	補講・再試									

春季休業　2/18(木)～

時間割番号	012031				
科目名	疫学				
担当教員	大久保　功子, 横山　徹爾				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Epidemiology

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

疫学は，人間集団を対象にして，疾病，異常，傷害，さらに，健康の頻度（率）の分布を記述し，これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと，集団レベルで，原因不明の疾病の原因を追求する学問である。

授業の到達目標(SBOs)

疫学の原理と方法を学ぶことによって，疾病の予防，健康増進を目的とした保健活動を科学的に行えるようにする知識，技術を習得する。看護の場では，科学的根拠に基づいて，妥当性の高いケアを実践できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	総論1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山　徹爾
2	6/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	総論2	記述疫学、疫学的仮説の設定	横山　徹爾
3	6/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	総論3	症例・対照研究とコホート研究、介入研究	横山　徹爾
4	6/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	総論4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山　徹爾
5	6/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	各論1	循環器疾患の疫学	横山　徹爾
6	6/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	各論2	がんの疫学	横山　徹爾
7	7/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	各論3	環境問題と疫学	横山　徹爾
8	7/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	演習	健康問題の解決	横山　徹爾

授業内容

総論では，疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では，歴史的事件等を材料にして，疫学方法論の知識を深める。演習では，具体的な事例を題材にして，健康問題の発見，当該健康問題の原因追及，予防対策の樹立，予防対策の実施，予防対策の評価をシミュレーションし，疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。

成績評価の方法

筆記試験，課題レポートにより評価する予定。

準備学習などについての具体的な指示

感染症，common diseases などの定義，症状，診断手技，治療の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル，例えば，平均値，標準偏差，平均値の差の検定，率の差の検定，相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。

教科書

疫学入門演習 : 原理と方法／田中平三 著,:南山堂，1998

教科書は必携

参考書

はじめて学ぶやさしい疫学 : 疫学への招待／日本疫学会 監修,田中平三，秋葉澄伯 総編集,:南江堂，2010

他科目との関連

衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は，疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方，疫学で使われる手法は卒業論文，学位論文などの研究にも密接に結びついている。

連絡先

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012032				
科目名	英文講読Ⅱ				
担当教員	木下 裕太, 大久保 功子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名:English for NursingⅡ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)

授業の目的、概要等

医療に関する文章を英語で読み、医学英語の知識を深めると共に英文法や単語を確認する。

授業の到達目標(SBOs)

医学英語に用いられる語彙や表現に親しみ、医療に関する英文テキストの内容を把握することを目的とする。併せて音声・DVD 教材なども用いて、総合的な英語力を高める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	ガイダンス	木下 裕太
2	4/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 1	木下 裕太
3	4/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 3	木下 裕太
4	5/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	TOEFL/ITP	木下 裕太
5	5/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	TOEFL/ITP	木下 裕太
6	5/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 4	木下 裕太
7	5/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 5	木下 裕太
8	5/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 6	木下 裕太
9	6/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 8	木下 裕太
10	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 10	木下 裕太

			室2			
11	6/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 13	木下 裕太
12	6/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 14	木下 裕太
13	7/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 15	木下 裕太
14	7/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	小テスト / DVD 教材	木下 裕太
15	7/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	小テスト / DVD 教材	木下 裕太
16	7/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	総復習	木下 裕太
17	7/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	英文講読Ⅱ	期末試験	木下 裕太

授業内容

テキスト Understanding Health Care を使用し、医療に関する英文の精読や内容の要約を行う。また医療に関する海外ドラマ・映画等を副教材として、医学英語の音声に慣れる。

成績評価の方法

出席日数は、全授業回数の 3 分の 2 が必要。ただし、遅刻は欠席と同じ扱いとする。その上で、期末試験と小テストの成績、TOEFL/ITP の結果、授業への参加度を総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

テキストの予習は必須。前もって該当箇所に目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ（授業中に調べることはしないこと）、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。

教科書

医療の世界 : 基本情報と表現演習／西村月満, ディビッド・L ブルックス, 関口章子, 市山陽子 編著,:朝日出版社, 2011

他科目との関連

英語に触れる他のすべての科目。

履修上の注意事項

テキストの予習は必須。前もって該当箇所に目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。 5 月 11 日実施の TOEFL/ITP の受験は必須である。 また、TOEFL のスコアは海外研修派遣等の応募の際に必要であり、選抜にはスコアの基準があることを理解して受験の準備をすること。

連絡先

木下 裕太:保健衛生教務掛に問合せること

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

オフィスアワー

木下 裕太:保健衛生教務掛に問合せること

保健衛生教務掛 gakumu2.adm@tmd.ac.jp

時間割番号	012033				
科目名	卒業論文Ⅰ				
担当教員	大久保　功子, 山﨑　智子, 矢富　有見子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Thesis Ⅰ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、文献検索は情報検索室（M&D タワー4階）

授業の目的、概要等

各分野の専門性について理解し，卒論Ⅱにおいて指導教員のもとで研究を行い，論文をまとめるために必要な研究の基礎知識を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

看護・保健に関するさまざまな研究の分野・方法について知り，卒業論文Ⅱにおいて各自が実際に研究論文を書く際の基本を学ぶ。

1. 看護・保健専門職における研究の意義を理解する。
2. 研究の進め方の概要と，さまざまな研究方法論・技法を知る。
3. 卒業論文指導の責任者となる各教員の研究の専門領域および方法論・技法を知る。
4. 研究領域申請書による希望領域の相互調整と決定を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/7	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	看護研究序論	研究概説、量研究の基礎について	大久保　功子, 山﨑　智子, 矢富　有見子, 津田　紫緒	
3	10/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	研究の倫理	研究倫理について	小笹　由香, 矢富　有見子, 津田　紫緒	
4	10/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介①	看護ケア技術・地域保健・地域健康増進	齋藤　やよい, 佐々木　明子, 森田　久美子, 矢富　有見子	
5	10/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介②	先端侵襲・在宅ケア・がんエンドオブライフ	井上　智子, 本田　彰子, 山﨑　智子, 矢富　有見子	
6	11/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介③	小児家族・リプロダクティブヘルス・精神	廣瀬　たい子, 大久保　功子, 田上　美千佳, 矢富　有見子	
7	11/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介④	高齢社会看護・看護システム・国際看護	緒方　泰子, 深堀　浩樹, 近藤　暁子, 矢富　有見子	
8-9	11/18	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2, 情報検索室	外国語文献検索	図書館司書による講義演習	山﨑　智子, 矢富　有見子, 津田　紫緒	外部講師(図書館)

10-12	12/9	10:30-16:10	保健衛生学科講義室2, 保健衛生学科講義室1	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	矢富 有見子, 津田 紫緒	
13	12/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	文献検索演習	レポート作成(自己学習) 希望分野の検討	矢富 有見子, 津田 紫緒	
14	1/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	文献検索演習	レポート作成(自己学習)	矢富 有見子, 津田 紫緒	
15	1/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	希望分野の検討	研究室訪問	矢富 有見子, 津田 紫緒	
16	1/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	希望分野の調整	最終希望票提出、調整	矢富 有見子, 津田 紫緒	

授業方法

講義, 外国文献検索演習, オムニバス形式の分野紹介を取り混ぜて行う。また, 看護 4 年生の卒論発表会への参加も含む。

授業内容

・選択するテーマの希望を指示された期限までに提出する。

成績評価の方法

外国文献レポートの内容と全体の出席状況を評価し, 専攻主任が認定する。ただし、講義への出席が3分の2に満たない者は単位を認定しない。

準備学習などについての具体的な指示

3 年前期までの全ての看護学にかかわる講義／演習等の中で, 学問的根拠を明確にするために文献に触れることがあるが, その機会を有効に活用し, 和文の文献検索については習得しておくこと。そして, 文献に多数当たることで論文の構成などについては理解しておくこと。また, 過去の卒業論文集(図書館蔵書)にも当たり, 興味ある分野の研究の動向を把握しておくこと。

教科書

特に指定しない。

参考書

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 編著,:医歯薬出版, 2007

よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 : 量的研究のエキスパートをめざして／横山美江 編,:医歯薬出版, 2011

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会 (APA) 著,前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦 訳,:医学書院, 2011

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するので, 全ての科目と関連する。

履修上の注意事項

(参考) ・ 卒業論文Ⅱは、保健衛生学科看護学各分野の教授, 准教授, 講師, 助教が指導教員(研究指導の責任者)となる。 ・ 最終的な分野の決定は, 学生から提出された研究領域希望申請書(希望領域とテーマと方法を第2希望まで明記したもの)を基にしながら学生間で適宜調整し、各分野の確認を得て決定する。 ・ 外国文献レポートは、関心のある領域・研究課題に関する主に英文による論文を検索し、それを読む経験を積む目的で実施する。レポートの内容・規定については後日説明する。

連絡先

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

山﨑 智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

時間割番号	012030				
科目名	実践看護英語				
担当教員	近藤　暁子				
開講時期	前期	対象年次	2～3	単位数	1

Practicum of English for Nursing

主な講義場所

保健衛生学講義室 2(3 号館 8 階)

授業の目的、概要等

看護・医療職を必要としている国際組織や海外の医療・研究・教育機関における研修・留学をするにあたり、看護学生に求められる英文読解、英作文、および英語によるコミュニケーション能力を養う。

授業の到達目標(SBOs)

国際組織や海外の医療・教育・研究機関において日常的に用いられている看護および医療専門用語の語彙力および情報収集・分析能力を習得する。講義および演習をすべて英語で行い、国際社会で必要とされているプレゼンテーション、コミュニケーション能力を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	国際社会における看護職看護職の役割	近藤　暁子
2	5/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 1	Janelle Renee Moross
3	5/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 2	Janelle Renee Moross
4	6/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 3	Janelle Renee Moross
5	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 4	Janelle Renee Moross
6	6/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 5	Janelle Renee Moross
7	6/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 6	Janelle Renee Moross
8	7/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 7	Janelle Renee Moross
9	7/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分：将来展望と課題」	近藤　暁子
10	7/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分：将来展望と課題」	近藤　暁子

授業方法 プレゼンテーションを中心とし、ネイティブ・スピーカーの先生との討議など主体的な参加を中心とする。
成績評価の方法 出席率と学生プレゼンテーション
成績評価の基準 出席率およびプレゼンテーションの内容
準備学習などについての具体的な指示 プレゼンテーション準備のための自己学習をしてくること。その準備にあたり、個別指導を受けること。
試験の受験資格 2/3 以上の出席
オフィスアワー オフィスアワー:

時間割番号	012070				
科目名	国際保健福祉				
担当教員	大久保　功子				
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1

英文名：Global Health and welfare

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

海外

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。

授業の到達目標(SBOs)

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	18:00-19:30	保健衛生学科講義室1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設，保健福祉施設，教育機関における見学・講義・実習等）	大久保　功子，佐々木　明子

授業方法

海外研修

授業内容

希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。

成績評価の方法

研修前の準備

研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況

研修報告会における発表状況

研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5段階評価とする。

準備学習などについての具体的な指示

研修で困らない語学力を身に着けておくこと

TOEFLによる語学評価を受けておくこと

グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること

希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

事前学習と、海外研修、事後報告からなる

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。　4月9日(木)18時00分～合同オリエンテーション(18階を予定)に参加すること。

連絡先

kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012034				
科目名	成人看護学Ⅲ				
担当教員	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Adult Health NursingⅢ

【科目責任者】井上智子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

成人看護学を取り巻く最近注目されている話題についての概要を講義を通して学ぶ。これにより国内外での社会の動きに目を向ける意識をより高めることと，社会的ニーズの変化に対応すべく看護の役割を果たしている第一線の看護の専門家の努力や開拓の困難さを学ぶ。また，今後の動向についての，学会等の学問的方向性についても情報を得る。

授業の到達目標(SBOs)

1）各話題について，注目される社会的背景を理解する。
2）各話題についての概要を理解する。
3）各話題についての開拓者としての努力や困難さを理解する。
4）各話題について，質疑ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	オリエンテーション、先端医療と看護の役割	高度医療・先端医療に果たす役割	井上　智子
2	4/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	HIV/AIDS コーディネーターナースの役割	めざましく発展するエイズ治療の現状をふまえた HIV/AIDS 患者の看護ケア	杉野　祐子
3	5/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	口腔外科疾患患者の看護と口腔ケア	摂食・構音機能障害を中心としたアセスメントと看護、状態に応じた口腔ケア	青木　春恵
4	5/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	チーム医療	クリティカルケア看護におけるチーム医療	古厩　智美
5	5/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	看護課程	発表準備	井上　智子
6	6/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	CNS の活動	CNS(Clinical Nurse Specialist)の役割と活動内容	荒井　知子
7	6/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	臨床研究コーディネーターの役割	治験に関する看護の役割	宋　菜緒子
8	7/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	遺伝と看護	遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝病患者に関する看護の役割・倫理的配慮	武田　祐子

授業内容

各講義は，５～１０分間の質疑応答時間を設けるので，積極的な質疑を行うこと。

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

授業出席状況・参加状況およびレポートにより評価する。レポートは，全講義終了後，成人看護学Ⅲを受講しての学びを原稿用紙（横書き）４枚または 1,600 字以内にまとめ提出する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

各担当者の指定による。

他科目との関連

成人看護学Ⅰ，Ⅱを習得しておくこと。

履修上の注意事項

医療関係の時事的話題をとりあげた新聞やテレビ番組からも情報を得ることも心がけること。

連絡先

井上　智子:tinoue.cc@tmd.ac.jp　３号館 19F

時間割番号	012035				
科目名	成人看護学演習				
担当教員	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Seminar of Adult Health Nursing

【科目責任者】井上智子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室（3号館17階）

授業の目的、概要等

成人看護学の一部として3年次に，既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて，成人期にあり，急性，慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を，患者体験を含めて段階的に修得する。

授業の到達目標(SBOs)

2年での学習を基礎に，上記内容を習得し，臨地実習が円滑に展開できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	13:00-16:10	保健衛生学科講義室2	看護過程概論	オリエンテーション、成人患者の看護過程の具体的方法論、成人期にある事例について、グループワークを通しての看護アセスメント・看護計画立案	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子
3-5	4/21	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	体液管理の基礎	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子, 青木　春恵
6-8	5/19	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	手術患者・重症患者の観察と合併症予防	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子, 三村　昭美
9-10	6/2	13:00-16:10	保健衛生学科講義室2	看護過程演習	看護過程演習発表	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子, 三村　昭美
11-13	6/16	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	創傷ケア	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子, 三村　昭美, 安藤　禎子, 侭田　悦子
14-16	6/30	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2	技術演習・看護過程演習	蘇生・悪化予防・回復促進のケア	井上　智子, 矢富　有見子, 川本　祐子, ブリッジ　志保, 蜂谷　麻美

授業内容

授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

学期末筆記試験（N3前期），演習に臨む態度および看護過程演習記録物により評価する。

準備学習などについての具体的な指示

参考書

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

基礎看護学に引き続き，他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり，臨地実習（成人看護学実習）を円滑に行う上で必須の科目であるので，積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

技術演習に関しては，学内での演習であるが，臨地実習と同じ心構えで臨み，服装，態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること。

連絡先

井上　智子:tinoue.cc@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012036				
科目名	成人看護学実習				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3

英文名：Clinical Practice of Adult Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】井上智子

授業の目的、概要等

さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち，その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め，既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により，必要な看護を指導者とともに実践し，評価することを学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1）患者の健康・機能障害を理解し，援助する。
（1）健康・機能障害の原因・誘因を理解する。
（2）患者の自覚症状・他覚症状を把握する。
（3）健康状態を系統的に観察する。
（4）患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し，適切な援助をする。
（5）行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。
（6）患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。

2）生命が脅かされている場合には，生命維持・回復のための看護活動ができる。

3） 異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。
（1）予測される悪化因子を指摘する。
（2）悪化の徴候を早期に発見し，予防的な看護活動を行う。
（3）機能回復のための適切な看護活動を行う。

4）健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し，援助を行う。
（1）患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。
（2）日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。
（3）日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。
（4）患者の症状，苦痛を和らげるような援助を行う。
（5）患者の心理的・社会的問題を把握する。
（6）患者の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
（7）自己管理を阻害する因子を指摘する。
（8）自己管理ができるように援助する。
（9）患者に必要な社会的資源を列挙する。
（10）日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。
（11）家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。

5）リハビリテーション期における援助を行う。
（1）リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。
（2）病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。

6）在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。
（1）患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。
（2）退院後の生活目標に向けて，適切な援助を行う。

7）医療チームにおける看護師の役割を理解する。
（1）医師，その他の関係職種の役割を理解する。
（2）チームにおける看護師の役割を理解する。

8）以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。
（1）情報収集する。
（2）収集した情報を分析，統合し，看護診断する。
（3）具体的な目標を設定する。
（4）目標達成のための看護活動を計画する。
（5）計画した看護活動を実践する。
（6）展開した看護過程を評価する。

9）看護専門職としてふさわしい態度を身につける。
（1）看護技術の一般的手順と原則をふまえ，患者の個別性を加味し，実施においては十分な復習と準備を行う。
（2）患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。
（3）患者の持てる力を生かした援助方法を考える。
（4）情報収集を看護援助に生かすとともに，看護援助をしながら情報収集をする。
（5）援助を提供する側・される側の視点から，のぞましい手順や方法を考え，実践する。
（6）グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。
（7）看護とは何かを考え，学究的態度（文献活用・事例検討）で実習する。
（8）丁寧で親切な接遇を心がける。
（9）連絡・報告には責任をもつ。
（10）受け持ち看護師や指導者に相談し，助言やコメントを積極的に得ようと努める。
（11）看護援助の実践に先立ち，患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
2	9/29	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
3	10/1	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
4	10/2	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
5	10/5	08:00-17:00	その他	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子,

			(保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)			矢富 有見子, 川本 祐子
6	10/6	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
7	10/8	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
8	10/9	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
9	10/13	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
10	10/15	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
11	10/16	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
12	10/26	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
13	10/27	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
14	10/29	08:00-17:00	その他 (保・先端侵襲緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子

15	10/30	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
16	11/2	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
17	11/5	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
18	11/6	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
19	11/9	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
20	11/10	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
21	11/12	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
22	11/13	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
23	11/24	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子

24	11/26	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
25	11/27	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
26	11/30	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
27	12/1	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
28	12/3	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
29	12/4	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
30	12/7	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
31	12/8	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
32	12/10	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子

33	12/11	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
34	1/12	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
35	1/14	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
36	1/15	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
37	1/18	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
38	1/19	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
39	1/21	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
40	1/22	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子
41	1/25	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子

42	1/26	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	
43	1/28	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	
44	1/29	08:00-17:00	その他（保・先端侵襲緩和ケア看護学分野）	成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	

授業内容

（詳細については実習要項参照）

準備学習などについての具体的な指示

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

時間割番号	012037				
科目名	地域精神看護学				
担当教員	田上　美千佳				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Community Psychiatric Nursing

【科目責任者】田上美千佳

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

地域に暮らす人々の精神的健康を守るための保健医療福祉システムとそこでの看護的援助について学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

精神保健福祉をめぐる社会状況と制度やシステムについての理解を踏まえて、看護職が地域の社会資源を活用しながら、精神障がい者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて担うべき役割について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	地域精神保健看護　精神障がい者が地域で暮らすということ	地域精神保健看護とは、国際障害分類、精神障がい者の ADL と QOL、精神障害と生活障害、自立支援をめぐる課題	田上　美千佳
2	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	学校及び企業における精神保健と看護職の役割	学校における精神保健看護、企業における精神保健看護	山村　礎
3	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神障がい者への地域支援	精神障がい者への地域での相談支援事業、東京都の取り組み、支援の実際	高橋　直美
4	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神保健福祉をめぐる社会状況と看護職による精神障がい者への地域支援	保健所・市区町村における精神保健看護、訪問看護・訪問指導の方法と現状、地域精神保健のシステムと地域資源	陣立　良太
5	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	子どもをめぐる地域精神保健医療	地域での子どもをめぐる精神保健問題と支援(虐待、愛着障害、ひきこもり等)	田中　哲
6	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神科デイケアの機能	精神科デイケアの歴史と理念、精神科デイケアの現状と機能、病院デイケアと保健所デイケア、リワーク支援	松岡　裕美
7	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神科アウトリーチの実際	精神科訪問看護、訪問指導の方法と現状	田上　美千佳
8	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	家族のメンタルヘルスと家族への介入 地域精神保健医療の展望	家族のメンタルヘルスと家族への支援 地域精神保健医療の課題・方向性	田上　美千佳

授業方法

講義

授業内容

別表参照

成績評価の方法

講義への出席および参加態度、リフレクティブレポート、学期末の筆記試験によって評価を行う。

成績評価の基準

講義への出席 20%

参加態度 10%

リフレクティブレポート 10%

学期末の筆記試験 60%

準備学習などについての具体的な指示

普段の生活において、メンタルヘルスや障害をもった人の生活について現状や課題を考えておくこと。

地域社会における精神障がい者の生活状況と、その看護的支援について広い視野から把握することを通じて、臨床実習等の機会に医療機関で出会った患者についても、精神症状の医学的管理に偏らず社会的背景の理解に根ざす生活支援を担える力を養って欲しい。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2013

参考書

久常節子・島内節編「地域看護学講座9、障害者地域看護」医学書院、2000

ナンシー K.ワーレイ（早川和生他訳）「地域精神保健看護」医学書院、1999

信田さよ子「DV と虐待－家族の暴力に援助者ができること」医学書院、2002

斉藤学「アダルト・チルドレンと家族」学陽書房、1998

岡知史「セルフヘルプグループ」星和書店、1999

浅野弘毅「精神科デイケアの実践的研究」岩崎学術出版、1996

宮本真巳・安田美弥子編著「アディクション看護」医学書院、2008

宮本真巳他編著「実践精神科看護テキスト 14 薬物・アルコール依存症看護」精神看護出版、2008

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）「ユースアドバイザー養成プログラム(改訂版):関係機関による個別的・継続的な若者支援体制の確立にむけて」内閣府、2010

他科目との関連

看護心理学、精神看護学、精神看護学演習、社会福祉学、産業保健学、健康管理論等の科目と関連する。

履修上の注意事項

非常勤講師の講義も多いため、節度をもって講義に臨むよう心がけて欲しい。 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため、欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで講義に参加すること。

連絡先

tanoue.pn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012038				
科目名	精神看護学演習				
担当教員	田上　美千佳				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Psychiatric　Nursing　Seminar

【科目責任者】田上美千佳

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

精神疾患患者の看護を中心に、あらゆる精神的援助の方法とその理論的背景について学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

精神疾患患者の生活歴と疾患や生活障害との関連、精神医療の歴史や治療環境の成り立ちが精神疾患患者の処遇に及ぼす影響についての理解を深め、精神疾患患者への心理・社会・生物学的な諸局面を視野に入れた全人的理解の深化を目指す。さらには、援助的な対人関係技術の向上を通じて、精神疾患患者の回復、成長、自立を支援するために必要な方法と、その理論的な背景について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神科看護と精神看護の目的と機能	精神看護学の基本概念　精神看護の役割と機能、精神的健康の維持と増進、精神障がい者の現状、精神保健医療福祉の現状と課題	田上　美千佳
2	4/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	相談面接の技法	クライエント中心療法の理念と方法（共感、受容、自己一致）、精神科ソーシャルワーク	田上　美千佳,美濃　由紀子,渡邊　敦子
3	4/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神医療と精神科看護の歴史	精神医療の歴史（世界・日本）、精神科看護の歴史（世界・日本）	吉川　隆博
4	4/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	精神保健福祉をめぐる制度、法律、施策	精神保健福祉法と関連法規の概要、精神保健福祉法と入院制度、精神保健福祉施策の現状、精神障がい者の人権とアドボカシー	吉川　隆博
5	4/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	対象関係論からみた精神看護	精神看護学関連の理論、援助的人間関係、精神療法の原則	田上　美千佳
6	5/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神疾患と患者体験	患者としての病気体験、入院体験、精神障害を抱えて生きるということ	尾山　篤史
7	5/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神科看護における情報収集とアセスメント	精神科看護に必要な情報とそのアセスメント、ジェノグラム（家族歴）の活用と方法	渡邊　敦子
8	5/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	グループワーク（1）	集団力動とセルフヘルプグループの体験学習	田上　美千佳,美濃　由紀子,渡邊　敦子
9	6/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義	グループワーク（2）	集団力動とセルフヘルプグループの体験学習	田上　美千佳,美濃　由紀子,

			室2			渡邊 敦子
10	6/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神看護学における援助関係の形成(1)	対象の状態に応じた精神科看護の原則・方法、セルフケア看護支援	田上 美千佳
11	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神看護学における援助関係の形成(2)	感情労働と感情活用、看護場面の再構成法(臨地実習の体験)、援助関係の形成、異和感の対自化	美濃 由紀子
12	6/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神疾患患者の病態に応じた看護(1)	幻覚・妄想状態の患者の看護、自閉・意欲低下の見られる患者の看護	美濃 由紀子
13	6/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神疾患患者の病態に応じた看護(2)	気分障害のある患者の看護、不安障害のある患者の看護、心的外傷を負った患者の看護	田上 美千佳
14	6/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	精神疾患患者の病態に応じた看護(3)	嗜癖・依存症患者の看護、自他に対して攻撃的な患者の看護	渡邊 敦子
15	7/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	精神疾患患者と家族への援助	精神疾患患者をもつ家族への援助	田上 美千佳
16	7/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	精神看護学の展望	精神看護学の他領域への影響、精神看護学の看護全般への影響、看護コンサルテーション、精神看護学実習について	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子

授業方法

講義および演習

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

講義への出席および参加態度、リフレクティブレポート、期末に実施する筆記試験、精神科事例における看護上の問題把握、相談面接とグループワークの技法等をテーマとしたレポートによって評価する。

成績評価の基準

講義への出席 10%

参加態度 10%

リフレクティブレポート 10%

レポート 30%

学期末の筆記試験 40%

準備学習などについての具体的な指示

精神疾患患者の理解を深めながら援助関係を形成するには、的確な自己理解と率直な自己表現、すなわち自己一致が欠かせない。そこで、自分自身の生活体験を振り返りながら、面接技法やグループワークの演習、精神看護学や他領域の臨地実習を活用し、自分の内面に生じた思いを吟味しつつ自己表現に努め、自己理解と患者理解を深めて欲しい。また、精神医学と精神疾患看護の基本的な知識を確実に身につけた上で、患者との接触から直接得られた主観的な情報を活用して患者の全体像を組み立て、回復、成長、自立を支援していく方法を学んで欲しい。

教科書

日本精神科看護技術協会監修「改訂 精神看護学」中央法規出版、2006

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2013

萱間直美編集「パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護第2版」、照林社、2014

参考書

宮本真巳「感性を磨く技法1 看護場面の再構成」日本看護協会出版会、1995

宮本真巳「感性を磨く技法4 面接技法から学ぶ」日本看護協会出版会、1998

宮本真巳「援助技法としてのプロセスレコード」精神看護出版、2003
ジュディス・シュルツ（田崎博一訳）「看護診断にもとづく精神看護ケアプラン」医学書院、1997
野島佐由美監修「実践看護技術学習支援テキスト精神看護学」日本看護協会出版会、2002
日本精神科看護技術協会「改訂版 精神科看護の専門性をめざしてⅠ、Ⅱ、Ⅲ」精神看護出版、2002
白石弘巳, 田上美千佳「事例にみるうつ病の理解とケア」精神看護出版、2006
田上美千佳「家族にもケア: 統合失調症はじめての入院」 精神看護出版、2004
日本精神科看護技術協会編「実践精神科看護テキスト第 9 巻退院調整」 精神看護出版、2012
日本精神科看護技術協会編「 実践精神科看護テキスト改訂版第 2 巻 対人関係/グループアプローチ/家族関係」 精神看護出版、2011
武井麻子「グループという方法」医学書院、2002
モートン・キッセン（佐治守夫他訳）「集団精神療法の理論」誠信書房、1996
パトリシア・ダイクス（末安民生他訳）「精神科クリニカルパス」医学書院、2000

他科目との関連

看護心理学、精神看護学、地域精神看護学等の科目と関連する。

履修上の注意事項

非常勤講師の講義も多いため、節度をもって講義に臨むよう心がけて欲しい。 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため、欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで講義に参加すること。

連絡先

tanoue.pn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012039				
科目名	精神看護学実習				
担当教員	田上　美千佳, 美濃　由紀子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing

【科目責任者】田上美千佳

授業の目的、概要等

1） 精神科病棟において入院患者 1 名を受け持ち、関わりを発展させるとともに，関わりの経過について綿密な振り返りを行い，自己理解，患者理解，状況理解を深める。こうした理解に基づいて、感情活用能力の発揮を通じた援助関係づくりと、患者の抱えている課題の解決に向けた援助の試みを併せて実践する。このような実習への取組みを通じて，精神疾患患者だけでなく健康問題を持つあらゆる人を対象とする精神的支援の実践能力を高める。

2） 精神科通所施設において、地域で生活する利用者の社会参加の実態にふれることを通じて，精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法や要点について学ぶ。さらには、入院から地域生活に至る過程についての統合的な視点に基づいて、看護職に求められる役割と、それに見合った援助方法について理解を深める。

3） 実習体験を振り返って吟味するために、看護場面の再構成法を用いた「プロセスレコード」、看護場面で味わった異和感の吟味を通じて自己・患者・状況についての理解を深める「異和感の対自化」、患者の抱えている問題を明確にして解決策を導き出す「問題の明確化」の3つの方法を用いる。これらの方法を体得することによって、看護師、援助職としての生涯学習の基礎を作る。

授業の到達目標(SBOs)

1）患者との対人関係において，自己一致に基づく率直な自己表現を心掛けることを契機に，患者の率直な自己表現を引き出すことを通じて，自己理解を深めると共に患者の持つ問題の明確化を図る。

2）患者や自分自身の言動が，自分が身を置く病棟などの臨床状況の雰囲気や力動によって、どのような影響を受けているかについて理解を深めることを通じて，臨床状況についての洞察に基づく表現力や看護実践能力を高める。

3）患者や医療スタッフ、教員とのやりとりの振り返りにより、自己の対人関係の特徴を知ることを通じて，自己の人格や発達課題について理解を深めると共に，自分は患者や周囲の人に対してどのような印象を与え、どのような影響を及ぼす傾向があるかについて認識を深める。

4）看護者－患者関係と臨床状況をふまえてセルフケア看護援助の観点から評価し，ケア方針を立案し，必要な援助の実施・評価・修正を行うことを通じて、チーム医療の一端を担うと共に、看護師としての専門性確立の基礎をつくる。

5）精神に疾患や障害を持つ人の治療環境・生活環境、ならびに、そのような環境の中で生きる患者の体験について理解を深めることを通じて，地域における生活自立と社会参加に向けた支援の一端を担う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/13	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上　美千佳, 美濃　由紀子, 渡邊　敦子	附属病院、井之頭病院
2	10/15	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上　美千佳, 美濃　由紀子, 渡邊　敦子	附属病院、井之頭病院
3	10/16	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上　美千佳, 美濃　由紀子, 渡邊　敦子	附属病院、井之頭病院

4	10/19	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
5	10/20	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	各通所施設
6	10/22	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
7	10/23	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
8	10/26	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
9	10/27	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
10	10/29	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
11	10/30	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
12	11/2	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	各通所施設
13	11/5	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
14	11/6	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
15	11/24	08:00-16:00	その他（保・精神保健看護学分野）	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
16	11/26	08:00-16:00	その他	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,	附属病院、井之

			(保・精神保健看護学分野)			美濃 由紀子, 渡邊 敦子	頭病院
17	11/27	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
18	11/30	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
19	12/1	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	各通所施設
20	12/3	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
21	12/4	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
22	1/25	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
23	1/26	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
24	1/28	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
25	1/29	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
26	2/1	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
27	2/2	08:00-16:00	その他 (保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子, 渡邊 敦子	各通所施設
28	2/4	08:00-16:00	その他 (保・精神	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳, 美濃 由紀子,	附属病院、井之頭病院

			保健看護学分野)			渡邊 敦子	
29	2/5	08:00-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳,美濃 由紀子,渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院

授業方法

実習

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポート

成績評価の基準

実習への出席状況 20%

実習への取り組み 30%

記録物・レポート 50%

準備学習などについての具体的な指示

対象とのかかわりを重視するため、欠席・遅刻・早退をしないように心身の体調管理に注意する。

これまでに学んだ関連する講義・演習の内容を復習しておく。

実習の成果ではなく、自分が対象にどれだけかかわったか、自己理解他者理解が深まったのかの過程が重要である。そのために、必要時、教員や指導員を活用してほしい。

教科書

萱間直美編集「パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護第 2 版」、照林社、2014

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

田上 美千佳:tanoue.pn@tmd.ac.jp 3号館 18F

美濃 由紀子:mino.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

田上 美千佳:話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012040				
科目名	小児看護学Ⅱ				
担当教員	廣瀬 たい子, 岡光 基子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Pediatric Nursing Ⅱ

【科目責任者】廣瀬たい子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

小児の成長発達，主な小児疾患の病態生理を理解し，病気を持った小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を，自己学習を通して理解する。また，小児看護に必要な観察技術，アセスメント技術についても学ぶ。それらの学習に基づいて得た知識・技術を活用して，病気を持つ小児と家族の看護を考案する。

なお，この授業は小児看護学演習Ⅱを組み合わせて行う。

授業の到達目標(SBOs)

小児看護学Ⅰ，小児看護学演習Ⅰにおいて学習した小児看護の実践に必要な基本的知識，技術の上に積み重ねる構成で，小児看護実践に必要な知識を及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。グループ・ワークを中心とした小児看護学演習Ⅱと組み合わせて，自ら学び，実践に活用できる技能を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	オリエンテーション、子どもの発達と遊び―遊びの意義―	廣瀬 たい子, 岡光 基子	
2	4/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	小児のアセスメント―小児の観察技術、アセスメントツールの活用―	岡光 基子	
3	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	ペーパーペイシェント	岡光 基子	ビデオ学習
4	4/23	13:00-14:30	看護学実習室2	小児看護学Ⅱ	子どもの生活と看護―子どもの栄養、日常生活の援助の実際―	岡光 基子	
5	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	小児の継続看護―外来における子どもの看護―	廣瀬 たい子	
6	5/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	障がい児・在宅の看護	廣瀬 たい子	
7	6/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	急性期における小児の看護　新生児期の集中ケア	渡辺 とよ子	
8	6/25	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学Ⅱ	子どもの虐待　虐待の予防と発見	近藤 美和子	

授業内容

小児看護学演習Ⅱでペーパー・ペイシェントによる看護過程を展開するために，必要な知識を整理して，さらに小児看護学実習に活用で

きるための技能の習得をはかる。

成績評価の方法

期末試験，小テスト

準備学習などについての具体的な指示

教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

2年時に購入済みのものを使用する。

参考書

廣瀬たい子　編著：看護のための乳幼児精神保健（金剛出版）

病児の遊びと生活を考える会編：入院時のための遊びとおもちゃ（中央法規）

他科目との関連

小児看護学Ⅰ，小児看護学演習Ⅰ，在宅看護学Ⅰ

連絡先

廣瀬　たい子:tykocho.cfn@tmd.ac.jp （廣瀬）3号館 19F，motoko.cfn@tmd.ac.jp （岡光）3号館18F

岡光　基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp

時間割番号	012041				
科目名	小児看護学演習Ⅱ				
担当教員	廣瀬 たい子, 岡光 基子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名:Seminar of Pediatric NursingⅡ

【科目責任者】廣瀬たい子

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)

授業の目的、概要等

小児の成長発達, 主な小児疾患の病態生理を理解し, 病気を持った小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を, 自己学習を通して理解する。また, 小児看護に必要な観察技術, アセスメント技術についても学ぶ。それらの学習に基づいて得た知識・技術を活用して, 病気を持つ小児と家族の看護を考案する。

なお, この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標(SBOs)

演習は, グループワークを中心とした自己学習授業なので, これまでに学んだ小児看護学Ⅰ, Ⅱ, 小児看護学演習Ⅰ, その他の学習に基づいて課題の解決法・解決策を自分達で考え, 生み出すことを目標とする。教員はその手助けをすることを教育方針とする。また, 解決法・解決策は全学生で共有理解をはかり, 解決法・解決策をより良いものにするため発表・討論会を持つ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	小児看護学演習Ⅱ	遊びの演習/発達のアセスメント	白川 園子, 岡光 基子
2	4/23	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	小児看護学演習Ⅱ	遊びの演習/発達のアセスメント	白川 園子, 岡光 基子
3	5/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント オリエンテーション	廣瀬 たい子, 岡光 基子
4	5/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子
5	5/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子
6	5/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子
7	5/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子

8	6/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク（オフィスアワーあり）	土井 庄三郎
9	6/3	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク（オフィスアワーあり）	土井 庄三郎
10	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子
11	6/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子, 岡光 基子
12	6/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子, 岡光 基子
13	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子, 岡光 基子
14	7/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子, 岡光 基子
15	7/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子, 岡光 基子
16	7/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	小児看護学演習Ⅱ	保育園実習オリエンテーション（各園）	廣瀬 たい子, 岡光 基子

授業内容

小児特有の疾患を持つペーパー・ペイシェントを教材として，成長発達，疾患の病態生理，家族背景等を学習，アセスメントし，看護過程を展開しながら，看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し，討論する。

成績評価の方法

試験とグループワークの参加度，メンバーシップ，発表内容に基づいて行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書を読んで事前学習しておくこと。

教科書

演習に必要な資料は開講時に配布する。

教科書は，2年時に購入済みのものを使用する。

（追加分教科書）中野綾美：小児看護技術（メディカ出版）

参考書

開講時に参考文献リストを配布する。

他科目との関連

これまでの小児看護学の学習を統合して，看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する。

履修上の注意事項

グループワークを基本とした授業なので，自己学習・出席を重視する。

連絡先

廣瀬 たい子:tykocho.cfn@tmd.ac.jp （廣瀬）3号館 19F，motoko.cfn@tmd.ac.jp （岡光）3号館18F

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp

時間割番号	012042				
科目名	小児看護学実習				
担当教員	廣瀬 たい子, 岡光 基子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

英文名:Practice of Pediatric Nursing

【科目責任者】廣瀬たい子

授業の目的、概要等

小児と家族に対するケアを通して、発達する小児の特徴を理解する。また，健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し，小児の看護を行うための基礎的能力と技術・態度を養う。

授業の到達目標(SBOs)

本実習は，小児看護学学内実習と保育園実習，および病棟での臨床実習から構成される。

（1） 小児看護学学内実習

目的:小児看護に必要なスキルを習得する。

目標:1）小児看護に必要な技術を習得する。

2）小児、特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケーション方法を理解し，習得する。

（2）臨地実習（保育園実習）

目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して観察し，成長・発達の特徴を把握する。

目標:1）子どもの成長・発達，および生活を理解する。

2）子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。

3）小児の生活における保健行動，健康管理の概要を知る。

（3）臨床実習（病棟実習）

目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して，小児の特徴を理解し，小児とその家族の必要としている援助を考え，実施する。

目標:1）疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。

2）健康障害が、小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。

3）健康障害をもつ小児と家族への看護のために，対象を理解し，必要な援助を行う能力を養う。

4）小児をとりまく医療，保健，福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。

（4）学生に期待するもの

1）既習の学習を統合して，実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。

2）実習期間中，各自の学習目標を明確にし，それに向かって意欲的に取り組む。

3）小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。

4）実習期間中は自己の健康管理に注意する。

5）感染源とならないために，抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種を受ける等の対策が推奨される。

6）スタッフの一員であり，かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	2/6	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
2	7/27	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
3	7/28	08:30-17:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
4	9/28	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
5	9/29	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
6	10/1	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
7	10/2	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
8	10/5	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
9	10/6	08:00-16:00	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
10	10/19	08:00-16:00	その他（保・小児・家族	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子

			発達看護学分野)			
11	10/20	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
12	10/21	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
13	10/22	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
14	10/23	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
15	11/9	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
16	11/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
17	11/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
18	11/13	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
19	11/16	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
20	11/17	08:00-16:00	その他(保・小	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子

			児・家族発達看護学分野)			
21	12/7	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
22	12/8	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
23	12/10	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
24	12/11	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
25	12/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
26	12/15	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
27	1/11	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
28	1/12	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
29	1/14	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,岡光 基子
30	1/15	08:00-16:00	その他	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,

			(保・小児・家族発達看護学分野)			岡光 基子
31	1/18	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子
32	1/19	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子
33	2/1	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子
34	2/2	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子
35	2/3	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子
36	2/4	08:00-16:00	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子

授業内容

(詳細については実習要項参照)

準備学習などについての具体的な指示

実習オリエンテーション時に課題を提示する。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

廣瀬 たい子:tykocho.cfn@tmd.ac.jp (廣瀬)3号館 19F, motoko.cfn@tmd.ac.jp (岡光)3号館18F

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp

時間割番号	012043				
科目名	母性看護学Ⅰ				
担当教員	大久保　功子, 三隅　順子, 廣山　奈津子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅰ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学の概論を学習する。母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について，個人，家族，集団，地域社会に対する看護展開，多様な文化背景や価値観に考慮した看護展開を考える視点を養う。

授業の到達目標(SBOs)

母性看護学の中心的な概念であるリプロダクティブヘルス／ライツの考え方を理解する。それをもとに、母性看護学のケア対象を、様々な側面から捉え、身体的・心理的・社会的特徴を理解し，健康の保持増進に向けた看護の基本的な考え方や理論を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	母性看護学オリエンテーション リプロダクティブヘルスに関するディスカッション	三隅　順子
2	4/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	女性生殖機能	久保田　俊郎
3	4/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	性感染症	大久保　功子
4	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	セクシュアル・マイノリティーと医療	笠原　士織 三隅　順子
5	5/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	不妊・出生前診断	尾林　聡
6	6/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	遺伝看護	小笹　由香
7	6/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	異常のある児と家族の看護	大久保　功子
8	6/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅰ	DV 被害者の急性期看護	三隅　順子

成績評価の方法

学期末テスト，その他レポート及び平常点から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

リプロダクティブヘルスにかかわる社会的な時事等をとらえておくこと。また、各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

またレポート課題などは事前に提示するので、各自関連する文献等の収集をすること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2/3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2013

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編,:メヂカルフレンド社, 2013

看護学テキスト NiCE　母性看護学Ⅰ　概論・ライフサイクル／大平光子　他編:南江堂, 2014

・ナーシンググラフィカ　母性看護実践の基本　母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・我妻堯:リプロダクティブヘルス, 南江堂, 2002.

・砂川秀樹、RYOJI:カミングアウト・レターズ, 太郎次郎社エディタス, 2007.

・長沖暁子:AID で生まれるということ, 萬書房, 2014.

参考書

リプロダクティブヘルス : グローバルな視点から性の健康をみつめる／我妻堯 著,:南江堂, 2002

女性の看護学 : 母性の健康から女性の健康へ／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:メヂカルフレンド社, 2000

カミングアウト・レターズ : 子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji, 砂川秀樹 編,:太郎次郎社エディタス, 2007

AID で生まれるということ : 精子提供で生まれた子どもたちの声／非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ, 長沖暁子 編著,:萬書房, 2014

他科目との関連

この授業は, 母性看護学Ⅱ, Ⅲ, 母性看護学演習の基礎となる内容である。

履修上の注意事項

授業は課題に対する討論や、授業のテーマに対して学生が意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ, 他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

連絡先

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅　順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後（会議時除く）

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012044				
科目名	母性看護学Ⅱ				
担当教員	大久保　功子，三隅　順子，廣山　奈津子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Maternal and Infant Nursing Ⅱ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程とそこから逸脱した状況に関する病態生理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の早期発見と予防、ならびに診療の補助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

母性看護学の対象，特に妊産褥婦と新生児の身体的特徴を理解し，健康の保持増進，正常からの逸脱の予防と早期発見、適切な看護を提供するために必要な学際的知識を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	解剖学ﾃｽﾄ/胎児・胎盤系の生理・機能	大久保　功子
2	4/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	平光　史朗
3	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村　真澄
4	5/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	分娩期のアセスメント	三隅　順子
5	5/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	異常分娩	若林　晶
6	5/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保　功子
7	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保　功子
8	6/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅱ	産褥期の生理	三隅　順子

成績評価の方法

小テストを適時行う。学期末試験，平常点から総合的に評価する。母性看護学の領域でよく用いられる専門用語に関しては，テストに出題されるので学習しておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

周産期ににかかわる医学的な基礎知識を習得するために、各講義に関連した解剖学、生理学などの基礎医学のテキストを用い予習をしておくこと。

その上で、周産期特有の生理・異常を学ぶことができれば理解は深まる。また医学に関しては、常に新しい情報を得ておかなければ、その看護を考える上でも支障がでるので、各自関連する文献等の収集を継続すること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2013

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集:南江堂, 2012

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編,:メヂカルフレンド社, 2013

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・大鷹美子監訳:ウィリアムス臨床産科マニュアル, 株式会社メジカルビュー社, 2009

参考書

ウィリアムス臨床産科マニュアル／大鷹美子 監訳,:メジカルビュー社, 2009

母性看護学Ⅰ／大平光子 他 編集:南江堂, 2014

みえる生命誕生 : 受胎・妊娠・出産／池ノ上克, 前原澄子 監訳,SARAH BREWER, SHAONI BHATTACHARYA, JUSTINE DAVIES, SHEENA MEREDITH, PENNY PRESTON 著,:南江堂, 2013

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。この科目及び母性看護学演習の単位を取得していない場合, 母性看護学実習には参加できない。

履修上の注意事項

二年次に学習した専門基礎科目の内容の復習をしてから受講して欲しい。

連絡先

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後（会議時除く）

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012045				
科目名	母性看護学Ⅲ				
担当教員	大久保　功子，三隅　順子，廣山　奈津子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Maternal and Infant NursingⅢ

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

母性看護学は，人間の健康を性と生殖の側面から考え，看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に，妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども，および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

妊娠、分娩、産褥期の女性と新生児に対する看護の基本的な考え方を理解する。さらに，看護計画の立案，実施・評価を行うための基本的な知識を習得し，健康状態のアセスメントが行えることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保　功子
2	4/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保　功子
3	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保　功子
4	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	分娩中・直後の看護	三隅　順子
5	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	木下　千鶴
6	5/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	新生児の観察とアセスメント	大久保　功子
7	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保　功子
8	6/4	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	母性看護学Ⅲ	産褥期の看護ケア	三隅　順子

成績評価の方法

小テストを適時行う。学期末試験，平常点から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、基礎看護学や成人看護学で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2013

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編,:メヂカルフレンド社, 2013

母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集,:南江堂, 2012

・ナーシンググラフィカ　母性看護実践の基本　母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ　母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 本庄英雄, 宮中史子:周産期エキスパートナーシング　改訂第2版, 南江堂, 2003.

・ マレー・エンキン, 他:妊娠・出産ケアガイド, 医学書院, 1999.

・ 平山宗宏:母子健康・栄養ハンドブック, 医師薬出版, 2000.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, ペリネイタルケア 2003 年夏季増刊, メディカ出版, 2003.

・ 北川真理子, 内山和美:今日の助産　改訂第2版, 南江堂, 2009.

参考書

健康増進のためのウェルネス看護診断／Karen M.Stolte [著],小西恵美子, 太田勝正 共訳.:南江堂, 1997

周産期エキスパートナーシング／本庄英雄, 宮中文子 編,:南江堂, 2003

妊娠・出産ケアガイド : 安全で有効な産科管理／マレー・エンキン [ほか]著,北井啓勝 監訳.:医学書院エムワイダブリュー, 1997

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美 編集,生田克夫 医学監修.:南江堂, 2013

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論, 看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

講義では, 学生に問題を投げかけ, 学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ, 他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

連絡先

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅　順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後(会議時除く)

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012046				
科目名	母性看護学演習				
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Seminar of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室2（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。

授業の到達目標(SBOs)

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/16	14:40-17:50	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	母性看護学演習	妊婦に関する英文抄読と討論　産褥婦ケア：フットケア	大久保 功子, 三隅 順子	
3	4/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	授乳に関する援助	井村 真澄	
4	5/7	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	模擬分娩見学	中根 直子, 三隅 順子, 河合 蘭, 沼口 翔子	
5	6/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	発表準備(グループワーク)	三隅 順子	
6-7	6/18	13:00-16:10	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	看護過程の展開	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	
8	6/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	技術演習にむけてのビデオ学習	三隅 順子	
9-10	6/23	13:00-16:10	看護学実習室1, 看護学実習室2	母性看護学演習	技術テスト：妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習：沐浴	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子	技術のデモはWebClass上にupされる

11-12	6/25	08:50-12:00	看護学実習室1,看護学実習室2	母性看護学演習	技術テスト:妊産婦観察、新生児観察、褥婦観察　技術演習:沐浴	三隅 順子,大久保 功子,廣山 奈津子	技術のデモはWebClass上にupされる
13	6/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	褥婦の退院に向けた保健指導:指導案の立案と指導パンフレットの作成	三隅 順子	
14-15	7/2	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	褥婦の退院に向けた保健指導:ロールプレイ	大久保 功子,三隅 順子,廣山 奈津子,瀬戸 愛,伊藤 有加	実習準備室、観察室、談話室も使用
16	7/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	母性看護学演習	実習オリエンテーション　各病棟から	大久保 功子,三隅 順子,瀬戸 愛,高木 聡子,髙村 ゆ希	

成績評価の方法

レポート，平常点から総合的に評価する。出席を重視する。

準備学習などについての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術／横尾京子，中込さと子 編,:メディカ出版，2007

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版，2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版，2011

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①，メディカ出版，2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ，中央法規，2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ，中央法規，2011.

・横尾京子，中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術，メディカ出版，2007.

・WHO，(戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド，農文協，1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン，医学書院，1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断，南江堂

・ 松原まなみ，山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際，メディカ出版，2003.

・ 鈴木幸子，吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド，新興交易医書出版部，2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針，MCメディカ出版，2002.

・ 進 純郎:周産期の臨床手技106，MCメディカ出版，2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック，MCメディカ出版，2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A，MCメディカ出版，2003.

・ レズリー・ページ:新助産学，メディカ出版，2002.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳,:農山漁村文化協会，1999

出産革命のヒロインたち : アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ，メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳,:メディカ出版，1997

母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ，山西みな子 著,:メディカ出版，2003

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集,:医学書院，2012

マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子，鈴木幸子 編著,:真興交易医書出版部，2012

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2006

その他, 演習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため, 既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また, この科目は, 母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため, 欠席すると補習はできないので注意してほしい。

連絡先

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後(会議時除く)

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012047				
科目名	母性看護学実習				
担当教員	大久保　功子, 三隅　順子, 廣山　奈津子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

英文名：Seminar of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室2（3号館17階）、附属病院、賛育会病院ほか

授業の目的、概要等

この科目では，母性看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。

授業の到達目標(SBOs)

母性看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-5	9/28	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅　順子, 廣山　奈津子, 大久保　功子	
6-10	9/29	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子	
11-15	10/1	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子	
16-20	10/2	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子, 廣山　奈津子	
21-25	10/5	08:50-17:50	その他	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅　順子,	

			(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)			廣山 奈津子	
26-30	10/6	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
31-35	10/8	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
36-40	10/9	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
41-45	10/13	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
46-50	10/15	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
51-55	10/16	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
56-59	10/18	08:50-16:10	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	両親学級
60-64	10/19	08:50-17:50	その他(保・リプロダクテ	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

			ィブヘルス看護学分野)				
65-69	10/20	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
70-74	10/22	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
75-79	10/23	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
80-84	10/26	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	大久保 功子, 廣山 奈津子, 三隅 順子	
85-89	10/27	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
90-94	10/29	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
95-99	10/30	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
100-104	11/2	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子	

			分野）				
105-109	11/5	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
110-114	11/6	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子	
115-119	11/9	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	大久保 功子, 廣山 奈津子, 三隅 順子	
120-124	11/10	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
125-129	11/12	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	
130-134	11/13	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子	
135-138	11/15	08:50-16:10	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 三隅 順子	両親学級
139-143	11/16	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子, 三隅 順子	

144-148	11/17	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
149-153	11/19	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	廣山 奈津子, 大久保 功子	
154-158	11/20	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
159-163	11/24	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
164-168	11/26	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
169-173	11/27	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
174-177	11/28	08:50-16:10	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	両親学級
178-182	11/30	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
183-187	12/1	08:50-17:50	その他（保・リプ	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

			ロダクティブヘルス看護学分野)				
188-192	12/3	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
193-197	12/4	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
198-202	12/7	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
203-207	12/8	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
208-212	12/10	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
213-217	12/11	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
218-222	12/14	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
223-227	12/15	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘル	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

			ス看護学分野)				
228-232	12/17	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
233-237	12/18	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
238-242	1/12	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
243-247	1/14	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
248-252	1/15	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
253-256	1/17	08:50-16:10	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	両親学級
257-261	1/18	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
262-266	1/19	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

267-271	1/21	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
272-276	1/22	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
277-281	1/25	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	技術テスト/オリエンテーション	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
282-286	1/26	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
287-291	1/28	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
292-296	1/29	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
297-301	2/1	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子, 大久保 功子	
302-306	2/2	08:50-17:50	その他（保・リプロダクティブヘルス看護学分野）	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	
307-311	2/4	08:50-17:50	その他（保・リプ	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

			ロダクティブヘルス看護学分野)				
312-316	2/5	08:50-17:50	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	

成績評価の方法

レポート, 平常点から総合的に評価する。出席を重視する。

準備学習などについての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術／横尾京子, 中込さと子 編,:メディカ出版, 2007

母性Ⅰ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進 純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A, MCメディカ出版, 2003.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳,:農山漁村文化協会, 1999

出産革命のヒロインたち : アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳,:メディカ出版, 1997

母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集,:医学書院, 2012

マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:真興交易医書出版部, 2012

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2006

その他, 演習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 母性看護学と同時に受講することを前提として計画され, 後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため, 既習の知識・技

術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため，欠席すると補習はできないので注意してほしい。

連絡先

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

三隅　順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅　順子:前期：毎週火曜日午後

後期：毎週水曜日午後（会議時除く）

場所／3 号館 17 階リプロ 3 研

時間割番号	012048				
科目名	老年看護学				
担当教員	緒方　泰子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3

英文名：Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）ほか

授業の目的、概要等

高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれらに対する基本的な支援技術を習得する。老年期にある対象を理解するための基本的概念・理論を学ぶ。また、老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り，医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。

授業の到達目標(SBOs)

・教育方針

老年看護学の教育方針は，老年期にある対象を理解し，看護援助を創造していく知識と技術を養うことである。さらに，学問としての老年看護学の確立に資することを目指している。

・教育目標

1）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の特徴を理解する。

2）高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれらに対する基本的な支援技術を習得する。

3）高齢者と家族に対する看護援助の基本を習得する。

4）高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動を理解し，その中で看護の役割について理解する。

5）多くの人生経験をつんだ高齢者を尊重する態度を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/13	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。 高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方　泰子
3	4/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方　泰子
4	4/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	認知症の病態および認知症高齢者を介護する家族の立場を理解し、基本的支援方法を学ぶ。	緒方　泰子, 山本　則子
5-6	4/27	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。 高齢者の保健・医療・福祉に関する仕組みについて最近の動向などを理解する。	緒方　泰子
7-8	5/11	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。 薬物動態・静態の加齢変化と高齢者に与薬する薬物の特徴、薬剤管理の基本的知識について学ぶ。	緒方　泰子
9	5/18	08:50-10:20	保健衛生	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変	緒方　泰子

			学科講義室2		化について理解する。	
10	5/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者ケアを理解する基礎となる高齢者病理を学ぶ。	緒方 泰子, 沢辺 元司
11	5/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。	緒方 泰子
12	5/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	緒方 泰子, 内田 千恵子
13	6/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。	緒方 泰子
14	6/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	特別養護老人ホームなど、医療機関以外での看護師の役割について学ぶ。	緒方 泰子, 川崎 千鶴子
15-16	6/8	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。 高齢者と終末期について学ぶ。	緒方 泰子
17-18	6/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。 高齢者と慢性疾患の自己管理について学ぶ。	緒方 泰子
19-20	6/22	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する。	緒方 泰子
21-22	6/29	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者の事例をもとに看護過程におけるアセスメント、看護目標、看護ケア、評価指標を整理する。	緒方 泰子
23-24	7/6	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者看護に関するリスク管理について学ぶ。 高齢者看護における倫理的ジレンマとそれに対する意思決定プロセスを学ぶ。	緒方 泰子

成績評価の方法

学期末の試験を主とし，出席状況、課題への取り組み姿勢（グループワーク等）、課題レポートなどを総合的に評価する。
テキストや配布資料に記載された英語（単語や文章）をそのまま試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

準備学習などについての具体的な指示

授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み（グループワーク）学習成果を発表する機会を設けている。課題についての事前準備学習（情報収集、資料作成など）が必要となる。課題には、英文の老年医学等の専門書を用いて行うものも含まれる。

教科書

最新老年看護学／水谷信子，水野敏子，高山成子，高崎絹子 編.：日本看護協会出版会，2011

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため，病態学，生理学などの基礎的な医学知識や基礎・成人看護学における内容をふまえながら，高齢者独自の看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1）授業中の入退室は，原則として認めない。 2）授業日時、内容は変更することがある。

連絡先

yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19F

時間割番号	012049				
科目名	老年看護学演習				
担当教員	緒方　泰子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Seminar of Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室1（3号館17階）ほか

授業の目的、概要等

老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメント技術について，演習を通じて習得する。

授業の到達目標(SBOs)

・教育方針

高齢化社会を迎え，老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため，身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。老年看護学での教育方針は，老年期にある対象を理解した上で，看護援助の知識に基づいた技術をグループワークや実習などの体験から養うことである。演習は，老年看護に今後ますます必要とされるフィジカルアセスメントを系統的に学習し、基本技術を身につける。

・教育目標

1）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき演習を行える。

2）老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/14	13:00-17:50	看護学実習室１	老年看護学演習	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄとは何か　査定の基本技術・生活状況・精神状態、胸部のアセスメント	緒方　泰子
4-6	4/28	13:00-17:50	看護学実習室１	老年看護学演習	摂食･嚥下、腹部のアセスメント	緒方　泰子, 山田　正己
7-9	5/12	13:00-17:50	看護学実習室１	老年看護学演習	頭頸部、皮膚のアセスメント	緒方　泰子, 永野　みどり
10-12	5/26	13:00-17:50	看護学実習室１	老年看護学演習	筋骨格系、神経系のアセスメント、フィジカルアセスメント総括1	緒方　泰子
13-15	6/9	13:00-17:50	看護学実習室１	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2	緒方　泰子, 永野　みどり

成績評価の方法

出席の有無，参加態度，実技試験，課題レポートなどを総合的に評価する。

また試験において、テキストや配布資料で掲載された英語（単語、英文）を引用することがあるため、よく理解をしておくこと。

準備学習などについての具体的な指示

講義・演習内容について、テキストの当該個所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくとなおよい。配布資料には、英文による専門書の内容も含まれる。

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド = Physical Assessment Ultimate Guide／藤崎郁 執筆,伴信太郎 医学監修・実技指導,：学研メディカル秀潤社，2012

他科目との関連

老年看護学をふまえて，演習を行う。

履修上の注意事項

1）実習着については，随時指定する。 2）授業中の入退室は認めない。 3）原則として欠席は認めない。 4）授業日時、内容は変更することがある。

連絡先

yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

時間割番号	012050				
科目名	リハビリテーション看護学				
担当教員	緒方　泰子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Rehabilitation　Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）ほか

授業の目的、概要等

リハビリテーションについての概念や理論について学ぶとともに，その基本的な技術や看護について実習を通して修得する。

授業の到達目標(SBOs)

リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに，リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や，ノーマライゼーション，QOLの観点から捉える。その上で，リハビリテーション看護の概念，対象，方法を学び，リハビリテーションチームにおける看護，他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。また，リハビリテーション分野における活動，作業療法，言語療法の基本を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護の概念と理論、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護の今日的課題	緒方　泰子, 嶋　亜希
2	4/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	脊椎損傷を持つ患者へのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護	緒方　泰子, 室岡　陽子
3	5/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	脳卒中患者へのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護	緒方　泰子, 黒河内　仙奈
4	5/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	医学的ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの定義、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの対象疾患の障害、診断・評価、治療内容	緒方　泰子, 森田　定雄
5	6/1	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	緒方　泰子, 加地　啓介
6	6/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	言語療法とは何か、言語療法士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構語障害)	緒方　泰子, 大庭　優香
7	6/15	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、作業療法の種類と評価法、作業療法訓練	緒方　泰子, 新田　淳子
8	6/15	16:20-17:50	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	高齢者へのﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護	緒方　泰子

成績評価の方法

1）授業，演習に関した課題レポートより評価する。

2）出席日数は認定の基準とする。
※課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文（英文）をもとに作成する。研究論文（英文）は後日提示する。

準備学習などについての具体的な指示

講義内容についてテキストで基本的な知識を押さえておくこと。各テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。
また後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。

教科書

酒井郁子他：リハビリテーション看護－障害をもつ人の可能性とともに歩む，南江堂，2010.

他科目との関連

解剖学，生理学，疾病論などの医学知識，基礎看護学，ライフサイクル別看護学，在宅ケア論，地域看護学系の教科目のみならず，社会福祉学，保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。

履修上の注意事項

1）授業中の入退室は認めない。　2）実習の際の服装について，随時指示する。　3）授業日時、内容は変更することがある。

連絡先

yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

時間割番号	012051				
科目名	老年看護学実習				
担当教員	緒方　泰子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3

英文名：Gerontological Nursing Practicum

【科目責任者】緒方泰子

授業の目的、概要等

老年期にある人と家族の特徴を理解し，対象の個別性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で，看護実践を展開する。

授業の到達目標(SBOs)

（1）老年期にある人とその家族（以下，対象者とする）の身体的・心理的・社会的側面を統合し，全体像をとらえ，看護過程を展開する。

1）情報収集

ア）対象者の身体的側面の情報を収集する。

（健康障害の経過，治療，予後など）

イ）対象者の心理的側面の情報を収集する。

（生きがいなど対象者が大切にしていることも含める）

ウ）家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。

2）アセスメント

ア）対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。

イ）対象者の自立と依存のバランスを考え，自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。

ウ）対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。

エ）対象者の特徴を統合し，全体像を図示し，説明する。

オ）看護問題について，個別性を反映した適切な表現で記述する。

3）計画立案

ア）看護問題に対し，長期的・短期的目標を設定する。

イ）状況に合わせて，看護上の問題の優先順位をつける。

ウ）対象者の個別性を考慮し，実施可能な看護援助を記述する。

エ）スタッフとの連携を図るため，計画を説明し共有する。

4）計画の実施

ア）対象者の安全・安楽を考慮し，的確な技術で実施する。

イ）看護援助に対する対象者の反応に応じて，計画を修正する。

ウ）実施した看護援助の状況を，スタッフに説明することができる。

5）評価

ア）目標への達成度の評価を記述する。

イ）評価に基づき，看護計画を修正する。

（2）保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し，看護の役割，活動内容について考える。

1）対象者に関わる保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。

2）看護と介護を比較し，共通点，相違点を考える。

3）看護の役割・活動の課題と展望を考える。

（3）高齢者の専門医療機関（老人病院）や施設の特徴を理解する。

一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について，基本的なシステムの違いを知るとともに，ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員

1-5	9/28	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
6-10	9/29	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
11-15	10/1	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
16-20	10/2	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
21-25	10/5	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
26-30	10/6	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
31-35	10/8	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
36-40	10/9	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
41-45	10/13	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
46-50	10/15	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
51-55	10/16	08:50-17:50	その他（保・高齢	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子

			社会看護ケア開発学分野）			
56-60	10/26	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
61-65	10/27	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
66-70	10/29	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
71-75	10/30	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
76-80	11/2	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
81-85	11/5	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
86-90	11/6	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
91-95	11/9	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
96-100	11/10	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子
101-105	11/12	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方　泰子

			学分野）			
106-110	11/13	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
111-115	11/24	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
116-120	11/26	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
121-125	11/27	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
126-130	11/30	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
131-135	12/1	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
136-140	12/3	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
141-145	12/4	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
146-150	12/7	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
151-155	12/8	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
156-1	12/10	08:50-17:50	その他	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子

60			(保・高齢社会看護ケア開発学分野)			
161-165	12/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
166-170	12/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
171-175	1/12	08:50-17:50	看護学実習室１	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
176-180	1/14	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
181-185	1/15	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
186-190	1/18	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
191-195	1/19	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
196-200	1/21	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
201-205	1/22	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
206-210	1/25	08:50-17:50	その他(保・高齢社会看護	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子

			ケア開発学分野）			
211-215	1/26	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
216-220	1/28	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
221-225	2/1	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
226-230	2/2	08:50-17:50	その他（保・高齢社会看護ケア開発学分野）	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子
231-232	2/9	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	老年看護学実習振り返り学習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子

授業内容

（詳細については実習要項参照）

準備学習などについての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を押さえておくことで、実習が順調に進む。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19F

時間割番号	012052				
科目名	地域保健看護学Ⅰ				
担当教員	佐々木 明子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Community Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

地域保健看護学総論は，人々の健康問題やそれに関連する生活上の問題を，幅広い視野をもって総合的に解決するための基盤となるものである。

授業の到達目標(SBOs)

地域看護・公衆衛生看護は，地域の健康課題の把握に基づき，家庭や地域社会で生活する人々を対象とする。地域看護は，健康の保持・増進，疾病の予防，健康障害者の健康回復と悪化の予防，リハビリテーションなど地域でなされる保健・医療・福祉活動の地域ヘルスケアシステムの中でサブシステムとして機能する。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関係する諸制度を，地域看護・公衆衛生看護の歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特色を把握した上で，ライフサイクル，健康レベル，疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく，看護の方法の選択と，諸機関との共同で組織的に地域看護・公衆衛生看護活動を展開するための基礎を習得する。
教育目標は以下のとおりである。
1）地域看護・公衆衛生看護活動の目的，活動の成立要件，活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。
2）ヘルスケアシステムにおける地域看護の機能を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的	佐々木 明子
2	4/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の活動方法	佐々木 明子,津田 紫緒,池田 絹代
3	4/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子
4	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子
5	4/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒
6	4/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒
7	5/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ（総論）	地域保健、福祉行政と看護活動の展開	錦織 正子
8	5/29	10:30-12:00	保健衛生	地域保健看護学Ⅰ（総	地域看護・公衆衛生看護活動の実	錦織 正子

			学科講義室2	論)	際		

成績評価の方法

定期試験, レポート

準備学習などについての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編,:中央法規出版, 2012

参考書

最新保健学講座／金川克子 編,:メヂカルフレンド社, 2011

地域看護学／福島道子 編,:オーム社, 2007

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集,:日本看護協会出版会, 2013

実践ヘルスプロモーション : precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン, マーシャル・W.クロイター 著,神馬征峰訳,:医学書院, 2005

標準保健師講座:医学書院, 2011

参考書 6.厚生の指標 増刊 国民衛生の動向 2014/2015 版、厚生統計協会編、厚生労働統計協会、2014

参考書 7.衛生行政大要 改訂第 23 版、上田茂他編、公衆衛生協会、2012、ISBN: 9784819202312

参考書 8.最新 公衆衛生看護学 第 2 版 2013 年版 総論、宮崎美砂子他編、日本看護協会出版会、2013、ISBN: 9784818017283

参考書 9.地域看護とヘルスプロモーション 第 1 巻 地域看護学概論、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

参考書 10.地域看護とヘルスプロモーション 第 3 巻 ヘルスプロモーションの展開、清水洋子他監修、丸善出版株式会社、2007

他科目との関連

地域保健看護学の科目の基盤となるものとして位置づけられている。そして基礎看護学や臨床看護学の各科目と地域保健看護学との接点領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。

履修上の注意事項

本教科は, 講義のみではなく, 課題について考えるディスカッション, グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

連絡先

佐々木 明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012053				
科目名	地域保健看護学Ⅱ				
担当教員	佐々木 明子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Community Health NursingⅡ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

地域保健看護・公衆衛生看護の対象を、個人だけではなく家族の枠組みで捉え、その基礎となる家族看護学の理論と実際を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1）家族看護学の理論的発展と実際の家族への関り方について理解する。

2）乳幼児から高齢者までを対象とする地域保健看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族に生じる問題を理解し、看護の関わり方を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解し、家族の捉え方の実際を学ぶ。

3）家族に対する相談支援の実際について、家族への働きかけを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族および家族看護学の概念と理論	佐々木 明子,津田 紫緒
2	5/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族および家族看護学の概念と理論	佐々木 明子,津田 紫緒
3	5/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族に対する支援の実際	錦織 正子
4	5/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族に対する支援の実際	錦織 正子
5	5/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族の健康課題に応じた家族支援	佐々木 明子,津田 紫緒
6	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族の健康課題に応じた家族支援	佐々木 明子,津田 紫緒
7	5/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族アセスメントと家族支援の方法	佐々木 明子,津田 紫緒
8	5/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅱ（家族ケア論）	家族アセスメントと家族支援の方法	佐々木 明子,津田 紫緒

成績評価の方法

レポート

準備学習などについての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

参考書

家族看護学 : 理論と実践／鈴木和子, 渡辺裕子 著,: 日本看護協会出版会, 2012

家族生活力量モデル : アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会 編著,: 医学書院, 2002

家族看護学 : 理論とアセスメント／Marilyn M.Friedman [著],野嶋佐由美 監訳,: へるす出版, 1993

地域看護学講座: 医学書院, 1999

他科目との関連

母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連するので、これまでの各領域での学習を振り返りつつ、家族看護の視点で統合することが必要である。

履修上の注意事項

本科目は、講義のみではなく, 課題について考えるディスカッション, グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

連絡先

佐々木 明子:sasaki.phn@tmd.ac.jp 3号館 19F

時間割番号	012054				
科目名	在宅看護学Ⅱ				
担当教員	本田 彰子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名：Home Care Nursing Ⅱ

【科目責任者】本田彰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）

授業の目的、概要等

在宅看護学で特に重要とされる施設との連携、他職種の連携について、またケアマネジメントの実際について理解することにより、在宅療養支援の実際と看護職の専門性を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

在宅の場面で、保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮し、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅ケアを支える法制度・社会のしくみ	本田 彰子
2	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	訪問看護に関わる介護保険制度	本田 彰子
3	6/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養支援の実際	本田 彰子
4	6/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	医療施設等との連携・協働	本田 彰子
5	6/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	松本 由美子
6	6/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	松本 由美子
7	7/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	本田 彰子
8	7/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	本田 彰子

成績評価の方法

出席、および定期試験

準備学習などについての具体的な指示

受講前に、教科書や事前配布の文献・資料等を読んでおくこと。

介護保険等の法制度に関しては、2 年次「保健医療福祉制度論」の学習内容を振り返り、参考書等の関連資料に目を通しておくこと。
在宅看護過程については、教科書の第Ⅰ・Ⅱ章をよく読んでおくこと。

教科書

関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,:メヂカルフレンド社, 2014

参考書

エッセンシャル在宅看護学／木下由美子 編著,:医歯薬出版, 2007

在宅看護論 : 自分らしい生活の継続をめざして／石垣和子, 上野まり 編,:南江堂, 2012

最新訪問看護研修テキスト／川越博美, 山崎摩耶, 佐藤美穂子 総編集,宮内清子, 押川真喜子, 藤原泰子, 山内豊明, 馬場先淳子, 角田直枝, 天津栄子, 石鍋圭子, 木下由美子, 萱間真美, 川村佐和子 責任編集,:日本看護協会出版会, 2005

他科目との関連

2 年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。

連絡先

ahonda.chn@tmd.ac.jp　3 号館 19F

時間割番号	012055				
科目名	在宅看護学演習				
担当教員	本田 彰子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

英文名:seminar of Home Care Nursing

【科目責任者】本田彰子

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)

授業の目的、概要等

療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

訪問看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、リハビリテーション技術、摂食嚥下等に関する技術の理論と実際について理解し、事例を通して具体的看護援助の方法を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	オリエンテーション・在宅療養環境のアセスメント	本田 彰子
2	5/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	看護過程 事例:難病患者の看護	本田 彰子
3	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の呼吸管理(在宅酸素療法)	本田 彰子
4	5/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の呼吸管理(在宅酸素療法)	本田 彰子
5	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	移動・移乗の援助技術および在宅リハビリテーション	高井 豊
6	5/29	16:20-17:50	看護学実習室1	在宅看護学演習	移動・移乗の援助技術および在宅リハビリテーション	高井 豊
7	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理(人工呼吸法)・コミュニケーション方法	中山 優季
8	6/5	16:20-17:50	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室1, 看護学実習室2	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理(人工呼吸法)・コミュニケーション方法	中山 優季
9	6/12	13:00-14:30	看護学実習室1, 看護学実	在宅看護学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤 貴子

			習室2			
10	6/12	14:40-16:10	看護学実習室2	在宅看護学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤 貴子
11	6/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	在宅療養者の摂食嚥下の援助:理論と実践	戸原 玄
12	6/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室1, 看護学実習室2	在宅看護学演習	在宅療養者の摂食嚥下の援助:理論と実践	戸原 玄
13	6/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	看護過程 事例:高齢者の看護	本田 彰子
14	6/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学演習	看護過程 事例:高齢者の看護	本田 彰子
15	7/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	在宅看護学演習	看護過程 ロールプレイ演習	本田 彰子, 山﨑 智子
16	7/3	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2	在宅看護学演習	看護過程 ロールプレイ演習	本田 彰子, 山﨑 智子

成績評価の方法

出席、講義毎の提出物、および定期試験

準備学習などについての具体的な指示

演習前に、該当する事項に関して教科書や参考書を用いて予習しておくこと。

教科書

関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,:メヂカルフレンド社, 2014

参考書

最新訪問看護研修テキスト／川越博美, 山崎摩耶, 佐藤美穂子 総編集,宮内清子, 押川真喜子, 藤原泰子, 山内豊明, 馬場先淳子, 角田直枝, 天津栄子, 石鍋圭子, 木下由美子, 萱間真美, 川村佐和子 責任編集,:日本看護協会出版会, 2005

正野逸子・本田彰子編著:看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術、メヂカルフレンド社、2014.

他科目との関連

在宅看護学実習で必要な看護技術および看護過程の展開を学ぶ。

連絡先

ahonda.chn@tmd.ac.jp 3号館19F

時間割番号	012056				
科目名	在宅看護学実習				
担当教員	本田 彰子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

英文名:Practice of Home Care Nursing

【科目責任者】本田彰子

授業の目的、概要等

在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その看護提供のシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1) 訪問看護実習

・訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。

・訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。

・同行訪問により在宅での看護提供の実際を学ぶ。

・在宅療養に必要な社会資源の活用について学ぶ。

2) ケアマネジメント実習

・介護保険、および福祉制度等の仕組みを理解する。

・居宅介護支援に関する具体的ケア提供の方法を理解する。

・療養者を取り巻く関係施設、および各専門職との連携、マネジメントについて理解する。

3) 退院支援および継続看護実習

・医療施設等から在宅療養への移行期に求められる、療養者の状況のアセスメントについて理解する。

・医療施設等から在宅療養への移行期において、目標設定、および必要な援助を見出す退院計画について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	9/24	08:50-17:50	保健衛生学科講義室2	在宅看護学実習オリエンテーション	詳細については実習要項参照	本田 彰子
6-10	9/28	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
11-15	9/29	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
16-20	10/1	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
21-25	10/2	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
26-30	10/5	08:50-17:50	その他(保・在宅	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子

			ケア看護学分野）			
31-35	10/6	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
36-40	10/8	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
41-45	10/9	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
46-50	10/13	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
51-55	10/15	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
56-60	10/16	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
61-65	10/19	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
66-70	10/20	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
71-75	10/22	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
76-80	10/23	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
81-85	10/26	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
86-90	10/27	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子

			学分野)			
91-95	10/29	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
96-100	10/30	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
101-105	11/2	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
106-110	11/5	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
111-115	11/6	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
116-120	11/9	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
121-125	11/10	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
126-130	11/12	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
131-135	11/13	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
136-140	11/16	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
141-145	11/17	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
146-150	11/19	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子

151-155	11/20	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
156-160	11/24	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
161-165	11/26	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
166-170	11/27	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
171-175	11/30	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
176-180	12/1	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
181-185	12/3	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
186-190	12/4	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
191-195	12/7	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
196-200	12/8	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
201-205	12/10	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
206-210	12/11	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
211-2	12/14	08:50-17:50	その他	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子

15			(保・在宅ケア看護学分野)			
216-220	12/15	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
221-225	12/17	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
226-230	12/18	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
231-235	1/4	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
236-240	1/5	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
241-245	1/7	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
246-250	1/8	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
251-255	1/12	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
256-260	1/14	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
261-265	1/15	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
266-270	1/18	08:50-17:50	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
271-275	1/19	08:50-17:50	その他(保・在宅	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子

			ケア看護学分野）			
276-280	1/21	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
281-285	1/22	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
286-290	1/25	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
291-295	1/26	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
296-300	1/28	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
301-305	1/29	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
306-310	2/1	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
311-315	2/2	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
316-320	2/4	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
321-325	2/5	08:50-17:50	その他（保・在宅ケア看護学分野）	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子
326-327	2/8	13:00-16:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学実習報告会	詳細については実習要項参照	本田 彰子

授業内容

＊ 詳細については実習要項参照

準備学習などについての具体的な指示

実習までに自転車に乗れるようにしておくこと。また、在宅看護学Ⅱ・在宅看護学演習の学習で用いた在宅看護過程の教科書・資料を用

いて情報収集と整理・アセスメントについて復習し、在宅看護における看護計画立について振り返りをしておくこと。

教科書

関連図で理解する在宅看護過程／正野逸子, 本田彰子 編著,: メヂカルフレンド社, 2014

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

ahonda.chn@tmd.ac.jp　3 号館 19F

第４学年

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/7	火										
8	水			卒業論文Ⅱ(1)	各研究室			英文講読Ⅲ(1)	2		
9	木					地域保健看護学演習(1)	1	地域保健看護学演習(2)	1		
10	金					緩和ケア看護学(1)	1	緩和ケア看護学(2)	1		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/13	月			産業保健学(1)	4	地域保健看護学Ⅲ(1)	4	地域保健看護学Ⅲ(2)	4	看護の統合と実践Ⅱ(1)	4
14	火					健康教育学演習(1)	1	健康教育学演習(2)	1		
15	水			卒業論文Ⅱ(2)	各研究室			英文講読Ⅲ(2)	2		
16	木					地域保健看護学演習(3)	1	地域保健看護学Ⅲ(3)	1		
17	金					緩和ケア看護学(3)	1	緩和ケア看護学(4)	1		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/20	月			産業保健学(2)	4	地域保健看護学Ⅲ(4)	4	地域保健看護学Ⅲ(5)	4	看護の統合と実践Ⅱ(2)	4
21	火					健康教育学演習(3)	1	健康教育学演習(4)	1		
22	水			卒業論文Ⅱ(3)	各研究室			英文講読Ⅲ(3)	2		
23	木					地域保健看護学演習(4)	1	地域保健看護学演習(5)	1		
24	金					緩和ケア看護学(5)	1	緩和ケア看護学(6)	1		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/27	月	地域保健看護学Ⅲ(6)	4	産業保健学(3)	4	保健統計学(1)	情報検索室	保健統計学(2)	情報検索室	看護の統合と実践Ⅱ(3)	4
28	火					健康教育学演習(5)	1	健康教育学演習(6)	1		
29	水	昭和の日									
30	木	足立区オリが入るので授業を入れない		足立区オリが入るので授業を入れない		地域保健看護学演習(6)	1	地域保健看護学演習(7)	1		
5/1	金					緩和ケア看護学(7)	1	緩和ケア看護学(8)	1		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/4	月	みどりの日									
5	火	こどもの日									
6	水	振替休日									
7	木	看護の統合と実践実習ⅠⅡ(チーム医療入門)									
8	金	看護の統合と実践実習ⅠⅡ(チーム医療入門)									

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/11	月	地域保健看護学Ⅲ(7)	4	産業保健学(4)	4	保健統計学(3)	情報検索室	保健統計学(4)	情報検索室		
12	火			国際保健看護学(1)	4	健康教育学演習(7)	1	健康教育学演習(8)	1		
13	水			卒業論文Ⅱ(4)	各研究室			英文講読Ⅲ(4)	2		
14	木					地域保健看護学演習(8)	1	地域保健看護学演習(9)	1		
15	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/18	月			産業保健学(5)	4	地域保健看護学Ⅲ(8)	4	地域保健看護学Ⅲ(9)	4	看護の統合と実践Ⅱ(4)	4
19	火			国際保健看護学(2)	4	健康教育学演習(9)	1	健康教育学演習(10)	1		
20	水			卒業論文Ⅱ(5)	各研究室			英文講読Ⅲ(5)	2		
21	木	地域保健看護学実習(1)									
22	金			看護の統合と実践Ⅱ(5)	1						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/25	月			産業保健学(6)	4	地域保健看護学Ⅲ(10)	4	地域保健看護学Ⅲ(11)	4	看護の統合と実践Ⅱ(6)	4
26	火			国際保健看護学(3)	4	健康教育学演習(11)	1	健康教育学演習(12)	1		
27	水			卒業論文Ⅱ(6)	各研究室			英文講読Ⅲ(6)	1		
28	木	地域保健看護学実習(2)									
29	金			看護の統合と実践Ⅱ(7)	1						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/1	月			産業保健学(7)	4	地域保健看護学Ⅲ(12)	4	地域保健看護学Ⅲ(13)	4	看護の統合と実践Ⅱ(8)	4
2	火			国際保健看護学(4)	4	健康教育学演習(13)	1	健康教育学演習(14)	1		
3	水			卒業論文Ⅱ(7)	各研究室			英文講読Ⅲ(7)	1		
4	木	地域保健看護学実習(3)									
5	金			看護の統合と実践Ⅱ(9)	1						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/8	月			産業保健学(8)	4	地域保健看護学Ⅲ(14)	4	地域保健看護学Ⅲ(15)	4	保健統計学(5)	情報検索室
9	火			国際保健看護学(5)	4	健康教育学演習(15)	1	健康教育学演習(16)	1		
10	水			卒業論文Ⅱ(8)	各研究室			英文講読Ⅲ(8)	1	英文講読Ⅲ(9)	1
11	木	地域保健看護学実習(4)									
12	金										

		8:50～10:20	講義室		講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/15	月					看護の統合と実践Ⅱ(10)	4	看護の統合と実践Ⅱ(11)	4	保健統計学(6)	情報検索室
16	火	国際保健看護学(6)	4	国際保健看護学(7)	4	地域保健看護学演習(10)	4	地域保健看護学演習(11)	4		
17	水			卒業論文Ⅱ(9)	各研究室			英文講読Ⅲ(10)	1	英文講読Ⅲ(11)	1
18	木										
19	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/22	月					看護の統合と実践Ⅱ(12)	4	看護の統合と実践Ⅱ(13)	4	保健統計学(7)	情報検索室
23	火			国際保健看護学(8)	4	国際保健看護学(9)	4				
24	水			卒業論文Ⅱ(10)	各研究室			英文講読Ⅲ(12)	1	英文講読Ⅲ(13)	1
25	木					地域保健看護学演習(12)	1	地域保健看護学演習(13)	1	地域保健看護学演習(14)	1
26	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/29	月					看護の統合と実践Ⅱ(14)	4	看護の統合と実践Ⅱ(15)	4	保健統計学(8)	1
30	火			国際保健看護学(10)	4						
7/1	水			卒業論文Ⅱ(11)	各研究室			英文講読Ⅲ(14)	1	英文講読Ⅲ(15)	1
2	木			看護の統合と実践実習ⅠⅡ　オリエンテーション	1	地域保健看護学演習(15)	1	地域保健看護学演習(16)	1		
3	金										

		8:50～10:20		10:30～12:00		13:00～14:30		14:40～16:10		16:20～17:50	
7/6	月	前期定期試験									
7	火	前期定期試験									
8	水	前期定期試験									
9	木										
10	金	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/13	月	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
14	火	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
15	水	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
16	木	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
17	金	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/20	月	海の日									
21	火	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
22	水	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
23	木	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									
24	金	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/27	月	看護の統合と実践実習ⅠⅡ									

夏季休業　7/28(火)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(後期) ※臨地実習の詳細については, 別途連絡する。

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/14	月										
15	火										
16	水	卒業論文Ⅱ(12)									
17	木										
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/21	月	敬老の日									
22	火	国民の休日									
23	水	秋分の日									
24	木	臨地実習									
25	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/28	月	臨地実習									
29	火										
30	水	卒業論文Ⅱ(13)									
10/1	木	臨地実習									
2	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/5	月	臨地実習									
6	火										
7	水	卒業論文Ⅱ(14)									
8	木	臨地実習									
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/12	月	体育の日									
13	火	臨地実習									
14	水	卒業論文Ⅱ(15)									
15	木	臨地実習									
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/19	月	臨地実習									
20	火										
21	水	卒業論文Ⅱ(16)									
22	木	臨地実習									
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/26	月	臨地実習									
27	火										
28	水	卒業論文Ⅱ(17)									
29	木	臨地実習									
30	金										

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/2	月	臨地実習									
3	火	文化の日									
4	水	卒業論文Ⅱ(18)									
5	木	臨地実習									
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/9	月	臨地実習									
10	火										
11	水	卒業論文Ⅱ(19)									
12	木	臨地実習									
13	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/16	月	臨地実習									
17	火										
18	水	卒業論文Ⅱ(20)									
19	木	臨地実習									
20	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/23	月	勤労感謝の日									
24	火	臨地実習									
25	水	卒業論文Ⅱ(21)									
26	木	臨地実習									
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/30	月										
12/1	火										
2	水	卒業論文Ⅱ(22)									
3	木										
4	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/7	月										
8	火										
9	水	卒業論文Ⅱ(23)									
10	木										
11	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/14	月										
15	火										
16	水										
17	木										
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/21	月										

冬季休業　12/22(火)～

平成27年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/4	月										
5	火										
6	水										
7	木										
8	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/11	月	成人の日									
12	火										
13	水										
14	木										
15	金										

1/18	月	後期定期試験									
19	火	後期定期試験									
20	水	後期定期試験									
21	木	後期定期試験									
22	金	後期定期試験									

1/25	月	補講・再試									
26	火	補講・再試									
27	水	補講・再試									
28	木	補講・再試									
29	金	補講・再試									

春季休業　2/1(月)～

卒 業 式　3/25(水)

時間割番号	012057				
科目名	英文講読Ⅲ				
担当教員	木下 裕太, 窪田 哲朗				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：English for NursingⅢ

【科目責任者】窪田哲朗

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）および保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

高度な現代医療に関する英語に触れることで、医学英語の知識をさらに深める

授業の到達目標(SBOs)

グローバルな知識を得るために必要不可欠な英文ウェブサイトや雑誌、そして専門書に慣れることによって的確な情報を読み取る力を身につける。また同時に医学英語に用いられる表現・難解な語彙に親しむことによって、最も基礎となる読解力を高める。併せて音声・DVD教材なども用いて、総合的な英語力を高める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	ガイダンス	木下 裕太
2	4/15	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
3	4/22	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
4	5/13	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
5	5/20	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
6	5/27	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太

			学分野）			
7	6/3	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Newsweek	木下 裕太
8	6/10	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Newsweek	木下 裕太
9	6/10	16:20-17:50	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
10	6/17	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Writing 指導	木下 裕太
11	6/17	16:20-17:50	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
12	6/24	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	Writing 指導	木下 裕太
13	6/24	16:20-17:50	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
14	7/1	14:40-16:10	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	総復習	木下 裕太
15	7/1	16:20-17:50	その他（保・小児・家族発達看護学分野）	英文講読Ⅲ	期末テスト	木下 裕太

授業内容

アメリカ、英国、カナダ等のウェブサイトや雑誌、専門書の英文の内容を正しく把握できるよう読み進めていく。医療に関する海外ドラマ・映画等を副教材として、医学英語の音声に慣れる。また英文の添削や英語資格対策も要望があれば行う。

成績評価の方法

出席日数は、全授業回数の 3 分の 2 が必要。ただし、遅刻は欠席と同じ扱いとする。その上で授業への参加度などを総合して評価する。詳しくは第 1 回の授業で提示する。

準備学習などについての具体的な指示

予習は必須。前もって該当（担当）箇所に目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。

他科目との関連

英語に触れる他のすべての科目。

履修上の注意事項

教科書は特に指定しない。毎回 Time や Newsweek といった海外の雑誌やウェブサイトから面白い記事をコピーし配布（出来る限り参加者の興味や関心に合わせる予定）。

連絡先

木下　裕太:保健衛生教務掛に問合せること

窪田　哲朗:tetsuo.kubota.mtec@tmd.ac.jp　3号館 16F

オフィスアワー

木下　裕太:保健衛生教務掛に問合せること

保健衛生教務掛　gakumu2.adm@tmd.ac.jp

時間割番号	012058				
科目名	保健統計学				
担当教員	大久保　功子, 寺本　妙子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：Health　Statistics

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

情報検索室（M&Dタワー4階）

授業の目的、概要等

本科目では保健統計学の基礎を学ぶ。客観的指標であるデータの収集，処理・分析，結果の解釈という一連の流れを理解し，科学的根拠として捉えられる数量的表現の理解を目指す。演習も取り入れ，実際にパソコン上でデータ処理を試みる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/27	13:00-14:30	情報検索室	保健統計の概要（Ⅰ）	尺度，記述統計学（度数分布，代表値，散布度），データ処理の演習	寺本　妙子
2	4/27	14:40-16:10	情報検索室	保健統計の概要（Ⅱ）	相関，回帰，確率分布，データ処理の演習	寺本　妙子
3	5/11	13:00-14:30	情報検索室	母集団統計値	母集団と標本，母集団平均の推定，標本数	寺本　妙子
4	5/11	14:40-16:10	情報検索室	仮説検定（Ⅰ）	母平均の検定，母比率の検定，平均値の差の検定（1）	寺本　妙子
5	6/8	16:20-17:50	情報検索室	仮説検定（Ⅱ）	平均値の差の検定（2），ノンパラメトリック検定	寺本　妙子
6	6/15	16:20-17:50	情報検索室	分散分析	一元配置分散分析，二元配置分散分析，多重比較	寺本　妙子
7	6/22	16:20-17:50	情報検索室	演習（Ⅰ）	人口統計，データ処理の演習	寺本　妙子
8	6/29	16:20-17:50	情報検索室	演習（Ⅱ）	データ処理の演習	寺本　妙子

成績評価の方法

平常点（出席，講義への積極的参加）と試験で総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

「保健統計学」や「看護統計学」と題する書籍を 1 冊，参考書として準備するとよい。

連絡先

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012059				
科目名	国際保健看護学				
担当教員	近藤 暁子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名:International Health Nursing

授業の目的、概要等

諸外国の健康問題の状況と、各国・地域の医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで世界の健康問題について考えを深める。

授業の到達目標(SBOs)

単に諸外国の医療や看護の現状を理解するにとどまらず、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考える力を養う。

地球市民としての自覚に立脚した看護専門職としての国際感覚を養う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	国際保健看護学概論	近藤 暁子
2	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	アジア諸国の看護・看護教育の現状	銭 淑君
3	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	米国の教育・保険制度	近藤 暁子
4	6/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	Advanced nursing practice and career development in Hong Kong	VICO Chiang
5	6/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	世界がもし100人の村だったら	近藤 暁子
6	6/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	HIV/AIDSと看護	近藤 麻理
7	6/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	ジェンダーと看護	近藤 麻理
8	6/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	国際保健の現状・途上国の小児保健	中村 安秀
9	6/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	国際保健の現状・途上国の小児保健	中村 安秀
10	6/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	国際保健看護学	ガーナにおける感染症対策	太田 伸生

成績評価の方法

毎回の出席と講義レポートにより評価する予定。

成績評価の基準

出席 20%

100人の村のレポート 30%

最終課題レポート 50%

準備学習などについての具体的な指示

5/12 「World Health Organization」の役割、「ミレニアム開発目標」の内容について

5/26 「日本の看護教育制度」「日本の医療保険制度」について

事前学習して来てください。

教科書

国際看護学 : グローバル・ナーシングに向けての展開／南裕子 監修,新川加奈子, 大野夏代, 神原咲子 編集,:中山書店, 2013

参考書

ワークショップ版・世界がもし 100 人の村だったら 第 4 版／100 人村教材編集委員会:開発教育協会, 2014

知って考えて実践する国際看護／近藤麻理 著,:医学書院, 2011

国際保健医療のお仕事 : あなたもチャレンジしてみませんか／中村安秀 編著,:南山堂, 2008

他科目との関連

感染症等に関する基礎的な疾患についての知識が必要となる。

履修上の注意事項

講師の諸事情により開講日時・内容等が変更されることがある。

オフィスアワー

オフィスアワー:

時間割番号	012060				
科目名	産業保健学				
担当教員	森田　久美子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：Occupational Health Nursing

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

働く人の健康指導と健康管理，並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり，その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。

授業の到達目標(SBOs)

産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して，そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には，保健師としての倫理観と人格が求められ，保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。

産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され，社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ，自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき，望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「産業保健学総論」 地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田　久美子
2	4/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」 産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	水野　恵理子
3	4/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「産業看護活動」 産業看護活動の実際、ハラスメント、自殺対策等について学ぶ。	水野　恵理子
4	5/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「労働者の心の健康支援1」 疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	水野　恵理子
5	5/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「労働者の心の健康支援2」 予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	水野　恵理子
6	5/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「労働災害」 職業性疾病、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田　久美子
7	6/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」 関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え	神山　貴巳香

					方、人事労務問題への対応について学ぶ。		
8	6/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「人事労務管理2」 事例演習(判例検討)	神山 貴巳香, 森田 久美子	

授業内容

衛生学・公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして，働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく，仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。
そのためには，健康な人も健康に障害を持った人も，労働という営みの中で，保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列挙しながら，産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病(職業性疾患)・産業災害とその対策や予防方法・

成績評価の方法

学期末筆答試験により評価する。

準備学習などについての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

参考書

眞野喜洋，遠藤立一(監著)：健康管理者のための公衆衛生学，圭文社，東京
眞野喜洋(監著)：スタンダード公衆衛生学，文光堂，東京
松田正巳他：対象別地域看護活動、医学書院
平山朝子，宮地文子(編集)：産業保健指導論，公衆衛生看護大学体系#6，日本看護協会出版会，東京
(財)厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生の指標臨時増刊，(財)厚生統計協会，東京
森 晃爾(編集)：産業保健ハンドブック，労働調査会，東京
中央労働災害防止協会：労働衛生のしおり，東京
成人地域看護活動(地域看護学講座 No7)，医学書院
など産業保健に関する書籍はすべて参考となるが，購入の折にはできるだけ新しい数値の乗った統計データを有するものから選ぶこと。

他科目との関連

公衆衛生学，地域保健学・看護学とは密接な関係にあり，クロス・オーバーする領域が多い。 母性，成人老人，精神の各保健学，看護学とも関連性が高い。 基礎学力としての生理学，薬理学，病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。

履修上の注意事項

産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので，日頃からマスメディアの医療の関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。

連絡先

morita.phn@tmd.ac.jp 3号館 15F

時間割番号	012061				
科目名	健康教育学演習				
担当教員	森田　久美子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：Health　Education

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。

授業の到達目標(SBOs)

健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/14	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育　総論	森田　久美子
3-4	4/21	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育の理論と展開方法	綾部　明江
5-6	4/28	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育の実際①　健康教育のテーマの決め方、計画書の作成方法:　疫学調査の応用、効果的な媒体等について学ぶ	森田　久美子
7-8	5/12	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育の実際②　健康教育の評価方法について学ぶ。　具体的実践例の紹介	森田　久美子
9-10	5/19	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	グループワーク①　健康教育計画書の立案	森田　久美子,津田　紫緒
11-12	5/26	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	グループワーク②　健康教育に必要な媒体の作成	森田　久美子,津田　紫緒
13-14	6/2	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	グループワーク③　健康教育に必要な媒体の作成、発表練習	森田　久美子,津田　紫緒
15-16	6/9	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	健康教育学演習	健康教育発表会、まとめ	佐々木　明子,森田　久美子,津田　紫緒

成績評価の方法

レポート、プレゼンテーションにより評価する。

準備学習などについての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

参考書

・松本千明著：健康行動理論の基礎，医歯薬出版株式会社

・畑　栄一、土井由利子編：行動科学　健康づくりのための理論と応用

・国民衛生の動向

他科目との関連

健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかり習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことも多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

連絡先

morita.phn@tmd.ac.jp　3号館 15F

時間割番号	012062				
科目名	卒業論文Ⅱ				
担当教員	大久保　功子, 山﨑　智子				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1

英文名：Thesis Ⅱ

担当教員：看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員

看護学専攻主任

主な講義場所

該当する分野の研究室等。分野長／研究指導者の指示に従う。

卒論Ⅰにおいて Ⅱでの所属分野の希望を出すが，その決定を受けた後，該当分野長に場所の確認を取ること。

授業の目的、概要等

選択したテーマに沿って，指導教員から実際の研究指導を受ける。

指導教員のもとで研究を行い，論文をまとめる。

授業の到達目標(SBOs)

卒業論文では，看護・保健に関する研究のプロセスを学ぶことを通じて，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，発表の仕方の基本を習得させることを目的とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
2	4/15	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
3	4/22	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
4	5/13	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
5	5/20	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
6	5/27	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
7	6/3	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
8	6/10	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
9	6/17	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
10	6/24	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
11	7/1	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
12	9/16	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
13	9/30	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
14	10/7	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
15	10/14	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
16	10/21	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
17	10/28	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
18	11/4	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
19	11/11	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
20	11/18	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
21	11/25	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
22	12/2	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	山﨑　智子
23-27	12/9	08:50-17:50		卒論発表会	卒論発表会	山﨑　智子

授業方法

所属分野の方針にしたがって研究を行う。

授業内容

学生による主体的な研究活動

〔日時〕授業開始から卒論発表会までの間の原則水曜日 2 時限。所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

卒業研究論文と卒業研究発表で評価する。

1）卒業研究論文

卒業論文と卒業論文抄録を提出する。

形　式 ：別紙（卒業論文フォーム）の規定に従う。

期限までに提出のない者は単位を認定しない。

2）卒業研究発表

1人につき発表5分，討論2分程度。

Power Point を使用した口頭発表、あるいはポスター発表を行う。

成績評価の基準

研究指導を担当した各分野長が，研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

準備学習などについての具体的な指示

卒業論文Ⅰで学習した研究概説，研究倫理，外国語文献検索方法については復習をしておくこと。

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会 （APA） 著,前田樹海，江藤裕之，田中建彦 訳：医学書院，2011

看護研究 ： 原理と方法／D.F.ポーリット，C.T.ベック 著,近藤潤子 監訳,後藤桂子，新道幸恵，松岡惠，高木廣文，羽山由美子 訳,：医学書院，2010

大学院のシラバスも参考にすること。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するので，全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され，当該分野において教授，准教授，講師および助教が指導教員（研究指導の責任者）となり、教員全員が指導にあたる。指導する学生数は原則として教授4名，准教授3名，講師2名，助教 1 名とする。

・成績は，各分野において論文と発表から評価し,専攻主任が認定する。

連絡先

大久保　功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

山﨑　智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

時間割番号	012070				
科目名	国際保健福祉				
担当教員	大久保　功子				
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1

英文名：Global Health and welfare

【科目責任者】大久保功子

主な講義場所

海外

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。

授業の到達目標(SBOs)

研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	18:00-19:30	保健衛生学科講義室1	国際保健福祉	合同オリエンテーション（希望する国の医療施設，保健福祉施設，教育機関における見学・講義・実習等）	大久保　功子，佐々木　明子

授業方法

海外研修

授業内容

希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。

成績評価の方法

研修前の準備

研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況

研修報告会における発表状況

研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5段階評価とする。

準備学習などについての具体的な指示

研修で困らない語学力を身に着けておくこと

TOEFLによる語学評価を受けておくこと

グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること

希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等等の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

事前学習と、海外研修、事後報告からなる

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。　4月9日(木)18時00分～合同オリエンテーション(18階を予定)に参加すること。

連絡先

kouko.rhn@tmd.ac.jp　3号館 19F

時間割番号	012077				
科目名	地域保健看護学Ⅲ				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2

英文名：Community Health NursingⅢ

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

地域保健看護学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識をもとに，地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。特に，成人高齢者と母子を中心に，地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント，保健看護活動の展開方法，評価の視点を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1）成人高齢者・母子・精神保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムを理解する。
2）地域における成人高齢者のヘルスニーズに対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。
3）地域における女性のライフサイクル別ヘルスニーズに対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。
4）地域における乳幼児のヘルスニーズや障害児に対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム	田沼 寮子
2	4/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(妊産婦への保健看護活動)	田沼 寮子
3	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者の保健福祉施策と保健医療福祉システム	新井 久美子
4	4/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開（健康診査，健康相談，健康教育）	山口 忍
5	4/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者の保健活動)	佐々木 明子
6	4/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	災害時・健康危機管理時の保健活動の展開	津田 紫緒
7	5/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	田沼 寮子
8	5/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	八丈町における保健活動の展開	丸山 あかね
9	5/18	14:40-16:10	保健衛生	地域保健看護学Ⅲ	地域における心の健康づくりに関	山崎 恭子

			学科講義室4		する保健活動	
10	5/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核, 感染症, エイズに対する保健活動の展開)	加藤 たか子
11	5/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核, 感染症, エイズに対する保健活動の展開)	加藤 たか子
12	6/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	産業保健におけるメンタルヘルス対策	片岡 ゆみ
13	6/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	木内 恵美
14	6/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診, 相談, 学級)	田沼 寮子
15	6/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	田沼 寮子

成績評価の方法

定期試験, レポート

準備学習などについての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編,:中央法規出版, 2012

厚生の指標 増刊 国民衛生の動向 2014/2015 版、厚生統計協会編、厚生労働統計協会、2014

参考書

最新保健学講座:メヂカルフレンド社, 2011

最新保健学講座:メヂカルフレンド社, 2011

地域看護学／福島道子 著,:オーム社, 2007

標準保健師講座:医学書院, 2009

災害看護学／辺見弘 監修,小井土雄一, 山西文子 編,:メヂカルフレンド社, 2013

最新保健学講座:メヂカルフレンド社, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集,:日本看護協会出版会, 2013

公衆衛生学／小野寺伸夫 編,:メヂカルフレンド社, 2013

参考書 9.地域看護とヘルスプロモーション、第 4 巻 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

参考書 10.続・地域看護とヘルスプロモーション、第 1 巻 公衆衛生看護活動における健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013

他科目との関連

地域保健看護学Ⅰ・Ⅱを基盤としている。また, 成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 保健統計学, 関連法規, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。

履修上の注意事項

関連の科目を十分復習してのぞむこと。

時間割番号	012078				
科目名	地域保健看護学演習				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：Seminar of Community Health Nursing

【科目責任者】：佐々木明子

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

地域保健看護学で学んだ知識を活用し，地域保健看護活動の具体的な手法である地区診断と健康教育について学ぶ。地域特性の把握，地域のヘルスニーズのアセスメント，計画の立案，活動の展開方法，評価に必要な知識と技術を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1）地域の人々の生活，地域保健システム，地域の社会資源など地域特性について理解する。

2）地区診断の目的と展開方法，評価方法を学ぶ。

3）健康相談活動の目的・技法を理解する。

4）地区組織活動の目的・展開方法を理解する。

5）家庭訪問の実施方法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	わが国の地域保健看護活動，展開の指針	佐々木 明子，津田 紫緒，池田 絹代
2	4/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域診断の目的，展開方法	佐々木 明子，津田 紫緒，池田 絹代
3	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域診断の展開方法と評価	新井 久美子
4	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
5	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
6	4/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域診断の展開方法と評価演習	佐々木 明子，津田 紫緒，池田 絹代
7	4/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学演習	地域看護学実習Ⅰオリエンテーション　地区診断演習1	佐々木 明子，森田 久美子，津田 紫緒，池田 絹代
8	5/14	13:00-14:30	保健衛生学研究科大学院講	地域保健看護学演習	健康相談の目的、方法	佐々木 明子，津田 紫緒，池田 絹代

			義室 1, 看護学実習室 2				
9	5/14	14:40-16:10	保健衛生学研究科大学院講義室 1, 看護学実習室 2	地域保健看護学演習	新生児訪問演習	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
10	6/16	13:00-14:30		地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	佐々木 明子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
11	6/16	14:40-16:10		地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	佐々木 明子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
12	6/25	13:00-14:30	保健衛生学研究科大学院講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 2 まとめ・グループワーク	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
13	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習 2 まとめ・グループワーク	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
14	7/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断・学校保健活動・産業保健活動発表会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
15	7/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断・学校保健活動・産業保健活動発表会	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

成績評価の方法

レポート, プレゼンテーション

準備学習などについての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編.:中央法規出版, 2012

参考書

コミュニティアズパートナー : 地域看護学の理論と実際／エリザベス・T.アンダーソン, ジュディス・マクファーレイン 編,金川克子, 早川和生 監訳.:医学書院, 2007

最新保健学講座:メヂカルフレンド社, 2011

地域看護診断／金川克子, 田高悦子 編.:東京大学出版会, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集.:日本看護協会出版会, 2013

参考書5.Community As Partner : Theory And Practice in Nursing (Sixth Edition)、Elizabeth T. Anderson著、Lippincott Williams & Wilkins、2010、ISBN: 9781605478555

参考書 6.最新保健学講座 別巻 1 健康教育論、宮坂忠夫編、メヂカルフレンド社、2013、ISBN: 9784839221782

参考書 7.地域看護とヘルスプロモーション 第 2 巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術、錦織正子他監修、丸善出版株式会社、2007

参考書8.続・地域看護とヘルスプロモーション　第2巻　公衆衛生看護学活動における健康相談、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013
参考書9.続・地域看護とヘルスプロモーション　第3巻　公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014
参考書 10.続・地域看護とヘルスプロモーション　第 4 巻　公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

他科目との関連

地域保健看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また，この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み，発表や討議を通して，学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

時間割番号	012079				
科目名	地域保健看護学実習				
担当教員					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	3

英文名:Practice of Community Health Nursing

【科目責任者】:佐々木明子

授業の目的、概要等

【実習Ⅰ・地区診断】

地域保健活動を行う保健福祉機関，学校，事業場の位置づけ，機能を学ぶ。地域の人々の健康状態や生活状況を理解し，地域看護診断を行う。

【実習Ⅱ・保健所・保健センター】

地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また，地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し，家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また，地域保健における看護管理の機能について理解する。

さらに，地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し，地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。

【実習Ⅱ・学校】

学校教育における保健活動の目的と保健教育，保健管理および養護教諭の活動について，具体的に学ぶ。

学校保健と地域保健の関係と，看護専門職としての役割について理解を深める。

【実習Ⅱ・産業】

企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について，具体的に学ぶ。

産業保健と地域保健の連携と，看護専門職としての役割について理解を深める。

授業の到達目標(SBOs)

【実習Ⅰ・地区診断】

1)既存の資料の分析と地区踏査からの地域アセスメントを行う。

2)地区診断を行い，その地区の健康課題を把握する。

3)地域の保健福祉機関，学校保健，産業保健の主な機能，概要を知る。

4)地域の保健福祉機関，学校保健，産業保健で活動する保健師等の看護職者の所属する組織と役割を理解する。

【実習Ⅱ・保健所・保健センター】

1)地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。

2)保健所・保健総合センターの保健師の役割を理解する。

3)地域アセスメントをもとに，地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。

4)個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。

5)健康教育の実施の方法を理解する。

6) 住民のニーズに応じた関係機関，他職種との連携・チームワークの方法を理解する。

7) 地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。

8)地域保健における看護管理の機能について理解する。

【実習Ⅱ・学校】

1)学校教育における保健活動の体系と活動の実際について，理解を深める。

2)養護教諭の活動について，理解を深める。

3)地域との連携について学ぶ。

【実習Ⅱ・産業】

1)企業における保健活動の体系と活動の実際について，理解を深める。

2)産業保健師の活動について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/21	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
2	5/21	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
3	5/21	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
4	5/21	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
5	5/28	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
6	5/28	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
7	5/28	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
8	5/28	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
9	6/4	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
10	6/4	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
11	6/4	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子,

						津田 紫緒, 池田 絹代
12	6/4	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
13	6/11	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
14	6/11	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
15	6/11	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
16	6/11	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
17	9/24	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
18	9/24	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
19	9/24	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
20	9/24	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
21	9/24	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
22	9/25	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
23	9/25	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒,

						池田 絹代	
24	9/25	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
25	9/25	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
26	9/25	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
27	9/28	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
28	9/28	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
29	9/28	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
30	9/28	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
31	9/28	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
32	9/29	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
33	9/29	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
34	9/29	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
35	9/29	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

36	9/29	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
37	10/1	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
38	10/1	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
39	10/1	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
40	10/1	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
41	10/1	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
42	10/2	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
43	10/2	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
44	10/2	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
45	10/2	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
46	10/2	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
47	10/5	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
48	10/5	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ	佐々木 明子,	

					いては実習要項参照	森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
49	10/5	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
50	10/5	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
51	10/5	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
52	10/6	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
53	10/6	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
54	10/6	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
55	10/6	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
56	10/6	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
57	10/8	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
58	10/8	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
59	10/8	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
60	10/8	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子,	

						津田 紫緒, 池田 絹代
61	10/8	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
62	10/9	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
63	10/9	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
64	10/9	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
65	10/9	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
66	10/9	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
67	10/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
68	10/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
69	10/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
70	10/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
71	10/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
72	10/15	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒,

						池田 絹代	
73	10/15	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
74	10/15	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
75	10/15	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
76	10/15	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
77	10/16	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
78	10/16	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
79	10/16	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
80	10/16	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
81	10/16	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
82	10/19	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
83	10/19	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
84	10/19	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

85	10/19	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
86	10/19	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
87	10/20	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
88	10/20	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
89	10/20	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
90	10/20	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
91	10/20	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
92	10/22	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
93	10/22	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
94	10/22	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
95	10/22	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
96	10/22	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
97	10/23	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ	佐々木 明子,	

					いては実習要項参照	森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
98	10/23	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
99	10/23	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
100	10/23	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
101	10/23	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
102	10/26	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
103	10/26	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
104	10/26	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
105	10/26	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
106	10/26	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
107	10/27	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
108	10/27	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
109	10/27	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子,	

						津田 紫緒, 池田 絹代
110	10/27	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
111	10/27	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
112	10/29	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
113	10/29	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
114	10/29	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
115	10/29	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
116	10/29	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
117	10/30	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
118	10/30	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
119	10/30	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
120	10/30	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
121	10/30	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒,

						池田 絹代	
122	11/2	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
123	11/2	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
124	11/2	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
125	11/2	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
126	11/2	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
127	11/5	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
128	11/5	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
129	11/5	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
130	11/5	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
131	11/5	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
132	11/6	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
133	11/6	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

134	11/6	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
135	11/6	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
136	11/6	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
137	11/9	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
138	11/9	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
139	11/9	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
140	11/9	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
141	11/9	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
142	11/10	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
143	11/10	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
144	11/10	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
145	11/10	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
146	11/10	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ	佐々木 明子,	

					いては実習要項参照	森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
147	11/12	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
148	11/12	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
149	11/12	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
150	11/12	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
151	11/12	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
152	11/13	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
153	11/13	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
154	11/13	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
155	11/13	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
156	11/13	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
157	11/16	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
158	11/16	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細につ いては実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子,	

						津田 紫緒, 池田 絹代
159	11/16	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
160	11/16	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
161	11/16	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
162	11/17	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
163	11/17	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
164	11/17	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
165	11/17	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
166	11/17	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
167	11/19	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
168	11/19	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
169	11/19	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代
170	11/19	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒,

						池田 絹代	
171	11/19	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
172	11/20	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
173	11/20	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
174	11/20	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
175	11/20	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
176	11/20	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
177	11/24	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
178	11/24	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
179	11/24	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
180	11/24	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
181	11/24	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
182	11/26	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

183	11/26	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
184	11/26	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
185	11/26	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
186	11/26	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
187	11/27	08:50-10:20		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
188	11/27	10:30-12:00		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
189	11/27	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
190	11/27	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	
191	11/27	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒, 池田 絹代	

授業内容

詳細については実習要項参照

準備学習などについての具体的な指示

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

時間割番号	012067				
科目名	緩和ケア看護学				
担当教員	山﨑　智子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名：palliative　Care

【科目責任者】山﨑　智子

主な講義場所

保健衛生学講義室1（3号館18階）

授業の目的、概要等

自宅における終末期療養を中心に、緩和ケア、および在宅ホスピスの理論と実践を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1)在宅ホスピスを中心に、終末期にある人々と家族の特徴を理解し、QOL の向上を目指した看護についてその理論と実際を理解する。
2)要介護高齢者、難病患者、およびがん患者における自宅での症状コントロールや療養の体制作りについて理解し、見取りおよびその後の療養者家族に対する看護を理解する。
3)緩和ケアやチーム医療について理解し、在宅ホスピスにおける医学的管理の実際について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	意思決定支援と倫理	本田　彰子
2	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	意思決定支援と倫理	本田　彰子
3	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスー訪問看護の実際ー	蛭田　みどり
4	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスー訪問看護の実際ー	蛭田　みどり
5	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	緩和ケアと家族ケア	山﨑　智子
6	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	グリーフケア	山﨑　智子
7	5/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスにおける医学的管理	平原　佐斗司
8	5/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスにおける医学的管理	平原　佐斗司

成績評価の方法

出席、およびレポート

レポート提出は7月3日（金）17:00　教務課とする。

準備学習などについての具体的な指示

がん、がん看護、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍（手記・概説・実践報告等）を検索し、もっとも関心のある本少なくとも 1 冊は熟読して置くこと。

参考書

絵でみるターミナルケア ： 人生の最期を生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修,浅野美知恵 編：学習研究社, 2006

講義の際必要な文献および参考書を提示する。

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・老人看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

レポート作成につながるよう、受講前より緩和ケア、終末期ケア等に関連する文献 1 編以上を検索し、授業の参考にすること。

連絡先

tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

時間割番号	012068				
科目名	看護の統合と実践Ⅱ				
担当教員	深堀　浩樹				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2

英文名：Integration of acquaintance for Nursing PracticeⅡ

【科目責任者】深堀浩樹

主な講義場所

保健衛生学講義室4（3号館7階）

授業の目的、概要等

急速な少子高齢化の進展・医療技術の進歩など我が国の看護を取り巻く環境が大きく変化する中で、患者の視点に立った質の高い看護・医療サービスを提供することができる看護職となるために、3 年時までに学習した知識・技術を統合的に理解し臨床実践において活用していく上で必要となる基礎的な能力を習得することを目的とする。

具体的には、看護・医療が提供される場である保健・医療・福祉組織において看護職が他職種との協働のなかで発揮しているリーダーシップ、保健・医療・福祉組織における看護マネジメント（医療安全管理・看護倫理を含む）の実際および関連する知識について学ぶ。さらに、看護・医療を取り巻く社会環境として看護・医療に関する制度・政策を理解するとともにこれらの制度とわが国の経済状況の関連を理解し、社会において看護職に求められている役割に対する理解を深める。

上記の理解に基づき、変わりゆく社会の中で自律した看護職・個人として継続して成長していく必要性を認識する。

授業の到達目標(SBOs)

1） 自律した看護職として生涯学習の必要性を認識する。

2） 看護・医療に関する制度・政策および制度・政策とわが国の経済状況との関連を理解する。

3） 保健・医療・福祉組織において看護職が発揮しているリーダーシップと看護マネジメントの実際と関連する知識について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/13	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職のキャリアデザインと生涯学習	深堀　浩樹
2	4/20	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	日本の看護職を取り巻く環境（医療保険制度と診療報酬制度）	深堀　浩樹
3	4/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	財政と医療：経済学の視点	佐藤　主光
4	5/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職に役立つ経営学の知識・経営指標	井出　恵伊子
5	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践Ⅱ	看護の質保証と Evidence Based Practice	友滝　愛
6	5/25	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	医療と経営	森山　葉子
7	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践Ⅱ	リーダーシップとマネジメントの理論と実際（勤務帯リーダー・看護師長・看護部長の役割とスタッフナー	深堀　浩樹

					スとの連携)	
8	6/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護師の継続教育	大山 裕美子
9	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践Ⅱ	看護職の起業	中 友美
10	6/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護と制度・政策・経済	深堀 浩樹
11	6/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護倫理	水澤 久恵
12	6/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職の労働環境・医療安全管理	深堀 浩樹
13	6/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	医療安全管理の実際	深堀 浩樹
14	6/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	ミドルマネジメント(看護師長の役割)の実際	深堀 浩樹
15	6/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅱ	トップマネジメント(看護部長の役割)の実際	深堀 浩樹

授業内容

日時・内容は変更する場合があるので、掲示に注意。

成績評価の方法

出席(60%)およびレポート(40%)にて評価する(レポート課題は講義最終日までに掲示する)。

準備学習などについての具体的な指示

自己学習として、看護・医療に関する制度・政策に関するニュース等の情報収集を積極的に行うこと。また、授業の進行と合わせて、3 年次までに接した臨床の看護職がどのような場でどのようにリーダーシップを発揮して、マネジメントを行っていたかを振り返り、学習した内容を過去の学習内容と結び付けて理解すること。

教科書

授業資料の作成に用いた書籍・資料はその都度、提示する。

他科目との関連

既習の看護の専門科目および看護の統合と実践実習および保健医療福祉制度論との関連が深い。

連絡先

hfukahori.kanr@tmd.ac.jp 3号館 15F

オフィスアワー

毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3 号館 15 階 看護システムマネジメント学分野 教員室

事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	012069				
科目名	看護の統合と実践実習Ⅰ				
担当教員	深堀 浩樹, 近藤 暁子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2

英文名:Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice

【科目責任者】深堀 浩樹

授業の目的、概要等

臨床現場における看護管理者の役割や必要とされる能力、外来や検査部門における看護職の役割について学ぶとともに、多職種との協働および医療安全の確保のために看護職が果たすべき役割について理解する。また、災害発生時において看護職が多職種と協働して行う支援の際に必要となる基礎的事項について理解する。

上記を通して病院機能全体における看護職の果たす役割を理解すると共に、看護職の幅広い臨床実践の中で必要な基礎的知識と技術を総合的に体験し、看護実践能力を高める。

(なお、看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱは単位認定上別の科目となっているが、実際には同一の内容をさすため、シラバス上同一の内容が記載されていることに留意。)

授業の到達目標(SBOs)

1. 看護管理者(看護師長・リーダー)が行っている実際のマネジメント、調整・相談等の場面を知り、看護管理者の役割や必要な能力について理解する。
2. 看護職の夜勤帯における看護業務や、昼夜を通して継続して行われる看護の流れを知るとともに、交替制勤務における自己の健康管理について考察する。
3. 外来や中央診療部門における看護職の看護実践の実際や必要とされる能力、および多職種との連携について学ぶ。
4. 医療安全の確保のための看護職の役割について学ぶ。
5. 災害看護に関する基礎的事項と多職種連携について学ぶ。
6. 他学科と合同で行う演習により多職種連携のあり方について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	5/7	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	チーム医療入門	深堀 浩樹
6-10	5/8	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	チーム医療入門	深堀 浩樹
11	7/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習オリエンテーション	深堀 浩樹
12-16	7/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	病棟オリエンテーション・中央診療部門講義	深堀 浩樹
17-21	7/13	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
22-26	7/14	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
27-31	7/15	08:50-17:50		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外	深堀 浩樹

				Ⅰ・Ⅱ	来看護実習)・課題学習日のいずれか	
32-36	7/16	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
37-41	7/17	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日	深堀 浩樹
42-46	7/21	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	演習(医療安全演習・災害看護演習)	深堀 浩樹
47-51	7/22	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	演習(医療安全演習・災害看護演習)	深堀 浩樹
52-56	7/23	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
57-61	7/24	08:50-17:50		看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
62-66	7/27	08:50-17:50	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践実習Ⅰ・Ⅱ	まとめの会	深堀 浩樹

授業内容

1. チーム医療入門
   1)他学部・他学科学生と合同で開催される多職種協働に関する講義・演習等により、多職種協働における看護職の役割について学ぶ(他の実習とは別日程で実施する(5 月))。

2. 看護管理実習
   1) 看護師長・リーダーからのオリエンテーションより病棟の看護業務の特徴について理解する
   2) リーダーの業務をシャドウイングする。
   3) 看護師長・リーダーからのヒアリングや病棟の各種資料を参考に、病棟の方針・目標、人員配置の状況、課題、年間計画等を把握する。

3. 夜勤実習
   1) 夜勤看護師のシャドウイングから、夜間における看護実践の実際について学ぶ。
   2) 夜勤実習の経験を通して、夜勤における体調の管理方法について考察する。

4. 外来看護実習・中央診療部門講義
   1) 外来・中央診療部門での看護師のシャドウイングにより専門外来における看護実践の実際について学ぶ。
   2) 中央診療部門の方による講義から中央診療部門における他職種と看護師との連携について学ぶ。

5. 医療安全演習
   1)医療安全を確保し、安全な医療・看護を提供するための看護職の役割が理解できる。

6.災害看護演習
   1) 災害看護に関する講義・演習により、災害看護における基礎的事項と多職種との連携における看護師の役割について学ぶ。

7. 学内発表会
   1) 看護の統合と実践実習に関連したテーマについて学生各自による発表を行う。

準備学習などについての具体的な指示

本実習のために特別な準備学習は必要としない。実習にあたっての留意事項はオリエンテーション時に説明する。

備考

＊内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

＊詳細については実習要項参照のこと。

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

深堀　浩樹:hfukahori.kanr@tmd.ac.jp　3号館 15F

オフィスアワー

深堀　浩樹:毎週金曜日　AM.10:00−12:00 3 号館 15 階 看護システムマネジメント学分野 教員室

事前連絡してから訪問すること。

近藤　暁子:オフィスアワー:

時間割番号	012063				
科目名	看護の統合と実践実習Ⅱ				
担当教員	深堀 浩樹, 近藤 暁子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

英文名:Clinical Practice of Adult Health Nursing Ⅱ

【科目責任者】深堀浩樹

授業の目的、概要等

臨床現場における看護管理者の役割や必要とされる能力、外来や検査部門における看護職の役割について学ぶとともに、多職種との協働および医療安全の確保のために看護職が果たすべき役割について理解する。また、災害発生時において看護職が多職種と協働して行う支援の際に必要となる基礎的事項について理解する。

上記を通して病院機能全体における看護職の果たす役割を理解すると共に、看護職の幅広い臨床実践の中で必要な基礎的知識と技術を総合的に体験し、看護実践能力を高める。

(なお、看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱは単位認定上別の科目となっているが、実際には同一の内容をさすため、シラバス上同一の内容が記載されていることに留意。)

授業の到達目標(SBOs)

1. 看護管理者(看護師長・リーダー)が行っている実際のマネジメント、調整・相談等の場面を知り、看護管理者の役割や必要な能力について理解する。
2. 看護職の夜勤帯における看護業務や、昼夜を通して継続して行われる看護の流れを知るとともに、交替制勤務における自己の健康管理について考察する。
3. 外来や中央診療部門における看護職の看護実践の実際や必要とされる能力、および多職種との連携について学ぶ。
4. 医療安全の確保のための看護職の役割について学ぶ。
5. 災害看護に関する基礎的事項と多職種連携について学ぶ。
6. 他学科と合同で行う演習により多職種連携のあり方について学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	5/7	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	チーム医療入門	深堀 浩樹
6-10	5/8	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	チーム医療入門	深堀 浩樹
11	7/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習オリエンテーション	深堀 浩樹
12-16	7/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1	看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	病棟オリエンテーション	深堀 浩樹
17-21	7/13	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
22-26	7/14	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
27-31	7/15	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹

32-36	7/16	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
37-41	7/17	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
42-46	7/21	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	演習(医療安全演習・災害看護演習)	深堀 浩樹
47-51	7/22	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	演習(医療安全演習・災害看護演習)	深堀 浩樹
52-56	7/23	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
57-61	7/24	08:50-17:50		看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・課題学習日のいずれか	深堀 浩樹
62-66	7/27	08:50-17:50	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ	まとめの会	深堀 浩樹

授業内容

1. チーム医療入門
   1)他学部・他学科学生と合同で開催される多職種協働に関する講義・演習等により、多職種協働における看護職の役割について学ぶ(他の実習とは別日程で実施する(5 月))。

2. 看護管理実習
   1) 看護師長・リーダーからのオリエンテーションより病棟の看護業務の特徴について理解する
   2) リーダーの業務をシャドウイングする。
   3) 看護師長・リーダーからのヒアリングや病棟の各種資料を参考に、病棟の方針・目標、人員配置の状況、課題、年間計画等を把握する。

3. 夜勤実習
   1) 夜勤看護師のシャドウイングから、夜間における看護実践の実際について学ぶ。
   2) 夜勤実習の経験を通して、夜勤における体調の管理方法について考察する。

4. 外来看護実習・中央診療部門講義
   1) 外来・中央診療部門での看護師のシャドウイングにより専門外来における看護実践の実際について学ぶ。
   2) 中央診療部門の方による講義から中央診療部門における他職種と看護師との連携について学ぶ。

5. 医療安全演習
   1)医療安全を確保し、安全な医療・看護を提供するための看護職の役割が理解できる。

6.災害看護演習
   1) 災害看護に関する講義・演習により、災害看護における基礎的事項と多職種との連携における看護師の役割について学ぶ。

7. 学内発表会
   1) 看護の統合と実践実習に関連したテーマについて学生各自による発表を行う。

準備学習などについての具体的な指示

本実習のために特別な準備学習は必要としない。実習にあたっての留意事項はオリエンテーション時に説明する。

備考

＊内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

＊詳細については実習要項参照のこと。

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

深堀　浩樹:hfukahori.kanr@tmd.ac.jp　3号館 15F

オフィスアワー

深堀　浩樹:毎週金曜日　AM.10:00-12:00 3 号館 15 階 看護システムマネジメント学分野 教員室

事前連絡してから訪問すること。

近藤　暁子:オフィスアワー:

学生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

学生への全ての告示，通知，連絡（試験関係，休講，講義室変更，奨学金関係，健康診断，授業料の納付，呼び出し等）は，Web Class（電子掲示板）により行いますので，見落としがないよう十分注意して下さい。

逐次，新しい掲示をするのでたえず注意し，1日に一回は確認し，不利益を被らないよう心がけて下さい。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは，緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので，各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は，本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので，紛失・破損等のないよう大切に取り扱って下さい。

また，定期試験受験時，通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう，常に携帯するようにして下さい。

（1） 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は，速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て，再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

（2） 返却

卒業，退学，除籍，又は有効期間が経過した場合は，速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は，保健衛生教務掛にて発行するものと，自動発行機にて発行するものがあります。

（1） **保健衛生教務掛（受付時間：8：30～17：15）**

次に掲げるものは，保健衛生教務掛で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。（交付は，原則として，提出のあった日の翌日の午後となります。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書（交付に1週間程度要します。）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は，住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し，直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は，実習用定期の発行が可能な為，必要が生じた者は，保健衛生教務掛に申し出てください。

なお，鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。（例：4月から必要な場合は，2月中に手続きをとること。）

※その他：上記以外の証明書等については，個々に保健衛生教務掛に相談して下さい。

（2） **自動発行機（利用時間：月～金　8:30～21:00）**

在学証明書・卒業見込み証明書（第4学年在籍者のみ）は，学生談話室（5号館4階）に設置されている[自動発行機]にて発行します。

（問い合わせ先）学務企画課企画調査掛（03-5803-5074）

5 学生旅客運賃割引証（学割証）

（1） 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合，乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引（2割）を受けることができるものです。

この制度は，修学上の経済的負担を軽減し，学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので，計画的に使用すること。（年間使用限度：10枚／人）

（2） 次に掲げる行為があったときは，普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく，本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので，乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき

②名義人が乗車券を購入し，これを他人に使用させたとき

③使用有効期間を経過したものを使用したとき

（3） 学割証は，学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：8:30～21:00）

（問い合わせ先）学生支援課学生支援総括掛（03-5803-5077）

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は，速やかに保健衛生教務掛に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合，大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学，復学，退学，欠席

（1） 休学

病気その他の事由により，引き続き3ヶ月以上休学する場合又は休学期間を延長する場合は，「休学願」を保健衛生教務掛に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気の場合は，医師の診断書を添付して下さい。）

また，休学期間を延長する場合についても，休学する場合と同様に「休学期間延長願」により学長の許可が必要となります。

なお，休学（延長を含む。）するにあたっては，事前に「**学年担当教員**」又は「**グループ担当教員**」と面談し，**休学事由**及び**休学によって生じる修学上の諸問題**等について十分相談して下さい。

また，休学を許可される期間は，**在学期間内通算して2年を超えることができません**。（特別の事情があると学長が認めたときは，更に1年以内の休学を許可することがありますので，事前に保健衛生教務掛に相談してください。）

（2） 復学

休学している学生が，休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は，復学願（保証人連著）を保健衛生教務掛に提出し，学長の許可を受けて下さい。（病気を事由に休学した場合は，医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。）

（3） 退学

病気その他の事由により，学業を継続することが困難となり，退学しようとする場合は，退学願（保証人連著）を保健衛生教務掛に提出し，学長の許可を受けて下さい。

なお，退学するにあたっては，事前に学年担当教員，グループ担当教員と面談し，退学事由等について十分相談して下さい。

（4） 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する（した）場合は，欠席届を保健衛生教務掛に提出して下さい。（病気の場合は，「診断書」、忌引きの場合は「会葬状」を添付して下さい。）

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は，同じロッカーを使用)を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているので，貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また，各人の責による備品等の破損については，各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事，課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。
(詳細は「学生生活の手引」参照)
なお，**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は，職員健康管理室安全衛生掛(1号館：03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後，保健衛生教務掛に事故報告書を提出して下さい。
ただし，他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。
・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ，サークル等宛の郵便物等は，学生支援課の窓口で保管していますので，責任者は適宜確認して下さい。なお，個人宛の郵便物等は，特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。
(2) 事務上の窓口
① 教務事務・・・・・・医学部保健衛生教務掛(3号館6階：03-5803-5119)
② 授業料の納入・・・・・・・財務施設部財務企画課収入管理掛(1号館西3階：03-5803-5042)
③ 奨学金・授業料免除・・・・学生支援・保健管理機構　学生支援課(5号館3階：03-5803-5077)
④ 針刺し事故・・・・・・・・・・・職員健康管理室安全衛生掛(5号館3階：03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

〇台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。
・夜間（午後６時以降）の授業を休講、夜間（午後６時以降）の試験を延期とする場合は、午後４時までに公示する。

〇首都圏における交通機関(JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前６時３０分までに公示する。
・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前１０時までに公示する。
・夜間（午後６時以降）の授業を休講、夜間（午後６時以降）の試験を延期とする場合は、午後４時までに公示する。

URL　http://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/index.html

《参 考》

諸　様　式

１　証明書交付願（自動発行機にて発行しているものを除く。）
　証明書は，原則として請求日の翌日の午後以降発行する。（英文によるものを除く。）

２　住所・本籍地変更届
　変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本）

３　改姓届（戸籍抄本添付）

４　保証人変更届

５　学生証紛失届・再交付願

６　紛失届
　講義室，実習室，ロッカー室内での紛失物に関する届出

７　授業欠席届（病気の場合は「診断書」，忌引きの場合は「会葬状」添付）
　病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出

８　再試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
　定期試験不合格者は，原則再試験実施日の7日前までに教務課に提出

９　再試験欠席届
　病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出

10　追試験申請書（未提出者は，権利を喪失するので必ず提出すること。）
　病気，他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は，原則当該定期試験終了後5日以内に教務課に提出

11　休学願
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

12　休学期間延長願
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は，教育委員長の面談で可）

13　復学願
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

14　退学願
　グループ担当教員又は学年担当教員の面談後，専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
　（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

証　明　書　交　付　願

平成　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年
□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）
□　医学部医学科専攻生（　　講座）
□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名
（Name）

生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日生
（Date of Birth）

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。
（If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.）

記

証明書の種類	枚　数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1．**成績証明書**			（請求理由）
2．**卒業見込証明書** （M6・N4・MT4のみ発行）			
3．**在学証明書** （英文及び専攻生のみ）			（提出先）
4．**在学期間証明** （専攻生のみ）			
5．**終了証明書** （専攻生のみ）			
6．			
7．			（備考）

注）1．「※証明書番号」欄は記入しないこと。
　　2．**英文証明書を依頼する場合は，氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。**

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

住 所 ・ 本 籍 地 変 更 届

平成　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年
□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）
□　医学部医学科専攻生（　　講座）
□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変　更　者	□本　人　　□保　証　人
□ 住　　所	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□ 本 籍 地	

注）変更該当個所の□をチェックしてください。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学 籍 簿	台　　帳	名　　簿

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

改　　姓　　届

平成　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）

□　医学部医学科専攻生（　　講座）

□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(ﾌﾘｶﾞﾅ) 旧　　姓		(ﾌﾘｶﾞﾅ) 新　　姓	
（改姓理由）			

注）戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務ｼｽﾃﾑ	債権変更	学 籍 簿	台　　帳	名　　簿

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

保　証　人　変　更　届

平成　　年　　月　　日

東京医科歯科大学医学部長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）

□　医学部医学科専攻生（　　講座）

□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名　　印

このたび，下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(ﾌﾘｶﾞﾅ) 氏　　名	印 年　　月　　日生	学生との関係	
		職　　業	
		本　籍　地	
住　　所	〒 □□□－□□□□　　TEL.		

注）氏名欄に押印してください。

債権変更	学　籍　簿

平成　　年　　月　　日

保証人（住所）変更届出

経理責任者
国立大学法人　東京医科歯科大学財務施設部長　殿

平成＿＿＿年度入学　第＿＿＿学年

学　　部　　学　科
研　究　科
附属学校名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　専攻名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学籍番号　第＿＿＿＿＿＿＿＿号

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

□連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変更前	

変更後	〒　　－ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL ＿＿＿＿（　　）＿＿＿＿

□連帯保証人を変更しましたのでお届けします。

変更前	

変更後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ 氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印 （学生との関係：　　） 住　所　〒　　－ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL ＿＿＿＿（　　）＿＿＿＿

（該当する項目の□に、∨してください。）

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

学 生 証 紛 失 届 ・ 再 交 付 願

平成　　年　　月　　日

東京医科歯科大学　長

□　医学部医学科　第　　学年
□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）
□　医学部医学科専攻生（　　講座）
□　医学部保健衛生学科専攻生
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日生

下記のとおり，学生証を紛失いたしましたので再交付方よろしくお願いいたします。
今後は，取り扱いに十分注意いたします。
なお，紛失した学生証を発見したときは，直ちに返納いたします。

記

１．日　　時　：　平成　　年　　月　　日　　時　　分頃

２．場　　所　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．紛失したときの状況（具体的に記入すること。）

※　過去の学生証発行状況（事務記入欄）
再交付１回目　：　平成　　年　　月　　日
再交付２回目　：　平成　　年　　月　　日
再交付３回目　：　平成　　年　　月　　日

注）専攻生は，写真（３×４cm）１枚を添付すること。

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

紛　　失　　届

平成　　年　　月　　日

医 学 部 長　 殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
(　　学専攻)

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり，紛失しましたのでお届けいたします。

記

1．紛 失 日 時　：　平成　　年　　月　　日　　時　　分頃

2．紛 失 場 所　：

3．紛　失　物　：

4．連　絡　先

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

授　業　欠　席　届

平成　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり，授業を　欠席します／欠席しました　のでお届けいたします。

記

１．欠席期間　　自　平成　　年　　月　　日

至　平成　　年　　月　　日

２．欠席理由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

再　試　験　申　請　書

平成　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記科目について，再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教官名	申請科目名	担当教官名
1．		6．	
2．		7．	
3．		8．	
4．		9．	
5．		10.	

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

再　試　験　欠　席　届

平成　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
(　　学専攻)

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

1．試験科目名　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教官名：　　）

平成　　年　　月　　日施行

2．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

医学部長	事務部長	次　　長	課　　長	課長補佐	掛　　長	掛　　員
専	専	専				

追　試　験　申　請　書

平成　　年　　月　　日

医　学　部　長　　殿

□　医学部医学科　第　　学年

□　医学部保健衛生学科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり定期試験を欠席しましたので，追試験を施行してくださいますようお願いいたします。

記

1．試験科目名　：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（教官名：　　）

平成　　年　　月　　日施行

2．欠 席 理 由（病気による場合は，医師の診断書を添付すること。）

休　　学　　願

平成　　年　　月　　日

教授認印

東京医科歯科大学長　　殿

医学部　　科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

(ﾌﾘｶﾞﾅ)
本 人 氏 名　　印

保証人氏 名　　印

下記のとおり休学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1．休学理由　□病気・怪我　□経済的理由　□出産・育児・介護　□その他（　　）

2．休学期間　　自　平成　　年　　月　　日
　　至　平成　　年　　月　　日　　（　　ヶ月）

3．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
保 証 人	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿

注）1．休学理由は，できるだけ具体的に記入してください。
　　2．休学理由が，病気を理由とする場合は，医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休 学 期 間 延 長 願

平成　　年　　月　　日

教授認印

東京医科歯科大学長　　殿

医学部　　科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

(ﾌﾘｶﾞﾅ)
本 人 氏 名　　印

保証人氏 名　　印

下記のとおり休学期間を延長したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学期間延長理由

２．休学延長期間

平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日までのところ
平成　　年　　月　　日 ～ 平成　　年　　月　　日まで延長（　　ヶ月）

３．休学中の連絡先

本　　人	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿
保 証 人	〒 □□□－□□□□　　TEL. ＿＿＿＿＿＿＿＿

注）１．休学理由は，できるだけ具体的に記入してください。
２．休学理由が，病気を理由とする場合は，医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復　　学　　願

平成　　年　　月　　日

教授認印

東京医科歯科大学長　　殿

医学部　　科　第　　学年
（　　学専攻）

学籍番号 | | | | | | | | |

(ﾌﾘｶﾞﾅ)
本 人 氏 名　　印

保証人氏 名　　印

下記のとおり休学しておりましたが，平成　　年　　月　　日付けで復学したいので，
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

１．休学理由

２．休学許可期間　　自　平成　　年　　月　　日
至　平成　　年　　月　　日

注）病気を理由として休学した場合は，医師の診断書を添付してください。

退　　学　　願

平成　　年　　月　　日

教授認印

東京医科歯科大学長　　殿

医学部　　科　第　　学年
（　　学専攻）

医学部　　科　専攻生
（昭和・平成）　　年　　月入学
（　　学専攻）

学籍番号 □□□□□□□□

(ﾌﾘｶﾞﾅ)
本 人 氏 名　　印

保証人氏 名　　印

下記のとおり退学したいので，ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1．退学理由

2．退 学 日　　平成　　年　　月　　日付け

注）退学理由は，できるだけ具体的に記入してください。

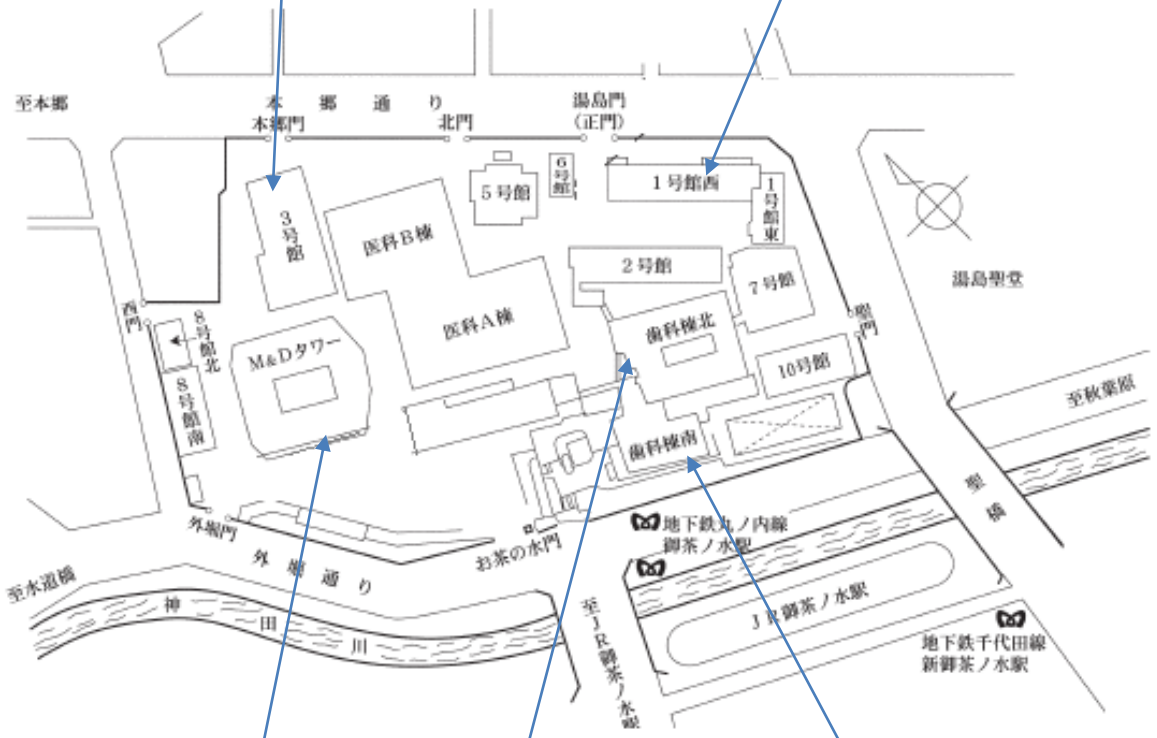
財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覧

講義室等一覧

３号館
保健衛生学講義室１（１８階）
保健衛生学講義室２・３（８階）
保健衛生学講義室４・５（７階）
医学部事務部保健衛生教務掛（６階）

１号館西
学務企画課（１階）
演習室１・２（６階）
ＯＨ第３講義室（７階）



防災センター横
歯学部附属病院時間外入口

M&D タワー
共用講義室１・２（２階）
情報検索室（４階）
共用セミナー室４（２２階）

歯科棟南
歯学部特別講堂（４階）

参　考

東京医科歯科大学学則

（平成１６年４月１日
規程第４号）

第１章　総則

第１条　本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

２　各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第２条　本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成１６年規程第１号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医学部　医学科
　　保健衛生学科
歯学部　歯学科
　　口腔保健学科

２　医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。

３　歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。

４　本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第３条　医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は６年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は４年とする。

第４条　学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学　部	学科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
医学部		人	人	人
	医　学　科	１０１	５（２年次編入）	６３１
	保健衛生学科			
	看護学専攻	５５		２２０
	検査技術学専攻	３５		１４０
歯学部				
	歯　学　科	５３		３１８
	口腔保健学科			
	口腔保健衛生学専攻	２２	６（３年次編入）	１００
	口腔保健工学専攻	１０	５（２年次編入）	５５

第２章　授業科目

第５条　削除

第６条　本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

２　全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
３　全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
４　専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第３章　学年、学期及び休業日

第７条　学年は、４月１日に始り、翌年３月３１日に終る。

第８条　学年を分けて、次の学期とする。
前期　４月１日から９月３０日まで
後期　１０月１日から翌年３月３１日まで

第９条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。
⑴ 日曜日及び土曜日
⑵ 国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
⑶ 本学創立記念日　　１０月１２日
⑷ 春季休業　　４月１日から４月７日まで
⑸ 夏季休業　　７月１１日から９月１０日まで
⑹ 冬季休業　　１２月２５日から翌年１月７日まで
２　前項の規定にかかわらず学長が必要と認めたときは、休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第４章　入学、休学、転学及び退学

第１０条　入学は、学年の始めにおいてする。

第１１条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
⑴ 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
⑵ 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
⑶ 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
⑷ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑸ 文部科学大臣の指定した者
⑹ 大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
⑺ 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると、本学で認めた者

第１２条　大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第１３条　大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第１４条　医学部医学科の２年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。
⑴ 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
⑵ 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者
⑶ 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者（学校教育における１５年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第１５条　削除

第１６条　医学部保健衛生学科の２年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部に２年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第１７条　削除

第１８条　歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の３年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。
⑴ 歯科衛生士を養成する短期大学を卒業した者
⑵ 歯科衛生士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１８条の２　歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の２年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。
⑴ 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
⑵ 大学を卒業した者
⑶ 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第１９条　本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。
２　前項に規定するもののほか、第２５条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。
３　前２項に規定するもののほか、第３１条の２の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第２０条　編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第３条に規定する年限を在学したものとみなす。

第２１条　本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第２２条　入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を

行う。
２　前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第２３条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに宣誓簿に署名し、誓約書その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第４５条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあっては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。
２　学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

第２４条　学生は、病気その他の事由により引き続き３月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２５条　本学医学部医学科又は歯学部歯学科に４年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第２６条　前２条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第２７条　休学期間は、通算して２年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することがある。
２　大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第２４条の規定による休学期間及び第２５条の規定による休学期間は、第１項の規定にかかわらず、通算して３年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに１年以内の休学を許可することができる。
３　休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第２８条　学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第２９条　学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願することはできない。

第３０条　学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。
２　前項の許可を与えたときは、退学とする。

第３１条　学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い

出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第３１条の２　四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第３２条　医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は１０年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は８年を超えて在学することができない。
２　編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第３３条　学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、退学を命ずることがある。
⑴　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
⑵　その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者

第５章　履修方法及び単位等

第３４条　学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。
２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第３５条　前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部において定める。

第３６条　１単位の授業科目を、４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、１単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部において定める。
⑴　講義及び演習については、１５時間から３０時間の範囲
⑵　実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間の範囲

第３７条　本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）において修得した単位を合計３０単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第３条に定める修業年限を短縮することはできない。
２　前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第３８条　本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第６章　卒業及び学位

第３９条　卒業の認定は、第３条に定める年限を在学し、かつ、第６条第３項に定める授業科目を、医学部医学科においては２０９単位以上、歯学部歯学科においては２２０単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては１２４単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては１３５単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては１２８単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては１２６単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第４０条　前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学　部	学科・専攻	学　　位
医　学　部	医学科	学士（医　　学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看　護　学）
	検査技術学専攻	学士（保　健　学）
歯　学　部	歯学科	学士（歯　　学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第７章　検定料、入学料及び授業料

第４１条　授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第４２条　入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第４３条　授業料は、次の２期に分けて納付しなければならない。

前期　　４月中

後期　　１０月中

２　前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

３　入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第１項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。

４　第１項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第４４条　既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。

２　第４２条の規定に基づき徴収した検定料について、第１段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第２段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。

３　前条第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の３月３１日までに入学を辞退した場合には、第１項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。

４　前条第２項及び第３項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第１項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還す

る。

第４５条　本学に入学前１年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。

２　本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が　困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。

３　入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に徴収猶予の申請をすることができる。

４　前３項の取扱いについては、別に定める。

第４６条　停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第４７条　行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第４８条　死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第４９条　毎学期開始前に休学の許可を受けた者及び休学中に休学延期の許可を受けた者の休学中の授業料は免除する。ただし、各学期の中途で休学の許可を受けた者の授業料は、月割計算により休学当月の翌月から復学当月の前月までに相当する額を免除する。

２　各学期の中途で復学する者のその期の授業料は、復学当月から次の授業料徴収期の前月まで月割計算により復学の際徴収する。

第５０条　経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

２　前項の取扱いについては別に定める。

第５１条　入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかった者又は半額免除を許可された者が、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しない場合は、除籍する。ただし、第４５条第３項の規定により徴収猶予の申請をした者を除く。

２　入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかつた者が、納付すべき入学料を徴収猶予不許可を告知した日から起算して１４日以内に納付しない場合は、除籍する。

３　入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しない場合は、除籍する。

第５２条　授業料を所定の期間内に納付しない者で、督促を受け、なおかつ怠る者は学長が当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部

長への通知による。）退学を命ずる。
２　前項の督促は文書をもってするものとする。

第８章　大学院

第５３条　本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。
２　大学院の学則は、別に定める。

第９章　外国人留学生

第５４条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生については、別に定める。

第１０章　科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生

第５５条　本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
２　前項により入学した者には、第３４条の規定を準用し、単位を与える。
３　その他科目等履修生については、別に定める。

第５６条　特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生については、別に定める。

第５７条　他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。
２　特別聴講学生については、別に定める。

第１１章　懲　戒

第５８条　学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。
２　懲戒は、退学、停学、訓告とする。
３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
⑵　学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
⑶　学内の秩序を著しく乱し、その他学生の本分に著しく反した者

第１２章　寄　　宿　　舎

第５９条　本学に寄宿舎を置く。
２　寄宿舎に関する規定は、別に定める。

附　則

１　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。
２　第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成１６年度から平成１８年度までの３年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
３年次編入学定員	―	―	１０
収容定員	２５	５０	８５

３　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成１６年３月３１日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
４　この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和２７年学規第１号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附　則（平成１７年３月２３日規程第２号）

１　この学則は、平成１７年４月１日から施行する。
２　平成１７年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成１７年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成１８年３月２８日規程第１号）

１　この学則は平成１８年４月１日から施行する。
２　平成１８年３月３１日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成１８年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第３９条、別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（平成１９年３月２９日規程第３号）

１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。
２　平成１９年３月３１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成１９年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２０年１月１６日規程第１号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成２０年度から平成２２年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収容定員		
	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	２１５	２１０	２１５
検査技術学専攻	１３５	１３０	１３５
歯学部口腔保健学科	１１８	１１６	１１８

附　則（平成２０年３月２６日規程第５号）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。
２　平成２０年４月１日において現に本学に在学する者（平成１８年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び２０年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年１月８日規程第１号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。
２　この学則改正前に、本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成２１年４月１日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第２５条の２の規程を適用する
３　この学則の施行の際限に本学に４年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
４　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２１年３月１９日規程第３号）

１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２１年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
医学部医学科	４８０	４９０	５００	５１０	５２０

３　平成２１年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２１年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（１）及び別表（２）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成２１年４月１日以降に歯学部口腔保健学科に３年次編入学する者については、改正後の別表（２）の規定を適用する。

附　則（平成２１年１２月１８日規程第９号）

この規程は、平成２２年１月１日から施行する。

附　則（平成２２年３月３０日規程第３号）

１　この学則は，平成２２年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２２年度から平成２６年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収　容　定　員				
	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部医学科	５００	５２０	５４０	５６０	５８０

３　平成２２年３月３１日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２３年３月４日規程第１号）

１　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度／区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
収容定員	５２５	５５０	５７５	６００	６１５

３　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成２３年度から平成２７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度／区分	収　容　定　員				
	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度

収容定員	３５８	３４６	３３４	３２２	３２０

４　改正後の第４条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成２３年度から平成２５年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	１１５	１１０	１０５
口腔保健工学専攻	２年次編入定員		５	５
	収容定員	１０	２５	４０

附　則（平成２３年６月３０日規程第６号）

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年３月３０日規程第３号）

１　この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２４年度から平成２７年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
編入学定員	５（２年次編入） ５（３年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）	５（２年次編入）
収容定員	５５５	５８０	６０５	６２０

３　平成２４年度においては、改正後の第１４条の「２年次」は「３年次及び２年次」と読み替えるものとする。

附　則（平成２４年９月２８日規程第８号）

この学則は、平成２４年１０月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月１２日規程第２号）

１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　改正後の第４条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成２５年度から平成２９年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分＼年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
収容定員	５８１	６０７	６２３	６２９	６３０

附　則（平成２７年３月３０日規則第５１号）

この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則　平成２２年度入学者

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学医学部・歯学部における授業の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目）

第２条　授業科目は、学則第６条第１項に定める全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

（全学共通科目の履修）

第３条　全学共通科目の履修については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号）の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第４条　専門科目の履修については、各教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（専門科目の履修要件）

第５条　全学共通科目を修了しなければ、専門科目を履修することができない。ただし、医学部医学科，医学部保健衛生学科看護学専攻は、この限りでない。

（授業）

第６条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修又は選択必修とする。

（１単位当たりの授業時間）

第７条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

⑴ 医学科

ア　講義及び演習　　１５～３０時間

イ　実習　　３０～４５時間

⑵ 保健衛生学科

ア　講義　　１５時間

イ　演習　　３０時間

ウ　実習　　４５時間

エ　臨地実習

看護学専攻　　４５時間

検査技術学専攻　３０時間

⑶ 歯学科

ア　講義及び演習　　１５～３０時間

イ　実習　　３０～４５時間

⑷ 口腔保健学科

ア　講義及び演習　　１５～３０時間

イ　実習　　３０～４５時間

（編入学者，転入学者の単位認定）

第８条　学則第１２条から第１８条までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び本学部専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部において行うものとする。

３　入学を許可する学年及び履修方法等については、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第９条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第１０条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可された学年までの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第１１条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を取得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を取得することができない。
５　試験は，次のとおりとする。
⑴ 医学部
　定期試験，科目試験，共用試験，追試験及び再試験
⑵ 歯学部歯学科
　ユニット試験，共用試験，追試験及び再試験
⑶ 歯学部口腔保健学科
　期末試験，中間試験，追試験及び再試験
６　学習の評価は，別表２のとおりとする。
７　単位の認定は，学部教授会の議を経て学部長がこれを行う。
８　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第１２条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずることがある。

（卒業認定）
第１３条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１４条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

別表１（省略）
　教育課程の頁参照

別表２
（１）医学部

成績区分	評価区分	単位認定
１００～９０点	秀	合　格
８９～８０点	優	
７９～７０点	良	
６９～６０点	可	
５９～０点	不可	不合格

（２）は省略

別表３（（１）、（３）、（４）は省略）
（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）のうち、単位未修得の科目が４科目以上ある又は第２学年の必修科目となっている実習科目に単位未修得の科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。
（２）第２学年及び第３学年の必修科目の単位を全て修得しなければ、第４学年に進級することはできない

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則 平成２３年度から２５年度入学者

平成２２年３月３０日
規 則 第 ４ １ 号

（趣旨）
第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）
第２条　専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（授業）
第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（１単位当たりの授業時間）
第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
⑴　講義　　１５時間
⑵　演習　　３０時間
⑶　実習　　４５時間

２　前項第３号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
⑴　看護学専攻　　４５時間
⑵　検査技術学専攻　３０時間

（編入学者、転入学者の単位認定）
第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）
第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則
１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。
２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。
３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。
４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）
１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。
２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）
１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。
２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年２月２７日規則第　　号）
１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。
２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１　省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表２

成績区分	評価区分	単位認定
１００～９０点	秀	合　格
８９～８０点	優	
７９～７０点	良	
６９～６０点	可	
５９～０点	不可	不合格

別表３（(１)、（３）～（５）は省略）

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第１学年の専門科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
（３）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則　平成２６年度入学者

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第２条　専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（授業）

第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（１単位当たりの授業時間）

第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　講義　　１５時間

(2)　演習　　３０時間

(3)　実習　　４５時間

２　前項第３号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　看護学専攻　　４５時間

(2)　検査技術学専攻　３０時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）

第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）

第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。

４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）

１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年５月３０日規則第７３号）

この規則は、平成２５年５月３０日から施行し、平成２５年４月１７日から適用する。

附　則（平成２６年　月　日規則第　号）

（施行期日等）

１　この規則は、平成２６年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２　平成２５年１０月１日の在学者については、平成２５年度に医学部又は歯学部１年次に入学した者にのみ改正後の別表１（７）を適用する。

（平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

３　前項の規定にかかわらず、平成２５年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表１（７）は、次のとおりとし、平成２５年１０月１日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論１	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論２	1		○				
	医療リーダーシップ特論３	1		○				
	医療リーダーシップ特論４	1			○	○（※２）		
	医療リーダーシップ特論５	1			○（※１）			
	国際教養特論１	1	○	○				
	国際教養特論２	1		○	○	○（※２）		
	国際教養特論３	1		○	○	○（※２）		
	計	8						

※１　医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※２　医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することが

できる。

※３　医療リーダーシップ特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を、３を履修しなければ４を、４を履修しなければ５を履修することができない。

※４　国際教養特論は、原則として、１を履修しなければ２を、２を履修しなければ３を履修することができない。

別表１　省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表２

成績区分	評価区分	単位認定
１００～９０点	秀	合　格
８９～８０点	優	
７９～７０点	良	
６９～６０点	可	
５９～０点	不可	不合格

別表３（(１)、（３）～（５）は省略）

（２）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（１）第１学年の専門科目に未履修科目があるときは、第２学年に進級することができない。
（２）第２学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、４科目以上の不合格科目があるとき、又は第２学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第３学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
（３）第２学年及び第３学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第４学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修しなかった科目、又は授業科目を３分の２以上（実習科目の場合は４分の３以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を３分の２以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

平成２３年度以降入学者に適用

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１４条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　卒業試験、科目試験及び追試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が 100 点満点で採点し、履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の成績は、０点とする。

３　第１項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

（仮進級）

第３条　進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

２　仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

（ＧＰ）

第４条　ＧＰ（Grade Point）で成績を評価する場合は次のとおりとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0
100 点方式との対応	90 以上	89～80	79～70	69～60	59 以下

２　選択科目の履修を届け出た後、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、ＧＰＡ（Grade Point Average）の計算式には算入しない。

３　選択科目のうち、卒業要件に含まない単位のＧＰについては、学生の申請により、ＧＰＡの計算式に算入しないものとする。

４　前項の申請時期は、第４学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成26・27(2014・2015)年度入学者(主に1・2年生)

授業科目			単位数		履修学年				備考
			必修	選択	1年	2年	3年	4年	(旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2		○				
		解剖学Ⅱ	1			○			
		生理学	3			○			
		生化学	2			○			
		薬理学Ⅰ	1			○			
		薬理学Ⅱ	1			○			
		病理学	1			○			
		微生物学	1			○			
		栄養学	1			○			
		疫学	1				○		
		病態学	5			○			
		英文講読Ⅰ	1			○			
		英文講読Ⅱ	1				○		
		英文講読Ⅲ		1				○	
		専門基礎合同演習	1			○			
専門共通分野		保健統計学	1					○	
		医療情報学	1			○			
		国際保健看護学	1					○	
		産業保健学	1					○	
		保健医療福祉制度論	2			○			
		健康教育学演習	1					○	
		卒業論文Ⅰ	1				○		
		卒業論文Ⅱ	2					○	
		実践看護英語		1		○	○		
		国際保健福祉		1		○	○	○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1		○				
		基礎看護学Ⅱ	1			○			
		基礎看護学Ⅲ	1			○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2			○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1			○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2			○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2			○			
		成人看護学Ⅱ	2			○			
		成人看護学Ⅲ	1				○		
		成人看護学演習	1				○		
		成人看護学実習	3				○		成人看護学実習Ⅰ
	精神看護学	精神看護学	2			○			
		地域精神看護学	1				○		
		精神看護学演習	1				○		
		精神看護学実習	2				○		
		看護心理学		1	○				
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1			○			
		小児看護学Ⅱ	1				○		
		小児看護学演習Ⅰ	1			○			
		小児看護学演習Ⅱ	1				○		
		小児看護学実習	2				○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1				○		
		母性看護学Ⅱ	1				○		
		母性看護学Ⅲ	1				○		
		母性看護学演習	1				○		
		母性看護学実習	2				○		
	老年看護学	老年看護学	3				○		
		老年看護学演習	1				○		
		リハビリテーション看護学		1			○		
		老年看護学実習	3				○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○		
		地域保健看護学Ⅱ	1				○		
		地域保健看護学Ⅲ	2					○	
		地域保健看護学演習	1					○	
		地域保健看護学実習	3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1			○			
		在宅看護学Ⅱ	1				○		
		緩和ケア看護学		1				○	
		在宅看護学演習	1				○		
		在宅看護学実習	2				○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
		看護の統合と実践実習Ⅰ	2					○	看護の統合と実践実習
		看護の統合と実践実習Ⅱ	1					○	成人看護学実習Ⅱ
計			95	6					

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成24・25(2012・2013)年度入学者(主に3・4年生)

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	履修学年 1年	履修学年 2年	履修学年 3年	履修学年 4年	備考(旧カリ対応科目等)
専門領域別分野	専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2		○				
		解剖学Ⅱ	1			○			
		生理学	3			○			
		生化学	2			○			
		薬理学Ⅰ	1			○			
		薬理学Ⅱ	1			○			
		病理学	1			○			
		微生物学	1			○			
		栄養学	1			○			
		疫学	1				○		
		病態学	5			○			
		英文講読Ⅰ	1			○			
		英文講読Ⅱ	1				○		
		英文講読Ⅲ		1				○	
		専門基礎合同演習	1			○			
	専門共通分野	保健統計学	1					○	
		医療情報学	1			○			
		国際保健看護学	1					○	
		産業保健学	1					○	
		保健医療福祉制度論	2			○			
		健康教育学演習	1					○	保健医療福祉制度論演習
		卒業論文Ⅰ	1				○		
		卒業論文Ⅱ	2					○	
		実践看護英語		1		○	○		
		国際保健福祉		1		○	○	○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1		○				
		基礎看護学Ⅱ	1			○			
		基礎看護学Ⅲ	1			○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2			○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1			○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2			○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2			○			
		成人看護学Ⅱ	2			○			
		成人看護学Ⅲ	1				○		
		成人看護学演習	1				○		
		成人看護学実習	3				○		成人看護学実習Ⅰ
	精神看護学	精神看護学	2			○			
		地域精神看護学	1				○		
		精神看護学演習	1				○		
		精神看護学実習	2				○		
		看護心理学		1	○				
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1			○			
		小児看護学Ⅱ	1				○		
		小児看護学演習Ⅰ	1			○			
		小児看護学演習Ⅱ	1				○		
		小児看護学実習	2				○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1				○		
		母性看護学Ⅱ	1				○		
		母性看護学Ⅲ	1				○		
		母性看護学演習	1				○		
		母性看護学実習	2				○		
	老年看護学	老年看護学	3				○		
		老年看護学演習	1				○		
		リハビリテーション看護学		1			○		
		老年看護学実習	3				○		
	地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○		地域看護学Ⅰ
		地域保健看護学Ⅱ	1				○		地域看護学Ⅱ
		地域保健看護学Ⅲ	2					○	地域看護学Ⅲ
		地域保健看護学演習	1					○	地域看護学演習
		地域保健看護学実習	3					○	地域看護学実習
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1			○			
		在宅看護学Ⅱ	1				○		
		緩和ケア看護学		1				○	
		在宅看護学演習	1				○		
		在宅看護学実習	2				○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
		看護の統合と実践実習Ⅰ	2					○	看護の統合と実践実習
		看護の統合と実践実習Ⅱ	1					○	成人看護学実習Ⅱ
計			95	6					

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成23(2011)年度入学者

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	履修学年 1年	2年	3年	4年	備考 (旧カリ対応科目等)
専門基礎分野		解剖学Ⅰ	2		○				解剖学
		解剖学Ⅱ	1			○			
		生理学	3			○			
		生化学	2			○			
		薬理学Ⅰ	1			○			
		薬理学Ⅱ	1			○			
		病理学	1			○			
		微生物学	1			○			
		栄養学	1			○			
		疫学	1				○		
		病態学	5			○			
		英文講読Ⅰ	1			○			
		英文講読Ⅱ	1				○		
		英文講読Ⅲ		1				○	
		専門基礎合同演習	1			○			
専門共通分野		保健統計学	1					○	
		医療情報学	1			○			
		国際保健看護学	1					○	選択
		産業保健学	1					○	
		保健医療福祉制度論	2			○			4学年から2学年へ
		保健医療福祉制度論演習	1					○	
		卒業論文Ⅰ	1				○		
		卒業論文Ⅱ	2					○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1		○				
		基礎看護学Ⅱ	1			○			
		基礎看護学Ⅲ	1			○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2			○			
		基礎看護学演習Ⅱ	1			○			
		基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
		基礎看護学実習Ⅱ	2			○			
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2			○			
		成人看護学Ⅱ	2			○			
		成人看護学Ⅲ	1				○		
		成人看護学演習	1				○		
		成人看護学実習Ⅰ	3				○		
		成人看護学実習Ⅱ	1					○	
	精神看護学	精神看護学	2			○			
		地域精神看護学	1				○		
		精神看護学演習	1				○		
		精神看護学実習	2				○		
		看護心理学		1	○				
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1			○			
		小児看護学Ⅱ	1				○		
		小児看護学演習Ⅰ	1			○			
		小児看護学演習Ⅱ	1				○		
		小児看護学実習	2				○		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1				○		
		母性看護学Ⅱ	1				○		
		母性看護学Ⅲ	1				○		
		母性看護学演習	1				○		
		母性看護学実習	2				○		
	老年看護学	老年看護学	3				○		
		老年看護学演習	1				○		
		リハビリテーション看護学		1			○		
		老年看護学実習	3				○		
	地域看護学	地域看護学Ⅰ	1				○		
		地域看護学Ⅱ	1				○		
		地域看護学Ⅲ	2					○	
		地域看護学演習	1					○	
		地域看護学実習	3					○	
	在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1			○			
		在宅看護学Ⅱ	1				○		
		緩和ケア看護学		1				○	
		在宅看護学演習	1				○		
		在宅看護学実習	2				○		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
		看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
		看護の統合と実践実習	2					○	
計			95	4					

東京医科歯科大学医学部試験規則

平成２２年以前入学者に適用

平成１６年４月１日制定

（趣旨）
第１条　この規則は，東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年制定。以下「履修規則」という。）第１１条第３項に基づき，医学部における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の試験に関し，必要な事項を定める。

（試験の種類）
第２条　試験は，定期試験，科目試験，共用試験，追試験及び再試験とする。

（試験の方法）
第３条　試験は，筆答試験，コンピュータ活用試験，口頭試験，実地試験のいずれかによって行う。

（定期試験）
第４条　定期試験とは，履修した授業科目について，定期に行う試験をいう。
２　定期試験は，当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。
３　定期試験の実施日時は，試験実施日の２週間前までに公示する。
４　定期試験を受験することのできる者は，次のとおりとする。
(1)　講義及び演習　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者
(2)　実　　習　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者
(3)　医学科第６学年の定期試験は，次の授業科目の単位をすべて取得し，かつ，臨床実習Ⅱ及び臨床実習Ⅲの実習評価が６０点以上の者
臨床解剖学，臨床実習関連講義，ＣＰＥ，先端医学，基礎臨床総合講義
５　試験の結果は，合否をもって公示する。

（科目試験）
第５条　科目試験とは，原則として履修した授業科目の最終日に行う試験をいい，試験の実施日時は，当該年度の授業時間割に明記し，受験資格並びに試験の結果は，前条第４項第１号，第２号及び第５項のとおりとする。

（共用試験）
第６条　共用試験とは，知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（以下「ＣＢＴ」という。）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（以下「ＯＳＣＥ」という。）をいい，当分の間医学科において行う。
２　ＣＢＴは第４学年の前期末，ＯＳＣＥは第５学年の臨床実習Ⅰ終了後に行う。
３　共用試験の実施日時は，試験実施日の２週間前までに公示する。
４　共用試験を受験することのできる者は次のとおりとする。
(1)　ＣＢＴ　　第４学年に在学する者
(2)　ＯＳＣＥ　臨床実習Ⅰを終了した者
５　試験の結果は，合否をもって公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは，病気，その他止むを得ない理由により定期試験，科目試験又は共用試験（以下「定期試験等」という。）を受験できなかった者に対して，受験できなかった授業科目又は共用試験について行う試験をいう。
２　追試験を受験しようとする者は，所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて，当該定期試験等終了後５日以内に医学部長に願い出て，許可を受けなければならない。
３　医学部長は，前項の申請について担当教員と協議のうえ，その可否を決定し，申請者に通知するものとする。
４　試験の結果は，合否をもって公示する。

（再試験）
第８条　再試験とは，定期試験等を受験し，不合格となった授業科目がある者又は共用試験が不合格となった者に対し，当該授業科目又は共用試験について，改めて行う試験をいう。
２　再試験の時期は，次のとおりとする。
（1）医　学　科　定期試験　第６学年の学年末
科目試験　原則として第３学年は学年末，第４学年は１２月
共用試験　ＣＢＴは第４学年の１２月，ＯＳＣＥは第５学年の夏季休業中
（2）保健衛生学科　原則として，次回の定期試験期間及び第４学年の学年末
３　再試験の実施日時は，試験実施日の２週間前までに公示する。
４　再試験を受験しようとする者は，所定の受験申請書により試験期日の７日前までに医学部長に願い出なければならない。
５　試験の結果は，合否をもって公示する。

（学習の評価）
第９条　定期試験，科目試験及び追試験並びに履修規則第１１条第１項ただし書きによる成績については，授業科目ごとに担当教員が100点満点で採点し，次のとおり学習の評価を行う。

成績区分	評価区分	単位認定
100 ～ 80 点	優	合格
79 ～ 70 点	良	
69 ～ 60 点	可	
59 ～ 0 点	不可	不合格

２　再試験の成績については，授業科目ごとに担当教員が採点する。ただし，成績は，60点を上限とする。
３　正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の成績は，０点とする。
４　第１項及び第２項の学習の評価に，平常の学修の成果を加味することができる。
５　共用試験の評価については，医学科教育委員会が別に定める。

（成績の報告）
第１０条　担当教員は，定期試験，科目試験，追試験及び再試験について授業科目ごとに所定の用紙に採点結果を記入し，指定の期日までに医学部長に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長は，共用試験並びにそれに伴う追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し，指定の期日までに医学部長に報告しなければならない。

（罰則）
第１１条　試験において，不正行為があったときは，東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号）第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）
第１２条　この規則に定めるもののほか，試験等に関し必要な事項は別に定める。

附　則
１　この規則は平成１６年４月１日から施行する。
２　国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成１６年３月３１日に在学し，引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後在学者の属する学年に再入学，転入学及び編入学する者に係る試験については，この規則の規定にかかわらずなお従前の例による。

平成２３年度以降入学者に適用

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規　則　第　　号）

（趣旨）

第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者

(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者

４　定期試験の結果は、公示する。

５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。

２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条　本試験及び追試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を合格とする。
２　再試験の成績については、科目責任者が採点する。ただし成績は、６０点を上限とする。
３　共用試験の成績については、前２項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４　この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

平成２３年度以降入学者に適用

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

（平成２３年　２月１６日
医学部保健衛生学科長制定）

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成２３年４月１日規則第　　号。以下「試験規則」という。）第８条第６項及び第１２条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（再試験）

第２条　再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第４学年で履修した科目の再試験は、第４学年の年度末とする。

２　再試験の実施日時は、試験実施日２週間前までに公示する。

３　再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日７日前までに医学部長に願い出なければならない。

附　則

１　この内規は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

看護学専攻第３学年における臨地実習履修要件 平成 23 年度以降入学者に適用

平成１２年１１月　７日
保健衛生学科教育委員会
平成１７年　３月１５日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２０年１２月２４日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２３年　１月　５日改正
保健衛生学科教育委員会

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義･演習の試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表)

臨地実習名	関連する講義･演習科目名
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ･Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成１１年　７月１４日承認
平成１２年１２月１３日改正
保健衛生学科教育委員会
平成１４年　２月１３日改正
保健衛生学科運営会議
平成２７年　３月１１日改正
保健衛生学科運営会議

（趣　旨）
１　東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の実施については，この要項に定めるところによる。
（授業目的）
２　看護・保健に関する研究を実践することにより，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。
（指導教員）
３　指導は，看護先進科学専攻の教授，准教授、講師、及び助教以上（以下「指導教員」という。）が行う。
４　一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は，原則として次のとおりとする。
(1) 教授一人に対し　学生４名
(2) 准教授一人に対し学生３名
(3) 講師一人に対し　学生２名
５　看護学専攻卒業研究小委員会（以下「委員会」という。）は，学生より提出された研究テーマ等を考慮し，指導教員を決定する。
（卒業論文）
６　卒業論文は，別紙により６ページ以内で作成し，提出期限までに医学部事務部に提出しなければならない。
（卒業論文発表会）
７　口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。
８　発表会は委員会が主催し，卒業論文委員（学生より選出）が開催する。
９　発表会の開催日時は，毎年６月末日までに掲示により連絡する。
10　発表時間は，１人５分間とし，質疑応答は２分間とする。なお，発表開始から４分経過時及び５分経過時に合図し，発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。
11　発表会用にスライドを作成する場合は，１枚あたり１０行未満の文章で，見やすく作成する。
（評価及び単位認定）
12　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の評価及び単位認定は次のとおりとする。
(1)「卒業論文Ⅰ」
　　指導教員が講義により評価し，看護学専攻主任が単位認定を行う。
(2)「卒業論文Ⅱ」
　　指導教員が論文及び発表を８：２の比率で評価し，看護学専攻主任が単位認定を行う。
13　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の単位は，次に該当する者には認定しない。
(1)「卒業論文Ⅰ」の出席が３分の２に満たない者
(2) 期限提出までに論文を提出できない者
(3) その他，卒論単位認定に支障があると判定された者
（評価基準）
14　論文の評価基準は，次のとおりとする。
(1) 論文に取り組む姿勢
(2) 論文内容
　① 研究目的
　② 研究方法
　③ 論文内容の論理性と明確性

④ 考察の論理性と明確性

（実施）

15　この要項は，平成２７年度３年次在学者より実施する。

附　則

この要項は平成２７年４月１日から施行する。

（別　紙）

卒　業　論　文　フ　ォ　ー　ム

1　卒業論文のフォーム
卒業論文のフォームは,以下のとおりとする。

(1) はじめに
(2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
(3) 結果
(4) 考察
(5) 引用文献（参考文献と分けて記載する）

2　引用文献の書き方
書式は,「バンクーバー方式」または「APA方式」に準ずる。

＜バンクーバー方式＞

① 文献については、本文中に文献リスト番号（上付き：例[1)]）をつけ,表示する。
② 文献リストは本文中に引用された順に列記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012; 90(9):1456-61.

2) Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010; 146(8): 865-9.

④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが[10)-12)]、実施している対象者は多かった。

＜APA方式＞

① 文献については,本文中に著者名,発行年次を括弧表示する。
② 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。但し,共著者は３名まで表記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子 (2012) :諸外国の看護教育の動向, 国際看護学研究, 90(9), 1456-1461.

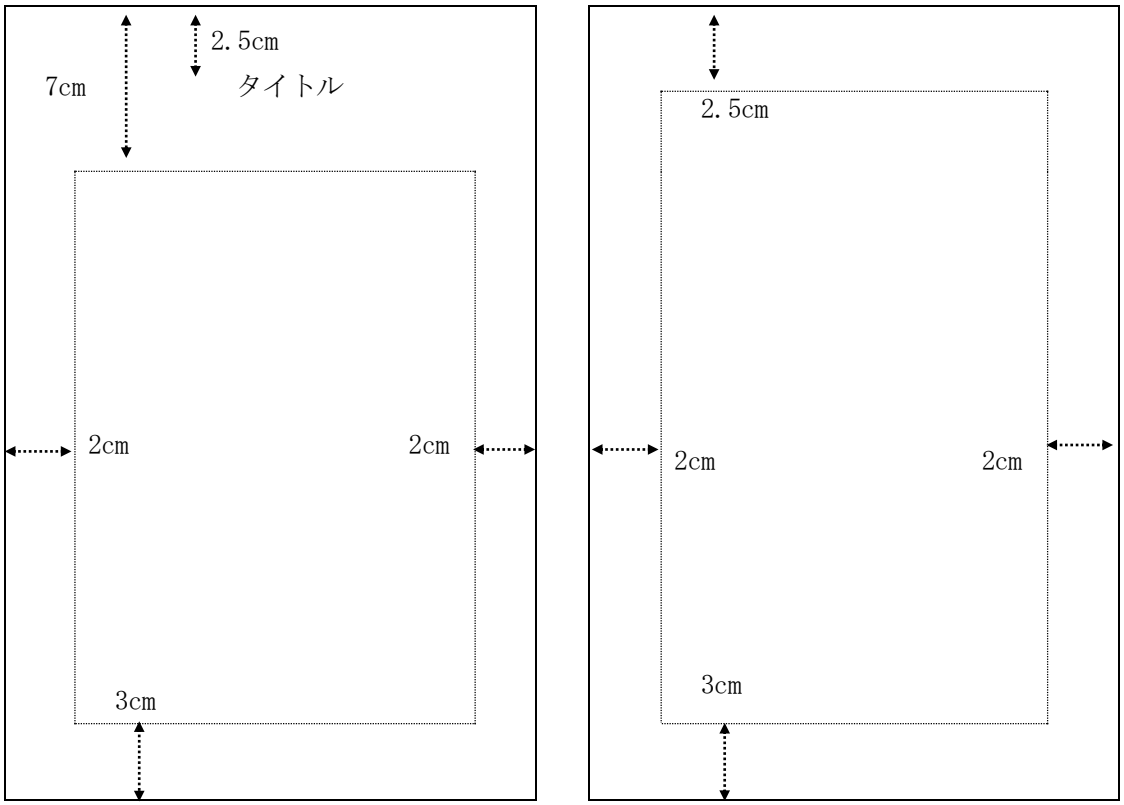
2) Voos K., Ross G., Ward M.., et al. (2011): Effects of implementing family-centered rounds (FCRs) in a neonatal intensive care unit (NICU), J. Matern. Fetal Neonatal Med., 24(11), 1-4.

④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが（田村, 2012: Smidt et al., 2010）、実施している対象者は多かった。

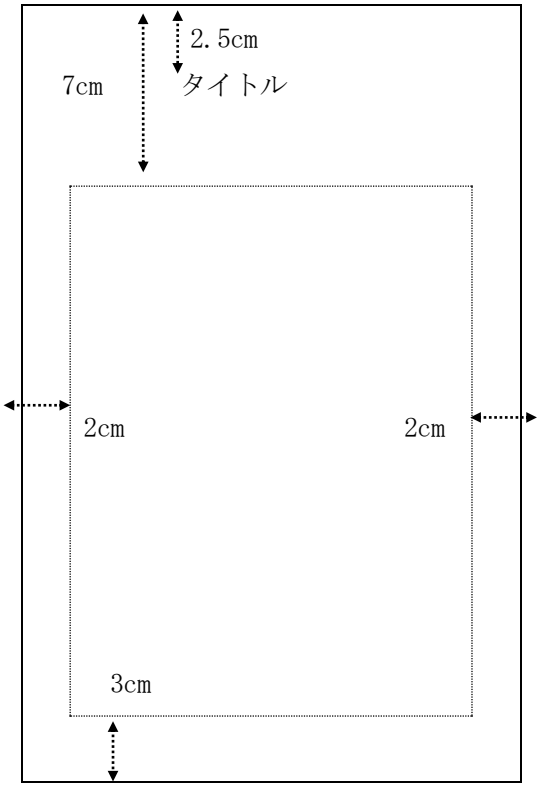
3　卒業論文の書式

・ A4用紙に6ページ以内とし,片面に印字する。
・ 字の大きさ及びフォントは,10～11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし,
文字数：全角46,行数：38,字送り：10.5ポイント,行送り：18ポイントとする。
・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。
・ 全ページ余白は上2.5cm,下3cm,左右それぞれ2cmとする。
・ ただし,1ページ目は上2.5cmからタイトル,その下余白に氏名・指導者名を記載する。
・ 本文は7cm下から書き始める。
・ 指導教員には大学院生は含まない。



4　卒業論文抄録の書式

- A4用紙に1枚とする。
- 字の大きさ,フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
- タイトル,氏名,指導教員名を上7cmの余白部分に書き,以下目的,方法,結果,考察を記載する。
- 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。



＜標題紙見本＞

医学部保健衛生学科レポート

学　　部　医学部

学　　科　保健衛生学科（看護学専攻）

科 目 名　「産業保健学」

標　　題　「産業の場における看護職の五管理」

↑

感想の場合は、“感想「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」”と書く。

提出月日　平成〇〇年〇月〇日

専　　攻　看護学専攻

学　　年　〇学年

学籍番号　〇〇〇〇〇〇〇〇

氏　　名　山田　花子

本文（例）

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

・ 産業の場における看護職の五管理について

１． 産業保健と五管理

２． 作業環境管理

３． 作業管理

４． 健康管理

５． 労働衛生教育

６． 総括管理

７． まとめ

８． 参考文献

――――――――――――――――――――――――以下省略――――――――――――――――――――――――

※作成要領

１．レポート本文はワープロ打ちとする。

２．フォーマットはＡ４版・MS 明朝体・10.5 サイズとし、横 44 文字、縦 32 行で印字する。

３．すべてのページの１行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

４．表題紙は、別様とする。

５．書き出しは 2 行目 2 コマ目から始める。

６．英数文字は半角とする。

６．最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水醫學雑誌」に準ずる。

＜書き方例＞

引用文献

論文の場合

1）宮崎美砂子，春山早苗：最新地域看護学. 各論２. 日本看護協会出版会；2006：81-88.

著書の一部の場合

2）鈴木太郎，山田華子：糖尿病性神経障害，小島次郎編　糖尿病，大学出版，東京，1986. pp975-982.